SONY

REF 4-529-818-**01**(2)

HD ビデオレコーダー

取扱説明書

HVO-500MD/550MD

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

HDMI

© 2014 Sony Corporation

安全のために

本機は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、間違った使いかたをすると、火災などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

6 ～ 12 ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。

定期点検をする

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店にご連絡ください。

故障したら使わない

すぐに、ソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

・煙が出たら
・異常な音、においがしたら
・内部に水、異物が入ったら
・製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

❶ 電源を切る。
❷ DC 電源ケーブルや接続ケーブルを抜いてください。
❸ お買い上げ店までご相談ください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、火災やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

行為を指示する記号

指示

目次

安全のために 2
警告 6
注意 7
その他の安全上のご注意 8
医療環境で使用するための重要なお知らせ 8
医療環境で使用するための EMC に関する重要なお知らせ 9
必ずお読みください 13
使用上のご注意 14

第 1 章　概要

本機の特長 15
システム構成例 16
各部の名称とはたらき 17
前面 17
後面 19

第 2 章　準備

接続する 22
電源を入れる・切る 22
システム環境を設定する 23
録画に関する設定をする（ユーザー設定） 23
「ユーザー設定」メニューを表示する 23
入力信号に関する設定をする 24
画質の設定をする 25
保存に関する設定をする 26
ソフトキーボードの使いかた（文字入力） 28
ソフトキーボードの各部の名称とはたらき 28
ディスクの取り扱い 29
取り扱い上の注意 29
ディスクを出し入れする 30

第 3 章　簡単操作

操作の流れ 32
Step 1 録画する 32
Step 2 簡易再生する 33
Step 3 録画を終了する 34

第 4 章　録画・再生

録画する 35

手動で録画する 35

再生する 37

最新の録画データを再生する（簡易再生機能） 37

繰り返し再生する（リピート再生機能） 38

録画準備をする 40

患者情報や録画データの保存に関する設定をする 40

録画テストをする 42

検索する 43

条件を指定して検索する 43

検索結果の一覧から再生する 44

録画データの一覧を並べ替える 45

録画データを操作する 46

外部メディアにコピーする 46

患者情報を変更する 48

録画データを保護する 49

録画データを削除する 50

ファイナライズを実行する（HVO-550MD のみ） 51

録画データの情報を見る 52

第 5 章　システム管理者設定

概要 54

「システム管理者設定」メニューを表示する 54

言語の設定 55

日付・時刻の設定 56

機能設定 58

一般 1 59

一般 2 60

動画 1 63

動画 2 64

周辺機器設定 65

周辺機器 66

接点スイッチ 67

パスワード設定 70

ネットワーク設定 72

ネットワーク 72

保存先サーバー 74

NTP 74

ユーザー初期値設定 76

画質 76

保存 77

検査者リスト編集 78

検査者を登録する 78

一般 79

保存先サーバー 80
リストの並び順を変更する 81
設定内容を変更する 81
検査者を削除する 81
検査リスト編集 82
カテゴリーを登録する 82
リストの並び順を変更する 83
カテゴリー名を変更する 83
カテゴリーを削除する 83
検査を登録する 84
リストの並び順を変更する 85
検査名を変更する 85
検査を削除する 85
自動削除設定 86

第 6 章　その他

エラーメッセージ一覧 87
故障かな？と思ったら 89
保証書とアフターサービス 90
ライセンスについて 90
libjpeg 90
LibTIFF 90
zlib 91
仕様 91
索引 94

商標について

- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- “AVCHD”および“AVCHD”ロゴは、パナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- 本書に記載されているシステム名、製品名、会社名は一般に各開発メーカーの登録商標または商標です。
  なお、本文中では、®、™ マークは明記していません。

- 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 本機の保証条件は、同梱の当社規定の保証書の規定をご参照ください。
- 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。
- ソニーが配布した本機用のソフトウェア以外のソフトウェアをインストールすることはできません。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご容赦ください。

⚠警告

下記の注意を守らないと、
火災などにより**死亡**や**大けが**に
つながることがあります。

指示

表示された電源電圧で使用する

製品の表示と異なる電源電圧で使用すると、火災の原因となることがあります。

禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない

上記のような場所に設置すると、火災の原因となります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災などの原因となります。

水ぬれ禁止

水にぬれる場所で使用しない

水ぬれすると、漏電による発火の原因となることがあります。

指示

指定された DC 電源ケーブル、接続ケーブルを使う

この取扱説明書に記されている DC 電源ケーブル、接続ケーブルを使わないと、火災や故障の原因となることがあります。

禁止

DC 電源ケーブルを傷つけない

DC 電源ケーブルを傷つけると、火災の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- DC 電源ケーブルを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- DC 電源ケーブルを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く。

禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると、火災の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本機が接続されている外部電源の電源を切り、DC 電源ケーブルや接続ケーブルを抜いて、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

分解禁止

分解や改造をしない

分解や改造をすると、火災やけがの原因となることがあります。
内部の点検や修理は、ソニーのサービス窓口にご依頼ください。

禁止

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 周囲から 10 cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

指示

移動の際は DC 電源ケーブルや接続ケーブルを抜く

ケーブル類を接続したまま本機を移動させると、ケーブルに傷がついて火災の原因となることがあります。

指示

運搬時には、接続ケーブルを取りはずす

本機を運搬する際には、DC 電源ケーブルおよび接続ケーブルを必ず取りはずしてください。DC 電源ケーブルや接続ケーブルに引っ掛かると、転倒や落下の原因となることがあります。

禁止

ディスクトレイに異物を入れない（HVO-550MD のみ）

指定のディスク以外のものを入れると、火災や故障の原因となることがあります。

⚠注意

下記の注意を守らないと、
けがをしたり周辺の物品に**損害**を与える
ことがあります。

指示

コード類は正しく配置する

DC 電源ケーブルや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続・配置してください。

禁止

製品の上にのらない、重いものをのせない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

禁止

ファンが止まったままの状態で使用しない

ファンモーターが故障すると、火災の原因となることがあります。
交換は、ソニーのサービス窓口にご依頼ください。

指示

接続の際は電源を切る

DC 電源ケーブルや接続ケーブルを接続するときは、外部電源を切ってください。故障の原因となることがあります。

指示

お手入れの際は、電源を切る

電源を接続したままお手入れをすると、故障の原因となることがります。

指示

DC 電源ケーブルのコネクターはロックするまで差し込む

DC 電源ケーブルのコネクターはロックするまで差し込んでください。
確実に接続しないと、故障や火災の原因となることがあります。

禁止

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを使用しない (HVO-550MD のみ)

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを使用しないでください。火災や故障の原因となることがあります。

その他の安全上のご注意

警告

イヤホンやヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

注意

HVO-550MD のみ

ここに規定した以外の手順による制御および調整は、危険なレーザー放射の被爆をもたらします。
本機は「クラス 1 レーザー製品」です。

グラフィックシンボルの説明

一般的な警告標識
本機にこのマークがある箇所は、本取扱説明書の警告文にしたがってご使用ください。
注記　背景色：黄
三角形のバンド：黒
シンボル：黒

取扱説明書参照
本機にこのマークがある箇所は、本取扱説明書の指示にしたがってご使用ください。

このシンボルは製造業者を表し、隣接して製造業者名と住所が併記されます。

このシンボルは、欧州共同体における代表者を表し、隣接して欧州共同体における代表者の名称と住所が併記されます。

このシンボルは、システムの各部分を同じ電位にするための、等電位端子を示しています。

医療環境で使用するための重要なお知らせ

1. 本機に接続する全ての機器は、安全規格の IEC60601-1、IEC60950-1、IEC60065、あるいは機器に適用できる他の IEC/ISO 規格等に従って承認または適合しているものをご使用ください。

2. さらにシステム全体として IEC60601-1-1 規格に適合していなければなりません。信号入力部分あるいは信号出力部分に接続する全ての周辺機器が医療用のシステムとして構成されるため、システム全体として IEC60601-1-1 の規格要求に適合する責任があります。疑義がある場合には、ソニーの営業担当にご相談ください。

3. 他の機器と接続すると、漏れ電流を増加させる可能性があります。

4. この特定の機器のために、すべての周辺機器は上記のように接続し、IEC60601-1 の構造要求と最小基礎絶縁を備えている追加した絶縁トランス経由で商用電源に接続してください。

5. この機器は無線周波エネルギーを発生、利用しており、周囲に放射する可能性があります。取扱説明書に従って設置、使用されない場合、他の機器に対して電磁波障害を引き起こすかも知れません。この機器が電磁波障害を起こす場合は（この機器から電源コードのプラグを抜くことにより確認できます)、以下の方法を試してください。
電磁波障害を受けている機器に対して、この機器を移動してください。この機器と電磁波障害を受けている機器を異なる電源系統のコンセントに接続してください。

ソニーの営業担当にご相談ください。
(適合規格：IEC60601-1-2 と CISPR11、Class B、Group1)

医療環境で使用するための EMC に関する重要なお知らせ

- HVO-500MD/550MD は、EMC に関して特に注意する必要があり、取扱説明書で提供される EMC 情報に従って設置及び使用する必要があります。
- HVO-500MD/550MD は、携帯電話のような、携帯型及び移動型の無線通信機器に影響を受けることがあります。

警告

ソニー株式会社によって指定されたもの以外のアクセサリーやケーブルを使用すると、HVO-500MD/550MD のエミッション（電磁妨害の放射）増加やイミュニティ（電磁妨害の耐性）低下を招くことがあります。

指針及び製造業者の宣言－電磁エミッション		
HVO-500MD/550MD は、下記の電磁環境で使用することを前提としています。 HVO-500MD/550MD のお客様または使用者は、下記の環境で使用することを確認してください。		
エミッション試験	適合性	電磁環境－指針
無線周波エミッション CISPR 11	グループ 1	HVO-500MD/550MD は、内部機能のためだけに無線周波エネルギーを使用しています。そのため、無線周波エミッションは非常に低く、近傍の電子機器を妨害することは、ほぼありません。
無線周波エミッション CISPR 11	クラス B	HVO-500MD/550MD は、家庭及び家庭用に使用される建物に給電する公共の低電圧配電網に直接接続されている建造物を含むすべての建造物での使用に適しています。
電源高調波エミッション IEC 61000-3-2	該当なし	
電圧変動 / フリッカ　エミッション IEC 61000-3-3	該当なし	

警告

HVO-500MD/550MD を他の機器と隣接または積み重ねて使用する場合には、その使用構成で正常に動作していることを確認する必要があります。

指針及び製造業者の宣言－電磁イミュニティ			
HVO-500MD/550MD は、下記の電磁環境での使用を意図しています。HVO-500MD/550MD のお客様または使用者は、下記の環境で使用することを確認してください。			
イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境－指針
静電気放電（ESD） IEC 61000-4-2	± 6 kV 接触 ± 8 kV 気中	± 6 kV 接触 ± 8 kV 気中	床材は木材、コンクリートまたは陶製タイルとしてください。床材が合成物質で覆われている場合、相対湿度が、少なくとも 30%以上であることを条件とします。
電気的ファストトランジェント（高速過渡現象）/ バースト IEC 61000-4-4	± 2 kV 対電源線 ± 1 kV 対入出力線	 ± 1 kV 対入出力線	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。
サージ IEC 61000-4-5	± 1 kV 差動モード ± 2 kV コモンモード	該当なし	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。
電源入力ラインでの電圧ディップ、瞬停、および電圧変動 IEC 61000-4-11	<5% U_T （>95% ディップ、U_T時） 0.5 サイクルの間 40% U_T （60% ディップ、U_T時） 5 サイクルの間 70% U_T （30% ディップ、U_T時） 25 サイクルの間 <5% U_T （>95% ディップ、U_T時） 5 秒間	該当なし	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。 HVO-500MD/550MD の使用者が、停電中も継続して運用することが必要な場合は、無停電電源装置又はバッテリーから HVO-500MD/550MD に電源供給することを推奨します。
電源周波数 （50/60 Hz） 磁界 IEC 61000-4-8	3 A/m	3 A/m	電源周波数磁界は、典型的な商用または病院環境内の典型的な場所での特性レベルである必要があります。
備考 : U_T は、試験レベルを加える前の機器の定格電源電圧である。			

指針及び製造業者の宣言－電磁イミュニティ

HVO-500MD/550MD は、下記の電磁環境での使用を意図しています。HVO-500MD/550MD のお客様または使用者は、下記の環境で使用されることを確認してください。

イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境－指針
			携帯型及び移動型の無線通信機器は、ケーブルを含む HVO-500MD/550MD のどの部分に対しても、無線通信機器の周波数に対応した式から計算された推奨分離距離以下に近づけて使用しないでください。 **推奨分離距離**
伝導性妨害 IEC 61000-4-6	3 Vrms 150 kHz ～ 80 MHz	3 Vrms	$d = 1.2\sqrt{P}$
放射無線周波電磁界 IEC 61000-4-3	3 V/m 80 MHz ～ 2.5 GHz	3 V/m	$d = 1.2\sqrt{P}$　80 MHz ～ 800 MHz $d = 2.3\sqrt{P}$　800 MHz ～ 2.5 GHz P は、無線通信機器のメーカーが公表した最大出力定格（単位はワット（W））で、d は推奨距離（単位はメートル（m））です。 電磁環境の現地調査によって得られる固定の無線送信機からの電磁界強度[a]は、各周波数範囲[b]において適合レベル未満である必要があります。 下記の記号が表示された機器の近くでは、妨害が生じる可能性があります。

備考 1:　80 MHz 及び 800 MHz においては、高い方の周波数範囲を適用します。

備考 2:　これらのガイドラインでは、対応できない場合もあります。
電磁波伝搬は、建物、物体および人体による吸収や反射の影響を受けます。

a 無線（携帯 / コードレス）電話及び陸上移動無線のための基地局、アマチュア無線、AM 及び FM ラジオ放送並びに TV 放送のような固定の送信機からの電磁界強度は、理論上、正確に予測することはできません。固定の無線送信機による電磁環境を評価する為には、電磁波の現地調査の検討が必要です。HVO-500MD/550MD が使用される場所で測定された電磁界強度が、対応する無線の適合レベルを超える場合、HVO-500MD/550MD が、正常に動作していることを確認してください。
もし異常な動作が観測される場合、HVO-500MD/550MD の向きや場所を変えるといった追加措置が必要となることがあります。

b 周波数範囲が 150 kHz ～ 80 MHz において、電界強度は 3 V/m 未満である必要があります。

携帯型及び移動型の無線通信機器と、HVO-500MD/550MD との間の推奨分離距離

HVO-500MD/550MD は、無線妨害放射が制御されている電磁環境内で使用することを前提としています。HVO-500MD/550MD のお客様または使用者は、携帯型及び移動型無線通信機器（送信機）と HVO-500MD/550MD との間の分離距離を保つことによって、電磁妨害を防ぐことができます。推奨の分離距離は、送信機器の最大出力によって、下記の通りです。

送信機の最大定格出力 W	送信機の周波数による分離距離 m		
	150 kHz ～ 80 MHz $d = 1.2\sqrt{P}$	80 MHz ～ 800 MHz $d = 1.2\sqrt{P}$	800 MHz ～ 2.5 GHz $d = 2.3\sqrt{P}$
0.01	0.12	0.12	0.23
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.3
100	12	12	23

最大定格出力が上記にリストされていない送信機器については、送信機器のメーカーが公表する最大出力定格を P（単位：ワット（W））として、周波数に対応する式を使用して推奨分離距離 d（単位：メートル（m））を計算できます。

備考 1: 80 MHz 及び 800 MHz においては、高い方の周波数範囲に対する分離距離を適用します。

備考 2: これらのガイドラインでは対応できない場合もあります。
電磁波伝搬は、建物、物体および人体による吸収や反射の影響を受けます。

注意

本製品またはアクセサリーを廃棄するときは、関連した地域または国の法律、および関連した病院の規則にしたがって実施されなければなりません。

必ずお読みください

著作権について

本機を使用して映像や音声を記録したり、ネットワーク等で配信したりする場合、それらの映像、音声について著作権者の承諾が必要な場合があります。著作権保護のため、本製品をご使用の際は下記の点に充分ご注意ください。

・映像、音声の記録を目的とした機器を本製品に接続して映像、音声を記録する場合は、著作権に関する法律に充分ご注意ください。
・権利者の許諾を得ずに、第三者の著作物である映像、音声素材を上映、配信したり、本機の HDD（ハードディスクドライブ）に記録してフォルダーを共有状態にし、特定多数または不特定多数からアクセス可能とすることは法律で禁止されています。
・ソフトウェアバージョンアップや機能拡張に伴い、著作権保護の目的のため、入力可能な映像、音声信号の仕様等について予告なく変更されることがあります。
・あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

録画内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で記録ができなかった場合、不具合・修理など何らかの原因で記録内容が破損、消滅した場合等、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切の責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製等はいたしません。あらかじめご了承ください。

以下のような操作を行うと不具合が生じる場合があります。

・ほかの DVD レコーダーやパソコンの DVD ドライブで記録したディスクを本機で使用した場合。ほかの DVD レコーダーやパソコンで記録したディスクは、本機では追記できません。

セキュリティについて

通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

結露について

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原因となる場合があります。

有寿命部品について

- HDD、ファン、バッテリー、DVD ドライブは有寿命部品として定期的な交換が必要です。常温でのご使用の場合、2 ～ 3 年を目安に交換してください。ただし、交換時期は目安であり、部品の寿命を保証するものではありません。交換の際はお買い上げ店にご相談ください。
- AC アダプターと電解コンデンサの寿命は約 5 年です。（常温で 1 日に 8 時間、1 カ月で 25 日間、通常に使用すると想定した場合）
  したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。

HDD 内蔵機器に対する注意事項

本機には、ハードディスクドライブ（以下 HDD と称する）が搭載されています。HDD は精密部品であり、衝撃・振動・静電気・温度・湿度が原因で故障したり、HDD 内のデータが破損する恐れがあります。本機を設置・使用するときは、以下の注意事項をよくお読みのうえ、慎重に取り扱ってください。

衝撃・振動を与えない

衝撃・振動が加わると HDD が故障あるいは HDD 内のデータが破損される恐れがあります。

・本機を輸送する場合は、指定の梱包材料で梱包してください。台車などで搬送する場合は、振動の少ない台車を使用してください。過度な衝撃・振動が加わると HDD が故障するおそれがあります。
・通電中は本機を移動しないでください。
・本機の外装を取り外さないでください。
・本機を床などに置くときは、本機の底に必ず指定のゴム脚がついている状態で、静かに降ろしてください。脚が付いていない場合は、脚を取り付けてから置いてください。
・振動を発生する機器の近くには置かないでください。

電源オフ後 30 秒間は作業しない

電源をオフにした後もしばらくの間は、HDD 内のディスクは慣性で回転しており、ヘッドは不安定な状態にあります。この期間は、通電中以上に衝撃・振動に弱い状態です。電源オフ後、最低 30 秒間は軽い衝撃も与えないようにご注意ください。30 秒以上経過すれば、（ディスクが静止するので）作業を開始できます。

温度・湿度に関するご注意

適正範囲内の温度・湿度のある場所で、保管・使用してください。（仕様を守ってお使いください。）

HDD に不良症状が現れた場合

万一、本機の HDD が故障した（不良症状が現れた）と思われる場合でも、本機の取り扱いは、上記と同様に行ってください。不良内容の確認や不良解析を行うまでの損傷の拡大を防ぎます。

HDD を含む有寿命部品の交換

HDD、バッテリーは有寿命部品として定期的な交換が必要です。常温でのご使用の場合、2 ～ 3 年を目安に交換してください。ただし、交換時間は目安であり、部品の寿命を保証するものではありません。交換の際はお買い上げ店にご相談ください。

AVCHD 規格で記録したディスクについて

AVCHD 規格で記録したディスクは、AVCHD 規格に対応していない機器には入れないでください。機器が正常に動作しなくなることがあります。また、AVCHD 規格に対応していない機器では再生できません。

メディアについて

ご使用になる光学メディアおよび USB メディアは、すべてを保障するものではありません。ご使用になるメディアについては、お買い上げ店にご相談ください。

HDMI/DVI-D 入力について

HDMI/DVI-D 入力の映像が映らない場合は、本機の電源を先に入れ、完全に起動した（フロントパネルに「READY」が表示されます）ことを確認してから、入力装置側の電源を入れなおしてください。

使用上のご注意

通風口をふさがない

本機内部の温度上昇を防ぐために、本機周囲は 10 cm 以上のスペースを空けてください。

強い衝撃を与えない

内部構造や外観の変形などの損傷を受けることがあります。

動作中は布などで包まないでください

内部の温度が上がり、故障することがあります。

使い終わったら

オン／スタンバイスイッチをオフにしてください。
長時間使わないときは、さらに AC アダプターを取りはずしてください。

輸送

- DVD は必ず取り出しておいてください。
- トラック、船、航空機など、本機を貨物として扱う輸送では、お買い上げ時の梱包材をご使用ください。

お手入れ

キャビネットやパネルの汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふきとってください。
汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布で汚れをふきとり、乾いた布で仕上げてください。アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤など、揮発性のものをかけると、変質したり塗装がはげたりすることがあります。
本体表面の清掃は、濃度 50 ～ 70 v/v%のイソプロピルアルコール、または濃度 76.9 ～ 81.4 v/v%のエタノールで清拭してください。

万一、異常が生じたときは

ソニーのサービス担当者、営業担当者にご相談ください。

概要

第1章

本機の特長

HD ビデオレコーダー HVO-500MD および HVO-550MD は、HD/SD 対応の検査画像記録用レコーダーです。超音波診断装置などの映像を記録したり、USB ハードディスクやファイルサーバーなどに録画データを同時に転送できます。

術中・術後の作業効率を向上

動画を記録

超音波診断装置などから、動画を記録できます。HD/SD に対応しているので、高画質で記録 / 再生ができます。

外部メディアに同時保存可能

検査の終了とほぼ同時に、外部メディアへの保存が完了します。

多様な外部ストレージに接続可能

簡単な操作で、USB 対応の外付け HDD や USB メモリーに同時記録が行えます。また、後から録画データをコピーすることも可能です。PC で画像を編集したりするときに便利です。

警告

この機器のコネクターは絶縁されておりません。
ご使用にあたっては、本機からのみ電源を供給して動作する USB 対応の外付け HDD や USB メモリー以外の接続は禁止します。
交流電源で動作する機器を接続されると、接続した機器から漏洩電流が流入し、患者や操作者に対して感電の危険があります。
やむを得ずご使用になる場合は、接続する機器側の電源に絶縁トランスを接続して絶縁を行うか、接続ケーブル間にアイソレーターを接続し絶縁を行うことにより、システムとして IEC60601-1 に適合できるレベルに感電のリスクが充分低減されていることを確認してからご使用ください。

記録したデータの編集が可能

市販のソフトウェアを使って、外部メディアに記録した画像をコンピューター上で再生したり、目的に応じて編集することが可能です。

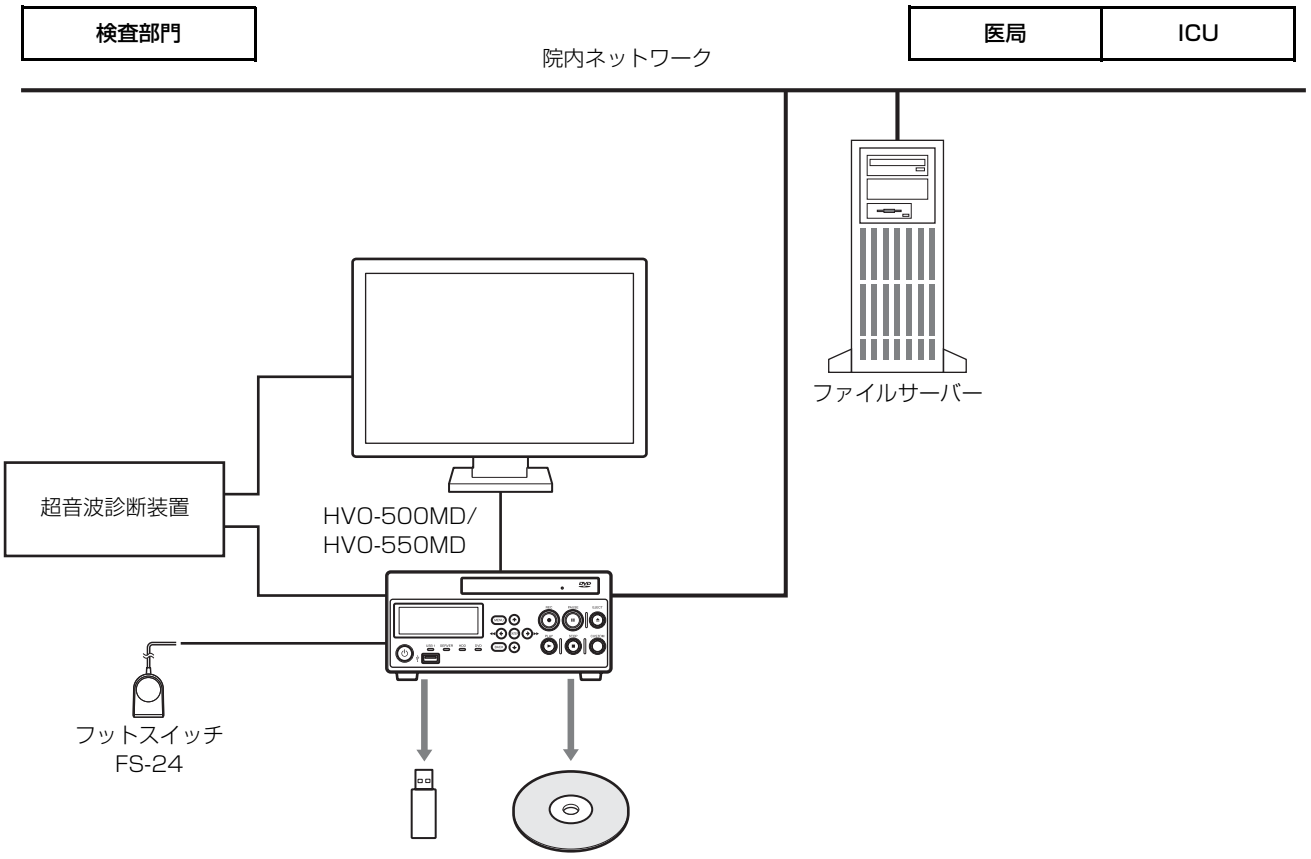
ネットワーク経由でファイル転送

院内ネットワーク経由で、検査室から PC に直接録画データを転送できます。

警告

この機器のコネクターは絶縁されておりません。
ご使用にあたっては、IEC60601-1 に適合した機器以外の接続は禁止します。
交流電源で動作する IT 機器や AV 機器を接続されると、接続した機器から漏洩電流が流入し、患者や操作者に対して感電の危険があります。
やむを得ずご使用になる場合は、IT 機器や AV 機器側の電源に絶縁トランスを接続して絶縁を行うか、接続ケーブル間にアイソレーターを接続し絶縁を行うことにより、システムとして IEC60601-1 に適合出来るレベルに感電のリスクが充分低減されていることを確認してからご使用ください。

システム構成例



2 種類の外部メディアおよびサーバーのうち 1 つに録画データを同時保存できます。
※ DVD は HVO-550MD のみ

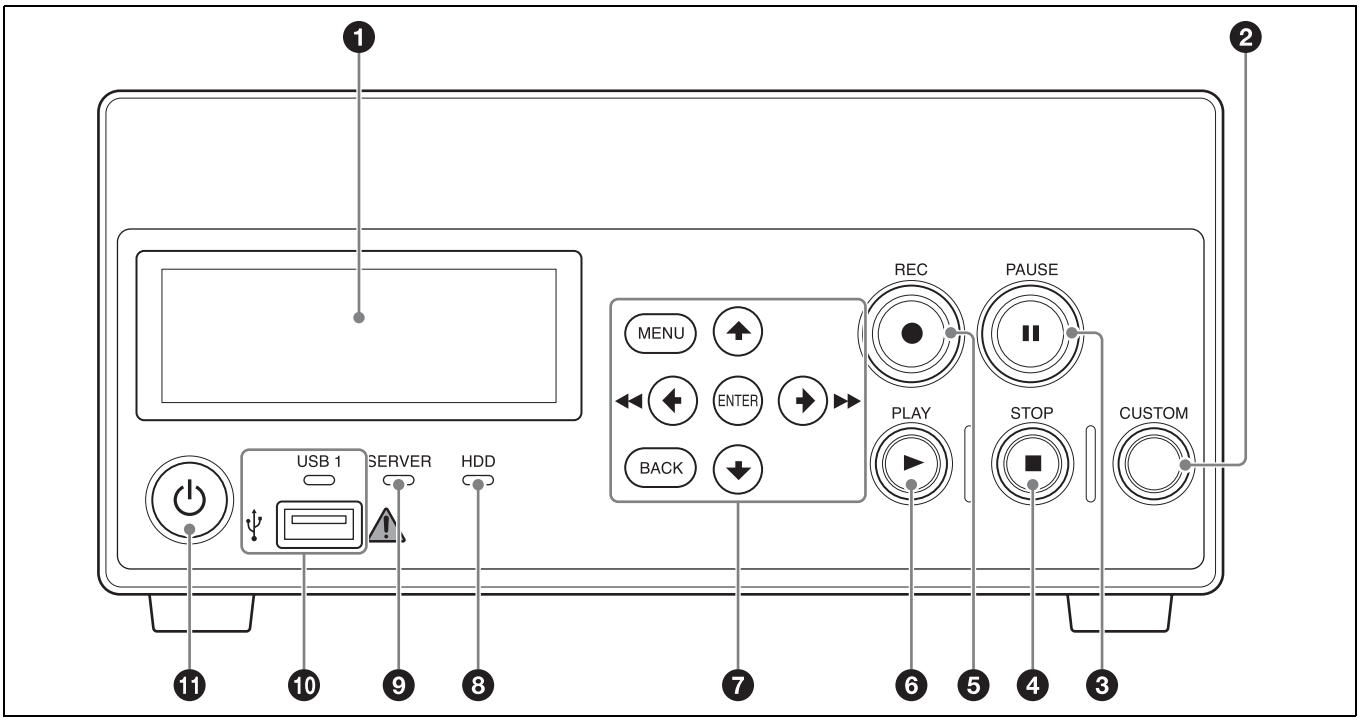
注意

FS-24 は防滴保護等級 IPx3 対応のため、液体にさらされる場所（手術室など）ではご使用になれません。安全のため、液体にさらされる場所（手術室など）でご使用の場合は、IPx6 以上に対応した製品をご使用ください。

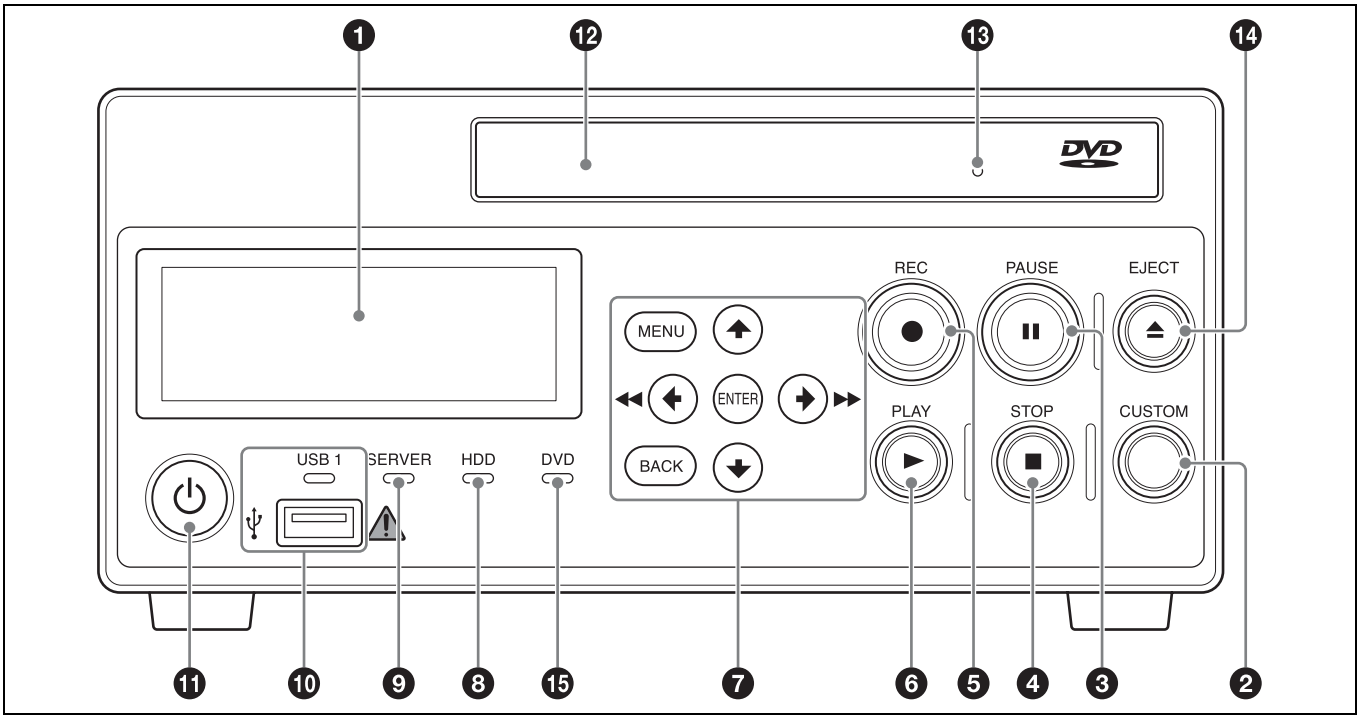
各部の名称とはたらき

前面

HVO-500MD



HVO-550MD



ご注意

(HVO-550MD のみ)

DVD ドライブ内のレーザーピックアップには触れない

レーザーピックアップに触れると静電気により、ドライブがハングアップし、書き込みができない場合があります。もしハングアップしてしまった場合は、レコーダーの電源を切り、再度 ON にすることで復帰します。

❶ フロントパネルディスプレイ

現在の状態やメッセージなどを表示します。

❷ CUSTOM（カスタム）ボタン

このボタンに割り当てられている機能を実行します。

◆ 機能の割り当てについては、「一般 2」の「CUSTOM ボタン動作」(60 ページ) をご覧ください。

❸ ❚❚PAUSE（一時停止）ボタン

録画中にこのボタンを押すと、録画を一時的に停止することができます。再度押すと、録画が再開されます。なお、録画を一時停止した場合、停止した位置でチャプターが区切られます。

また、再生を一時停止します。

このボタンを再度押すか、PLAY ボタンを押すと、再生が再開されます。

一時停止中は、フロントパネルディスプレイに「PAUSE」の文字が表示されます。

❹ ■STOP（停止）ボタン

録画、または再生を停止します。

なお、録画を停止した位置で録画データが区切られます。

❺ ●REC（録画）ボタン

このボタンを押すと、動画／音声の録画が開始します。録画中は、フロントパネルディスプレイに「REC」の文字と時間が表示されます。

◆ 操作方法については、「手動で録画する」(35 ページ) をご覧ください。

❻ ▶PLAY（再生）ボタン

- 本機の内蔵ハードディスクに保存されている最新の録画データを再生します。
- 再生が一時停止中の場合は、再生を再開します。

❼ メニュー操作ボタン

メニュー操作時に使用します。

MENU（メニュー）ボタン

メニューを表示／非表示します。

▲ ボタン

フォーカスを上に移動させたり、上の項目を選択するときに使用します。

◀ ／ ◀◀ ボタン

フォーカスを左に移動させたり、左の項目を選択するときに使用します。

また、録画データの再生時に、巻き戻し再生します。

▼ ボタン

フォーカスを下に移動させたり、下の項目を選択するときに使用します。

また、再生中に押すと、再生画像が一時停止状態となります（フリーズオン機能）。

▶ ／ ▶▶ ボタン

フォーカスを右に移動させたり、右の項目を選択するときに使用します。

また、録画データの再生時に、早送り再生します。

ENTER（確定）ボタン

選択しているメニューや項目を決定したり、操作を実行するときに使用します。また、録画や再生などが行われていないときは、5 秒間長押しするたびに、DVI-D → HDMI → VIDEO → S VIDEO と入力信号を切り替えることができます。

BACK（戻る）ボタン

メニュー画面や操作画面の表示時に、1 つ前の画面に戻ります。

❽ HDD LED

内蔵ハードディスクの状態を示します。

色と光りかた	状態
緑点滅	内蔵ハードディスクにアクセス中。
緑点灯	内蔵ハードディスクの記録領域がなくなりました。不要な録画データを削除してください。
オレンジ点灯	エラー発生。

❾ SERVER LED

サーバーへのアクセス状態を示します。

色と光りかた	状態
緑点滅	サーバーにアクセス中。
緑点灯	サーバーの記録領域がなくなりました。
オレンジ点灯	エラー発生。

❿ USB 端子 1 ／ LED

USB メモリーや外付けハードディスクなどの USB メディアを接続します。

LED で USB メディアへのアクセス状態を示します。

色と光りかた	状態
緑点滅	USB メディアに書き込み中。
緑点灯	USB メディアの記録領域がなくなりました。不要な録画データを削除するか、メディアを交換してください。
オレンジ点灯	エラー発生。

ご注意

このLEDが緑色に点滅しているときは、絶対にUSBメディアを抜かないでください。

⓫ **⏻（オン／スタンバイ）スイッチ**
押すと電源が入り、フロントパネルディスプレイが点灯します。

メモ

電源を完全に遮断するには、ACアダプターの電源コードを抜いてください。

⓬ **ディスクトレイ（HVO-550MDのみ）**
ディスクの出し入れをするトレイです。

⓭ **ディスク排出穴（HVO-550MDのみ）**
⏏ディスクトレイ開ボタンを押してもディスクトレイが開かないとき、先を伸ばしたクリップなどで押して、ディスクトレイを開きます。

⓮ **⏏ ディスクトレイ開ボタン（HVO-550MDのみ）**
ディスクトレイを開けるときに押します。

⓯ **DVD LED（HVO-550MDのみ）**
DVDドライブの状態を示します。

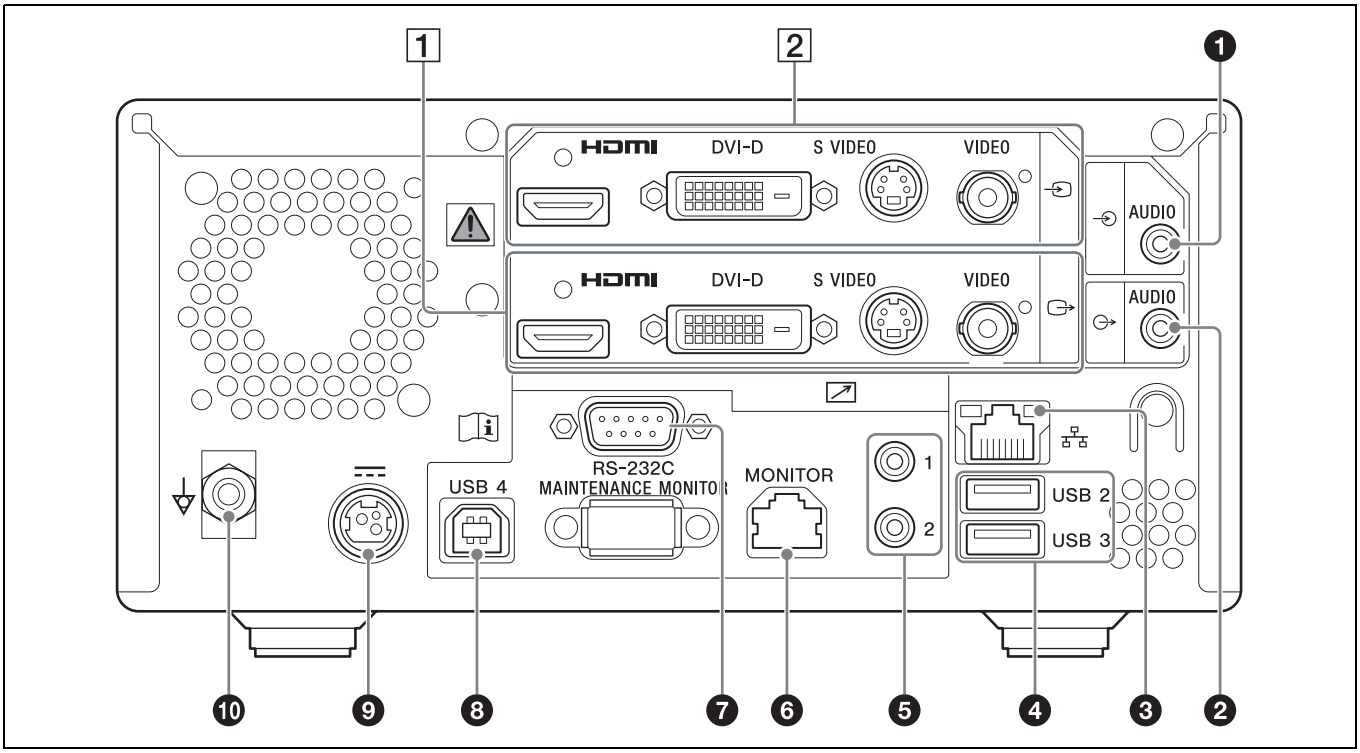
色と光りかた	状態
緑点滅	DVDに書き込み中。
緑点灯	DVDの記録領域がなくなりました。ディスクを交換してください。
オレンジ点灯	エラー発生。

ご注意

このLEDが緑色に点滅しているときは、ディスクを取り出せません。

後面

HVO-500MD/550MD 共通



警告

この機器のコネクターは絶縁されておりません。
ご使用にあたっては、IEC60601-1に適合した機器以外の接続は禁止します。

交流電源で動作するIT機器やAV機器を接続されると、接続した機器から漏洩電流が流入し、患者や操作者に対して感電の危険があります。
やむを得ずご使用になる場合は、IT機器やAV機器側の電源に絶縁トランスを接続して絶縁を行うか、接続ケーブル間にアイソレーターを接続し絶縁を行うことにより、シス

テムとして IEC60601-1 に適合出来るレベルに感電のリスクが充分低減されていることを確認してからご使用ください。

注意

後面パネルのコネクターの端子と患者を同時にさわらないください。
本機の故障時に患者に悪影響を与える電圧が発生する可能性があります。
コネクターの抜き差しは必ず電源コードをはずした状態で行ってください。

❶ AUDIO 入力（アナログオーディオ信号入力）端子（ステレオミニジャック）
アナログオーディオ信号を入力します。

❷ AUDIO 出力（アナログオーディオ信号出力）端子（ステレオミニジャック）
アナログオーディオ信号を出力します。

❸ ネットワーク端子（RJ-45）
1000 Base-T/100 Base-TX のネットワークケーブルを接続します。

注意

- 安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクターをこの端子に接続しないでください。
  接続については本書の指示に従ってください。
- LAN ケーブルご使用の際は、輻射ノイズによる誤動作を防ぐため、シールドタイプのケーブルを使用してください。

❹ USB 端子 2 ～ 3
USB デバイスを接続します。

メモ

USB 接続機器について

- USB メディアは FAT32 でフォーマットされたソニー製のものをお使いください。
- 一般的な USB 機器に対応する端子ではありません。
- ハブやハブ内蔵の機器には対応しておりません。

警告

この機器のコネクターは絶縁されておりません。
ご使用にあたっては、本機からのみ電源を供給して動作する USB 対応の外付け HDD や USB メモリー以外の接続は禁止します。
交流電源で動作する機器を接続されると、接続した機器から漏洩電流が流入し、患者や操作者に対して感電の危険があります。
やむを得ずご使用になる場合は、接続する機器側の電源に絶縁トランスを接続して絶縁を行うか、接続ケーブル間にアイソレーターを接続し絶縁を行うことにより、システムとして IEC60601-1 に適合できるレベルに感電のリスクが充分低減されていることを確認してからご使用ください。

❺ REMOTE 接点スイッチ端子 1 ～ 2（ステレオミニジャック）
接点スイッチを使って本機を制御するときに使用します。

◆ 接点スイッチについては、「接点スイッチ」（67 ページ）をご覧ください。

❻ REMOTE MONITOR 端子（RJ-45）
モニター制御を行うときに使用します。

◆ モニター制御については、「接点スイッチ」（67 ページ）をご覧ください。

❼ REMOTE RS-232C 端子（D-sub 9 ピン）
シリアルインターフェースを持つ機器から本機や外部機器を操作するときに使用します。

❽ USB 4 端子
USB デバイスを接続します。接続された USB デバイスは、RS-232C と同様の制御ができます。

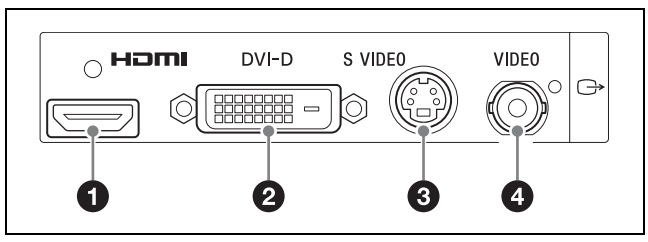
❾ DC 電源入力端子
付属の AC アダプターからの DC 電源ケーブルを接続します。

注意

DC コネクターを機器に接続してから AC アダプターの電源コードを接続してください。
DC コネクターを外す場合は AC アダプターの電源コードを先に外してから DC コネクターを外してください。
DC コネクターのピンと患者を同時にさわらないでください。
DC コネクターのピンには 24 V の電圧がかかっており、患者に対して悪影響を与える可能性があります。

❿ ⏚等電位端子
等電位接地接続に使用します。

1 映像出力部



❶ HDMI 出力端子（Type A）
HDMI 信号を出力します。

ご注意

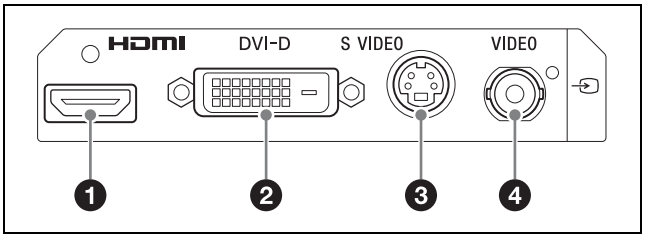
HDMI ケーブル（別売）は、ソニー製のケーブルを推奨します。

❷ **DVI-D 出力端子（DVI 19 ピン）**
DVI-D 信号を出力します。

❸ **S VIDEO 出力端子（4 ピンミニ DIN 端子）**
アナログの S ビデオ信号を出力します。

❹ **VIDEO（ビデオ信号）出力端子（BNC 型）**
アナログのコンポジットビデオ信号を出力します。

2 映像入力部



❶ **HDMI 入力端子（Type A）**
HDMI 信号を入力します。

ご注意

HDMI ケーブル（別売）は、ソニー製のケーブルを推奨します。

❷ **DVI-D 入力端子（DVI 19 ピン）**
DVI-D 信号を入力します。

❸ **S VIDEO 入力端子（4 ピンミニ DIN 端子）**
アナログの S ビデオ信号を入力します。

❹ **VIDEO（ビデオ信号）入力端子（BNC 型）**
アナログのコンポジットビデオ信号を入力します。

メモ

HDMI/DVI-D 入力の映像が映らない場合は、本機の電源を先に入れ、完全に起動した（フロントパネルに「READY」が表示されます）ことを確認してから、入力装置側の電源を入れなおしてください。

準備

第2章

接続する

1 付属のACアダプターのDC電源ケーブルを本機背面のDC電源入力端子に接続する。

2 医療機器の出力信号を本機背面の映像入力端子に接続する。

信号の種類（HDMI、DVI-D、Sビデオ、コンポジットビデオ）に応じて、適切な端子にケーブルを接続してください。

メモ

最初の起動時の設定は、DVI-Dです。DVI-D入力に対応しているモニターがない場合は、ENTERボタンを5秒以上押し、フロントパネルディスプレイで入力信号を確認しながら設定を切り替えてください。

3 ACアダプターのAC電源コードをAC電源に接続する。

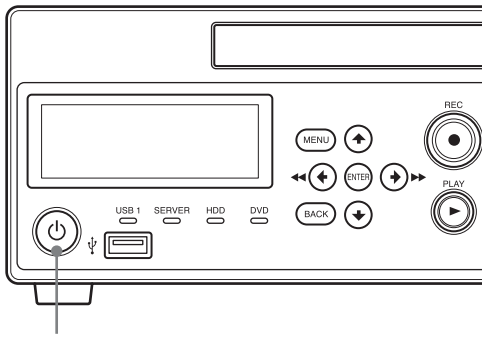
4 信号源となる医療機器の電源を入れる。

電源を入れる・切る

電源を入れるには

前面の⏻（オン／スタンバイ）スイッチを押します。

前面



⏻（オン／スタンバイ）スイッチ

電源が入ると、フロントパネルディスプレイが点灯し、「WELCOME」が表示されます。
フロントパネルディスプレイの表示が、「BOOTING...」と変わり、「READY」になると、次の操作が可能となります。

通常の操作時の電源オン／スタンバイは

前面パネルの⏻（オン／スタンバイ）スイッチで、電源オン／スタンバイを切り替えます。
フロントパネルディスプレイに終了処理中であることを示す「FINISHING」が表示され、処理終了後に「GOOD BYE」が表示された後消灯し、電源が切れます。

メモ

電源を完全に遮断するには、ACアダプター—の電源コードを抜いてください。

システム環境を設定する

実際のオペレーションを始める前に、システムの設定を行ってください。システムの設定はシステム管理者が行ってください。

◆ システムの設定については、「システム管理者設定」（54 ページ）をご覧ください。

録画に関する設定をする（ユーザー設定）

「ユーザー設定」メニューで、映像入力の切り替えや画質の設定を行います。
メニューの操作は、本機前面の操作ボタンから行います。

メモ

「ユーザー設定」の内容は、［入力切替］タブ内の設定を除き、電源を切ると「システム管理者設定」の内容に戻ります。

「ユーザー設定」メニューを表示する

1 MENU ボタンを押す。

「メニュー」画面が表示されます。

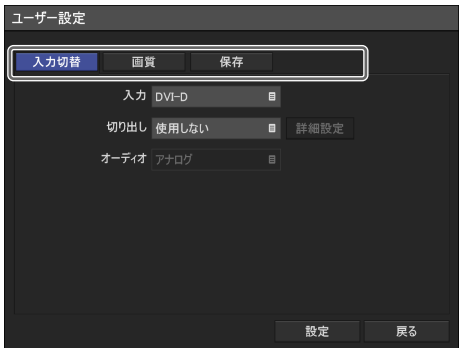
2 ↑、↓ ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

「設定」画面が表示されます。

3 ←、→ ボタンを押して［ユーザー設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

「ユーザー設定」画面が表示されます。

4 ←、→ ボタンを押してタブを選び、ENTER ボタンを押す。



5 各タブで、必要な設定を行う。

6 設定が終了したら、↑、↓、←、→ ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

「設定」画面に戻ります。

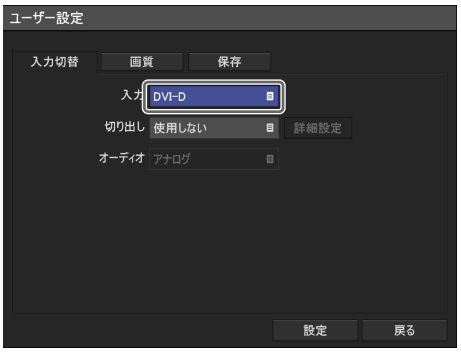
入力信号に関する設定をする

映像や音声の入力信号を選択したり、入力映像の切り出しに関する設定を行います。

1 ←、→ ボタンを押して［入力切替］タブを選ぶ。

2 各項目を設定する。

↑、↓、←、→ ボタンを押して項目を選び、ENTER ボタンを押すと、項目に応じた画面が表示されます。



入力

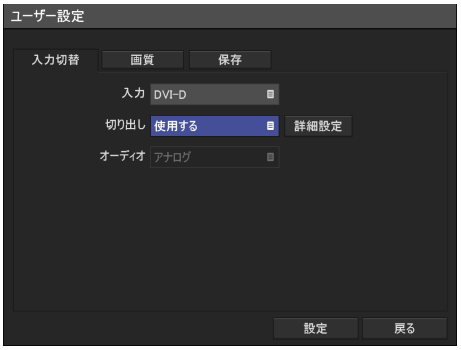
表示される入力選択画面で、映像の入力信号を選び、ENTER ボタンを押す。

各入力信号に対応している解像度については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

切り出し

入力映像の切り出しをするかどうかを設定します。設定した切り出しサイズに従って、入力映像を拡大／縮小して録画します。

［使用する］に設定すると、［詳細設定］が表示されます。

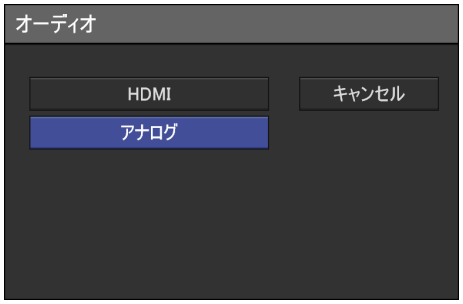


◆ 設定方法については、「切り出しの詳細設定を行う」（25 ページ）をご覧ください。

オーディオ

表示される入力信号オーディオ選択画面で、入力信号を［HDMI］に設定している場合に記録する音声入力の信号を選び、ENTER ボタンを押します。

初期値は［HDMI］です。



3 続けて画質の設定をする場合は、「画質の設定をする」（25 ページ）に進む。

設定を終了する場合は、↑、↓、←、→ ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押します。

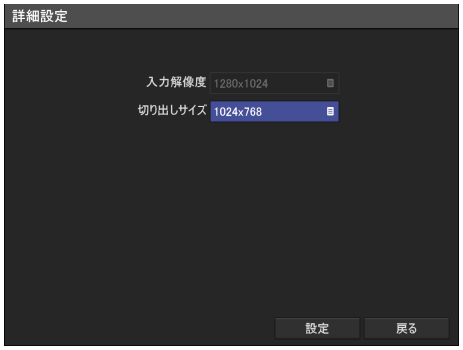
切り出しの詳細設定を行う

切り出しサイズを設定します。「詳細設定」画面では、入力解像度が表示されます。

1 ←、→ ボタンを押して［詳細設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

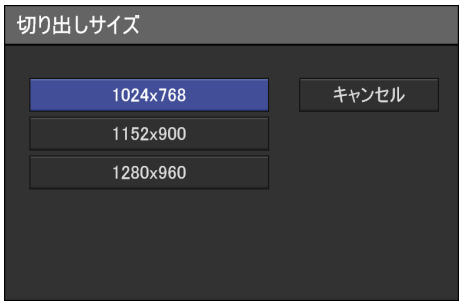
「詳細設定」画面が表示されます。

2 ↓ ボタンを押して［切り出しサイズ］を選び、ENTER ボタンを押す。



切り出しサイズを設定する画面が表示されます。

3 ↑、↓ ボタンを押して切り出しサイズを選び、ENTER ボタンを押す。



メモ

切り出しサイズが記録解像度と一致していない場合は、上下左右に黒帯が付加されます。

画質の設定をする

動画の画質に関する設定を行います。

1 ←、→ ボタンを押して［画質］タブを選ぶ。

メモ

［録画時間］には、次の情報が表示されます。

- HVO-500MD の場合：USB メディア（500 GB）に録画できる目安
- HVO-550MD の場合：DVD-R1 層（4.7 GB）に録画できる目安

2 動画に関する設定をする。

① ↓ ボタンを押して［画質］ボックスを選び、ENTER ボタンを押す。

「画質」画面が表示されます。

②↑、↓ボタンを押して画質を選び、ENTER ボタンを押す。

「画質」画面が閉じ、［画質］タブに戻ります。

メモ

ここで設定した内容が、「録画準備」画面の［動画の画質］の初期値になります。

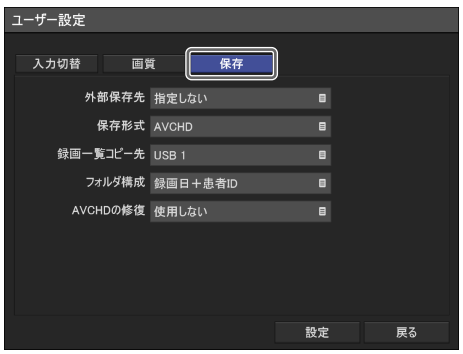
3 続けて保存に関する設定をする場合は、「保存に関する設定をする」（26 ページ）に進む。

設定を終了する場合は、↑、↓、←、→ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押します。

保存に関する設定をする

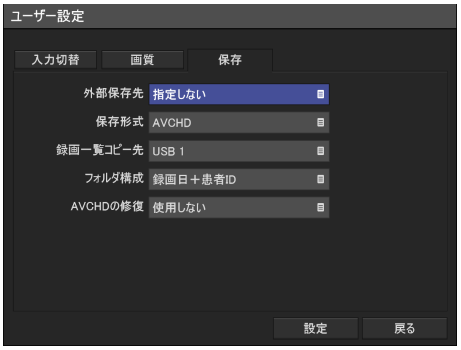
録画データを保存する外部メディアやメタデータの出力先に関する設定を行います。

1 ←、→ボタンを押して［保存］タブを選ぶ。



2 各項目を設定する。

↑、↓ボタンを押して項目を選び、ENTER ボタンを押すと、項目に応じた画面が表示されます。



外部保存先

表示される「外部保存先」画面で、保存先の外部メディアを選び、ENTER ボタンを押します。

保存形式

表示される「保存形式」画面で、保存する形式を選び、ENTER ボタンを押します。

ご注意

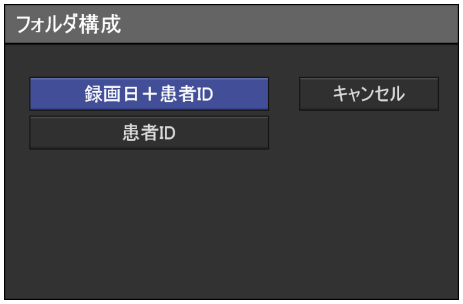
AVCHD 形式でサーバーに録画データを保存する場合、複数のレコーダーで保存先を同一サーバー上の同じ共有名に設定しないでください。同時に保存操作を行うと、録画データが破損する可能性があります。

録画一覧コピー先

表示される「録画一覧コピー先」画面で、録画一覧をコピーする外部メディアを選び、ENTER ボタンを押します。

フォルダ構成

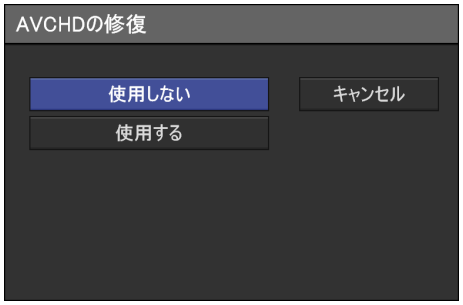
表示される「フォルダ構成」画面から、外部メディアに書き出すファイルの構成を選び、ENTER ボタンを押します。



［患者 ID ＋録画日時］が設定されているときに、同じ患者 ID で録画データが追加された場合、患者 ID フォルダーの下に新たに録画日時のフォルダーが作成され、そこに録画データが格納されます。

AVCHD の修復

表示される「AVCHD の修復」画面から、AVCHD のファイルが壊れているなど追記が継続できない場合に、修復を行うかどうかを選び、ENTER ボタンを押します。修復は、対象のファイルをバックアップフォルダーに退避して、追記を継続します。



3 設定が終了したら、↑、↓、←、→ ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

「設定」画面に戻ります。

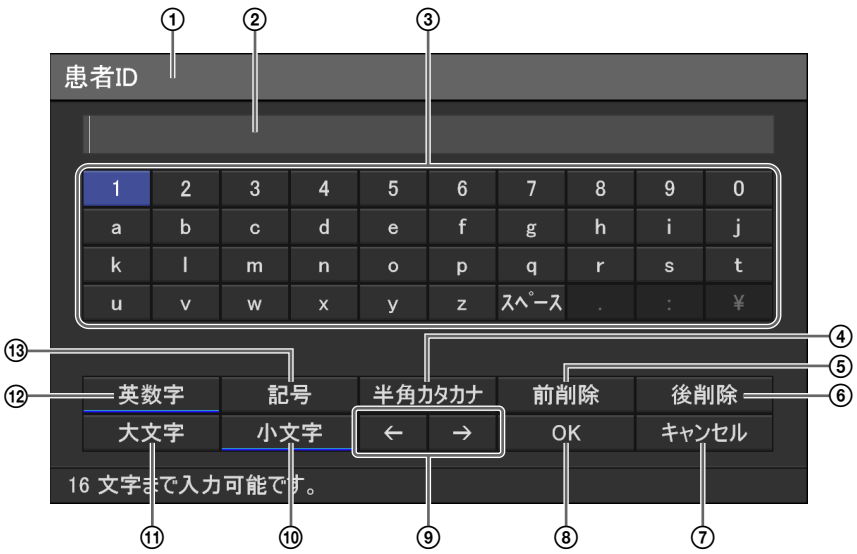
ソフトキーボードの使いかた（文字入力）

文字入力が必要な項目では、文字入力用のソフトキーボード画面が表示されます。

ソフトキーボードの各部の名称とはたらき

ソフトキーボードには、英数表示、記号表示、半角カナ表示があります。
ソフトキーボードの各部の機能と使いかたは、以下のとおりです。

例）英数表示の場合



① タイトルバー
ソフトキーボードを起動した項目名が表示されます。

② 入力表示欄
キーボードで選択した文字が入力されます。

メモ

ハードキーボードを使用している場合も、ここに文字が入力されます。

③ キーボード
↑、↓、←、→ ボタンを押して入力したい文字を選び、ENTER ボタンを押すと、② 入力表示欄に文字が入力されます。

④ 半角カタカナ
ここを選択して ENTER ボタンを押すと、キーボードを半角カタカナ表示に切り替えます。

⑤ 前削除
ここを選択して ENTER ボタンを押すと、カーソルの前の文字が 1 つずつ削除されます。

⑥ 後削除
ここを選択して ENTER ボタンを押すと、カーソルの次の文字が 1 つずつ削除されます。

⑦ キャンセル
ここを選択して ENTER ボタンを押すと、入力をキャンセルし、ソフトキーボード画面を閉じます。

⑧ OK
ここを選択して ENTER ボタンを押すと、入力表示欄の文字が設定画面に入力されます。

⑨ ← ／ →
ここを選択して ENTER ボタンを押すと、カーソルが右または左に 1 つずつ移動します。

⑩ 小文字
ここを選択して ENTER ボタンを押すと、キーボードを小文字表示に切り替えます。

⑪ 大文字
ここを選択して ENTER ボタンを押すと、キーボードを大文字表示に切り替えます。

⑫ 英数字
ここを選択して ENTER ボタンを押すと、キーボードを英数字表示に切り替えます。

⑬ 記号
ここを選択して ENTER ボタンを押すと、キーボードを記号表示に切り替えます。

メモ

ソフトキーボードでは、漢字、ひらがな、全角カタカナは入力できません。

ディスクの取り扱い

使用可能なディスク

本機では、以下の DVD ディスクが利用できます。
- DVD-R（1 層）

メモ

使用できるディスクはデータ用のみです。ビデオ用ディスクは使用できません。

ご注意

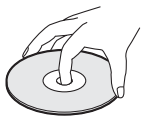
本機で記録した DVD のディスクを Windows XP のコンピューターで再生すると、そのディスクに追記できなくなる場合があります。

ディスクの初期化について

本機では、未使用のディスクをご使用になる場合は、自動的に初期化します。

取り扱い上の注意

取り扱いかた
- 記録､再生面に手を触れないように持ってください。



- 次のようなディスクは使用しないでください。本機の故障の原因となることがあります。
  – 紙やシールの貼られたディスク
  – セロハンテープやラベルなどの糊がはみ出したり､はがした跡のあるディスク
  – ひびの入っているディスク
  – 割れたり、欠けたりしたディスクを接着剤で修復したディスク

保管のしかた
- 直射日光が当たるところなど、温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保管してください。

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや画質低下の原因になります。いつもきれいにしておいてください。

お手入れのしかた

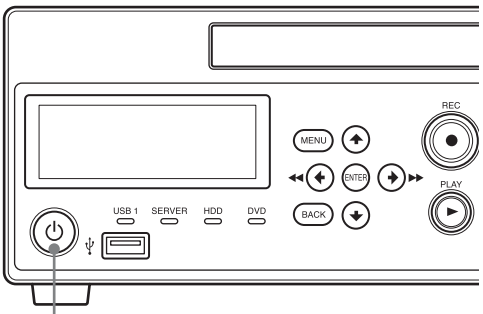
- 柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽くふきます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布でふいた後、さらに乾いた布で水気をふき取ってください。

- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

ディスクを出し入れする

ディスクを入れるには

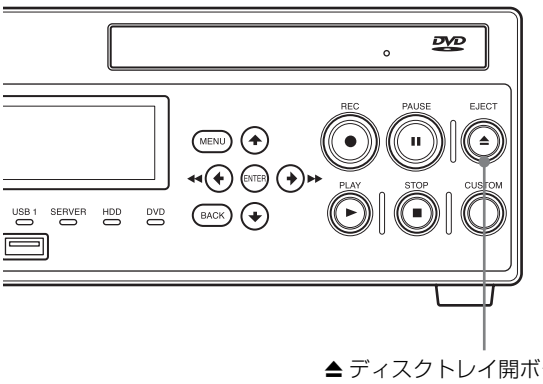
1 ⏻（オン／スタンバイ）スイッチを押して電源を入れる。



⏻（オン／スタンバイ）スイッチ

フロントパネルディスプレイに「WELCOME」と表示されます。
メッセージが、「READY」に変わってから、次の操作に進みます。

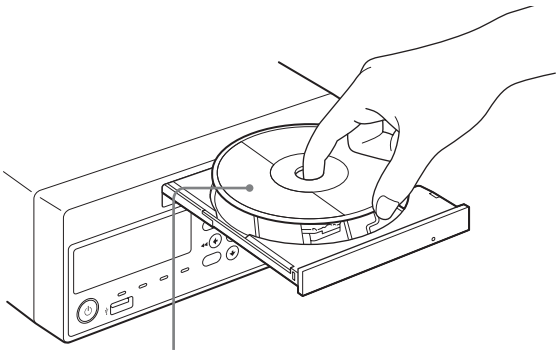
2 ⏏ディスクトレイ開ボタンを押す。



⏏ディスクトレイ開ボタン

ディスクトレイが開きます。

3 ディスクを入れる。



記録／再生面を下に

4 ディスクトレイを押す。

ディスクトレイが閉まります。

本機で使用できないディスクを入れたとき

LED がオレンジ色に点灯します。また、メニュー画面上にサポート外メディアであることを知らせるメッセージが表示されます。ディスクを取り出して、本機で使用できるディスクに入れ替えてください。

ディスクを取り出すには

1 電源が入った状態で⏏ディスクトレイ開ボタンを押す。

ディスクトレイが開きます。

2 ディスクを取り出す。

3 ディスクトレイを押して閉める。

メモ

- ファイナライズを行っている場合、ディスクトレイが開くまで時間がかかることがあります。ファイナライズが完了するまで、しばらくお待ちください。
- DVD に同時保存している場合、録画中および録画一時停止中はディスクトレイを開くことはできません。

簡単操作

第3章

操作の流れ

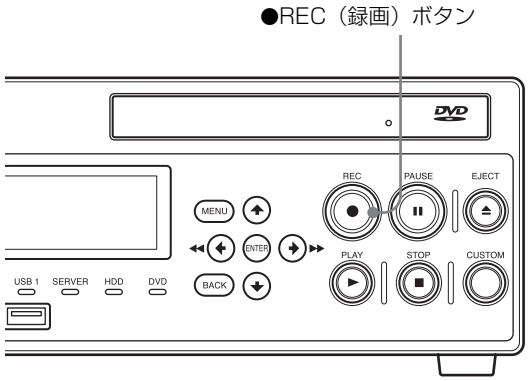
本章では、本機前面のボタンを使って、本機前面のフロントパネルディスプレイを見ながら録画・簡易再生を行うときの操作の流れについて説明します。

Step 1 録画する	本機前面のボタンを使って、手動で録画します。
↓	
Step 2 簡易再生する	今録画したデータを再生します。
↓	
Step 3 録画を終了する	録画操作を終了します。

◆「メニュー」画面を見ながら操作する方法や操作の詳細については、「第 4 章　録画・再生」（35 ページ）をご覧ください。

Step 1 録画する

1 ●REC（録画）ボタンを押す。

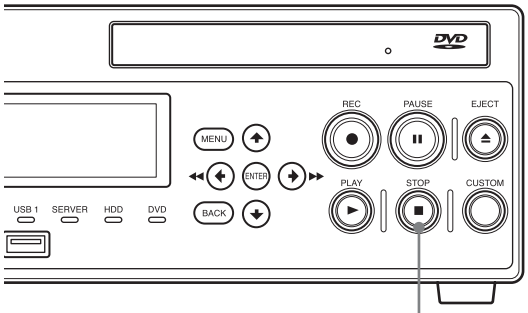


録画が開始されます。
録画中は、本機前面のフロントパネルディスプレイに「REC」と表示されます。

メモ

「録画準備」画面で患者情報を入力せずに記録を行った場合、患者 ID には自動的に番号が振られます。自動採番された患者 ID は、冒頭に「U」の文字が付加されます。

2 録画を終了するときは、■STOP（停止）ボタンを押す。



■STOP（停止）ボタン

録画が停止し、次の画面が表示されます。

END
1234567890123456

メモ

再度 ●REC（録画）ボタンを押すと、新規録画データとして記録が開始されます。

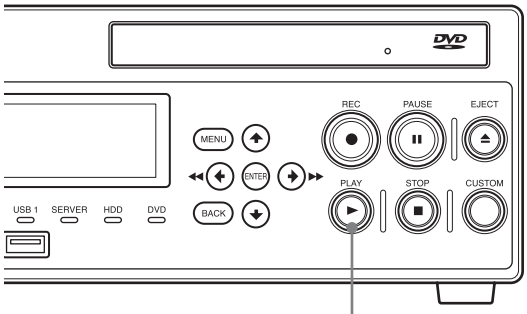
Step 2 簡易再生する

Step 1 で録画したデータを再生してみましょう。

「簡易再生」とは

▶PLAY（再生）ボタンを押すだけで、本機の内蔵ハードディスクに保存されている最新の録画データを再生する機能です。

▶PLAY（再生）ボタンを押します。



▶PLAY（再生）ボタン

最新の録画データが再生されます。
再生中は、次の画面が表示されます。

チャプター

▶ 001　00:00:01
1234567890123456

患者 ID

再生中は、次の操作が行えます。

早送り再生する

▶▶FF（早送り）ボタンを押します。

メモ

データの構成によっては、最後まで早送りされない場合があります。

巻き戻し再生する

◀◀REW（巻き戻し）ボタンを押します。

再生を一時停止する

❚❚PAUSE（一時停止）ボタンを押します。
再生を再開するときは、もう一度 ❚❚PAUSE（一時停止）ボタンを押すか、▶PLAY（再生）ボタンを押します。

再生を停止する

■STOP（停止）ボタンを押します。

再生が停止すると、次の画面が表示されます。

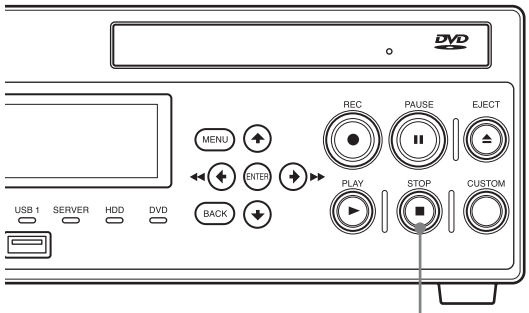
```
READY
```

メモ

- 再生中に MENU ボタンを押すと、「リピート再生設定」画面が表示されます。
- ［システム管理者設定］で、ビデオ信号を NTSC に設定している場合、PAL の録画データは正常に再生できません。また、PAL に設定している場合、NTSC の録画データは正常に再生できません。

Step 3 録画を終了する

■STOP（停止）ボタンを押します。



■STOP（停止）ボタン

録画が停止し、次の画面が表示されます。

```
END
1234567890123456
```

メモ

本機の内蔵ハードディスクと同時に外部メディアにも記録している場合は、終了まで少々時間がかかります。書き込みが終了するまで、しばらくお待ちください。

録画・再生

第4章

録画する

録画の方法は、ユーザーによる手動録画と、接点スイッチによる録画があります。ここでは、手動で録画する手順について説明します。

◆ 患者情報や録画データの保存先などの事前設定については、「録画準備をする」（40 ページ）をご覧ください。

メモ

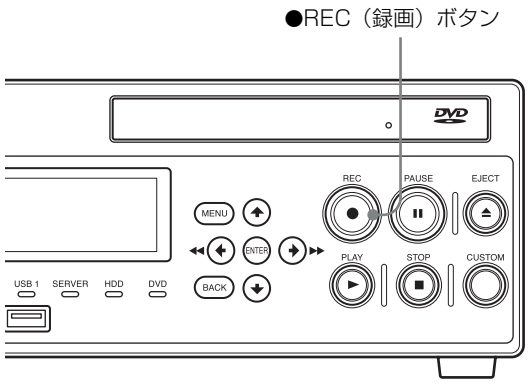
接点スイッチによる録画については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

録画データの自動削除機能についてのご注意

「システム管理者設定」で自動削除機能を［使用する］に設定している場合、本機の内蔵ハードディスクの空き容量を常に確保しておくために、内蔵ハードディスクの空き容量が不足すると、自動削除機能が働き、外部メディアに保存済みの録画データから優先して、記録開始日の古い順に自動削除が行われます。

手動で録画する

1 本機前面の ●REC（録画）ボタンを押す。

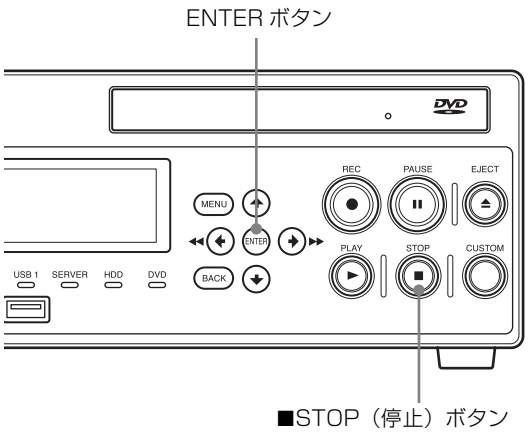


録画が開始されます。
録画中に MENU ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

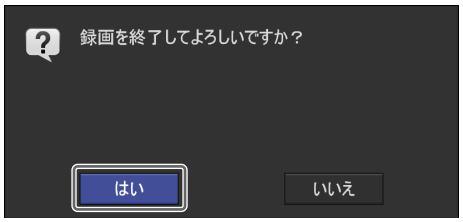
また、録画中は本機のフロントパネルに「REC」と表示されます。

2 録画を終了するときは、本機前面の ■STOP（停止）ボタンを押す。

「メニュー」画面が表示されているときは、ENTER ボタンでも停止できます。



3 終了を確認するメッセージが表示されているときは、←、→ ボタンを押して［はい］を選び、ENTER ボタンを押す。



録画が終了します。
録画を終了すると、録画データが区切られます。
本機の内蔵ハードディスクと同時に外部メディアにも記録している場合は、次の画面が表示されます。書き込みが終了するまで、しばらくお待ちください。

4 書き込みが終了したら、［閉じる］を選び、ENTER ボタンを押す。

「メニュー」画面に戻ります。

メモ

連続記録可能時間は、録画準備してからの時間を含めて 24 時間です。24 時間に達すると、自動的に記録を停止します。

録画データの保存ディレクトリー

録画データは、「システム管理者設定」に従って、以下のディレクトリーに保存されます。

録画データの保存先

（外部メディアの最上位フォルダー）／＜記録開始年月日時分秒 _ 患者 ID ＞／ MOVIE ／
または
（外部メディアの最上位フォルダー）／＜患者 ID ＞／＜記録開始年月日時分秒＞／ MOVIE ／

プリレック機能

プリレック機能は、必要な映像を記録し損ねるのを避けるために、録画開始時間の 5 秒前から録画を行う機能です。
プリレック機能を使用するには、［システム管理者設定］－［機能設定］－［動画 2］タブで、［プリレック］を［使用する］に設定します。

メモ

- 保存先ディレクトリーの記録年月日の順番は、システム設定の日付形式に従います。
- 終了処理が完了する前に電源が落ちた場合、書き込みの保証はできません。
- 外部メディアに記録を行う場合、1 つの録画データに対してメディアの交換は 3 回までです。メディアの交換回数の限度に達すると、「録画終了」画面に「交換メディア数の上限超え」というメッセージが表示されます。

外部メディア記録を中止するには

外部メディアの記録を途中で中止する場合は、以下の操作を行います。

1 「メニュー」画面を表示したい場合は、MENU ボタンを押す。

2 ENTER ボタンを押す。

画面上に記録中止の確認メッセージが表示されます。フロントパネルディスプレイには「CANCEL YES/NO」のメッセージが表示されます。

3 画面上の「はい」、またはフロントパネルディスプレイの「YES」を選択する。

外部メディアへの記録が中止されます。

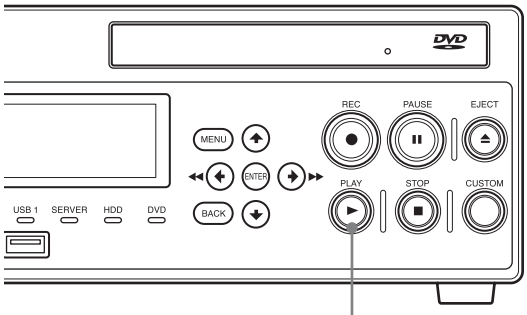
再生する

本機の内蔵ハードディスクに保存されている最新の録画データを簡単な操作で再生できます。

◆ 録画データを検索して再生することもできます。詳しくは、「検索する」（43 ページ）をご覧ください。

最新の録画データを再生する（簡易再生機能）

本機前面の ▶PLAY（再生）ボタンを押すと、本機の内蔵ハードディスクに保存されている最新の録画データが再生されます。



▶PLAY（再生）ボタン

再生操作をするには

本機前面のボタンで、以下の再生操作ができます。

早送り再生するには

▶▶FF（早送り）ボタンを押します。

メモ

データの構成によっては、最後まで早送りされない場合があります。

巻き戻し再生するには

◀◀REW（巻き戻し）ボタンを押します。

再生を一時停止するには

❚❚PAUSE（一時停止）ボタンを押します。
再生を再開するときは、もう一度 ❚❚PAUSE（一時停止）ボタンを押すか、▶PLAY（再生）ボタンを押します。

再生を停止するには

■STOP（停止）ボタンを押します。

メモ

- 再生中に MENU ボタンを押すと、「リピート再生設定」画面が表示されます。
- ［システム管理者設定］で、ビデオ信号を NTSC に設定している場合、PAL の録画データは正常に再生できません。また、PAL に設定している場合、NTSC の録画データは正常に再生できません。
- 再生画像は、録画時の入力端子と同じ端子から出力されます。再生開始時に録画時と入力の端子が変更されていた場合、再生画像は表示されません。

繰り返し再生する（リピート再生機能）

本機では、録画データの見たい部分を繰り返し再生して、確認することができます。以下の繰り返し再生が可能です。

- 任意の 2 点間の繰り返し再生（A-B 点リピート）（38 ページ）
- 任意のチャプターの繰り返し再生（39 ページ）
- 任意のタイトルの繰り返し再生（39 ページ）

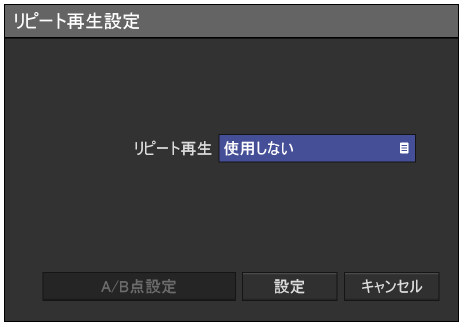
任意の 2 点間を繰り返し再生する（A-B 間リピート）

現在再生中の録画データに任意の 2 点（A/B 点）を設定し、その 2 点間を繰り返し再生できます。

1 再生中にフロントパネルの MENU ボタンを押す。

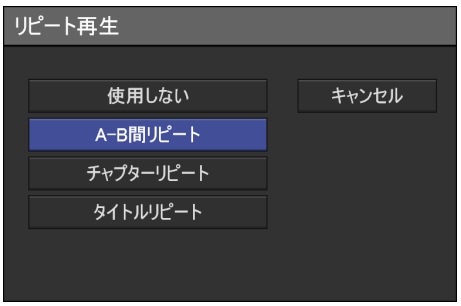
「リピート再生設定」画面が表示されます。

2 ↑、↓ ボタンを押して［リピート再生］を選び、ENTER ボタンを押す。



「リピート再生」画面が表示されます。

3 ↑、↓ ボタンを押して［A-B 間リピート］を選び、ENTER ボタンを押す。



4 A/B 点を設定する。

① ↑、↓ ボタンを押して［A/B 点設定］を選び、ENTER ボタンを押す。
メニュー画面が消えて、A 点設定待ち状態になります。

② A 点を設定したいところで、ENTER ボタンを押す。
B 点設定待ち状態になります。

③ B 点を設定したいところで、ENTER ボタンを押す。
設定した A-B 間の繰り返し再生が開始されます。

A-B 間の繰り返し再生を止めるには

1 再生中にフロントパネルの MENU ボタンを押す。

「リピート再生設定」画面が表示されます。

2 ↑、↓ ボタンを押して［リピート再生］を選び、ENTER ボタンを押す。

「リピート再生」画面が表示されます。

3 ↑、↓ ボタンを押して［使用しない］を選び、ENTER ボタンを押す。

4 ↑、↓ ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

A-B 間の繰り返し再生が終了します。

メモ

- B 点を設定せずに再生停止操作を行った場合は、設定した A 点は無効になります。
- リピート再生中は、A/B 点の設定はできません。
- A/B 点にかかるタイトルを削除したり、検索や並べ替えを行うと、設定した A/B 点は消去されます。

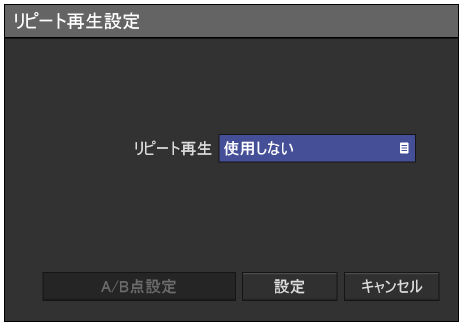
任意のチャプターを繰り返し再生する

現在再生中のチャプターを繰り返し再生できます。

1 再生中にフロントパネルの MENU ボタンを押す。

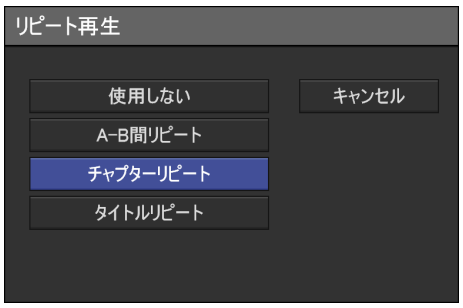
「リピート再生設定」画面が表示されます。

2 ↑、↓ボタンを押して［リピート再生］を選び、ENTER ボタンを押す。



「リピート再生」画面が表示されます。

3 ↑、↓ボタンを押して［チャプターリピート］を選び、ENTER ボタンを押す。



4 繰り返し再生したいところで［設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

現在のチャプターの繰り返し再生が開始されます。

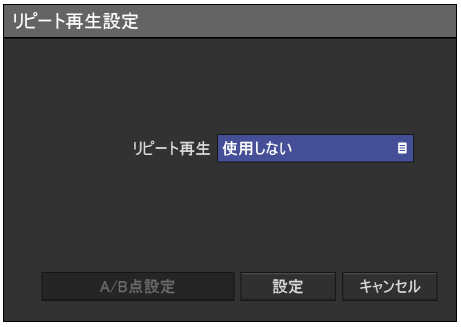
任意のタイトルを繰り返し再生する

現在再生中のタイトルを繰り返し再生できます。

1 再生中にフロントパネルの MENU ボタンを押す。

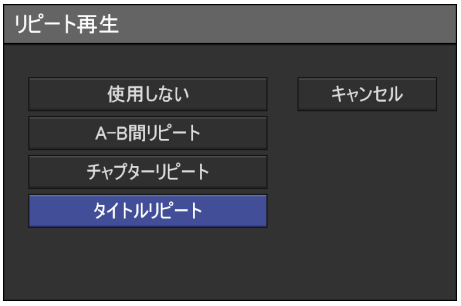
「リピート再生設定」画面が表示されます。

2 ↑、↓ボタンを押して［リピート再生］を選び、ENTER ボタンを押す。



「リピート再生」画面が表示されます。

3 ↑、↓ボタンを押して［タイトルリピート］を選び、ENTER ボタンを押す。



4 繰り返し再生したいところで［設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

現在のタイトルの繰り返し再生が開始されます。

録画準備をする

録画を開始する前に、検査や検査対象患者の情報を入力したり、録画データの保存先や画質などを設定し、録画テストを行います。
録画の準備や録画テストは、「録画準備」メニューで行います。

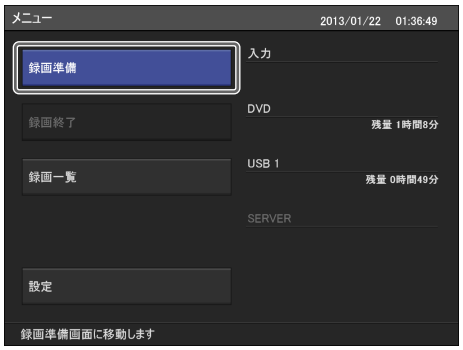
患者情報や録画データの保存に関する設定をする

検査対象患者の情報を入力したり、録画データの保存先や画質などを設定します。

1 MENU ボタンを押す。

「メニュー」画面が表示されます。

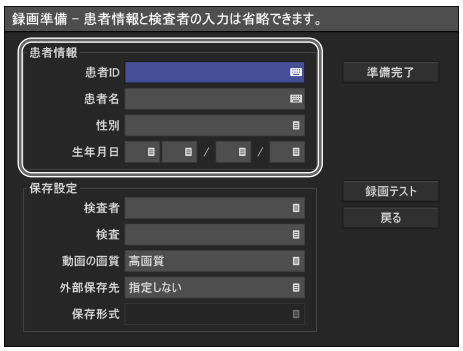
2 ↑、↓ ボタンを押して［録画準備］を選び、ENTER ボタンを押す。



「録画準備」画面が表示されます。

3 患者情報を入力する。

↑、↓、←、→ ボタンを押して項目を選び、ENTER ボタンを押すと、項目に応じた設定画面が表示されます。
患者情報の入力は省略することもできます。



患者 ID

ソフトキーボードを使って、患者 ID を入力します。

◆ ソフトキーボードの使いかたについては、「ソフトキーボードの使いかた」（28 ページ）をご覧ください。

メモ

患者 ID には、「¥ / : ? * " < > | .」の文字は使用できません。アスキーコード 0 × 20 ～ 0 × 7D 以外の文字は、フロントパネルに表示されません。

患者名

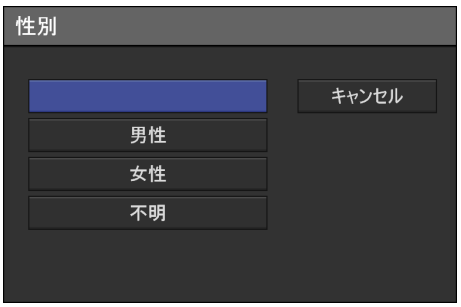
ソフトキーボードを使って、各フィールド 20 文字以内（Middle Name は 1 文字）で患者の名前を入力します。

◆ 患者名の入力フィールドについては、「患者名フィールド」（59 ページ）をご覧ください。

◆ ソフトキーボードの使いかたについては、「ソフトキーボードの使いかた」（28 ページ）をご覧ください。

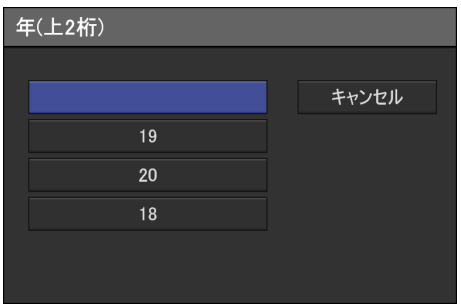
性別

表示される「性別」画面で、患者の性別を選び、ENTER ボタンを押します。



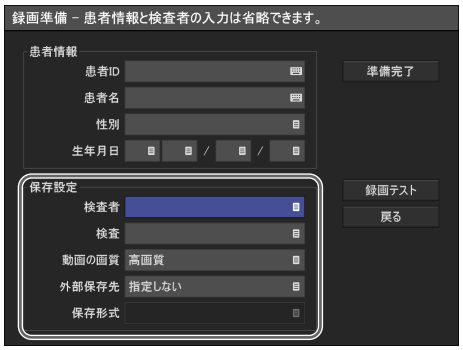
生年月日

表示される各画面で、年（西暦）、月、日を選び、ENTER ボタンを押します。



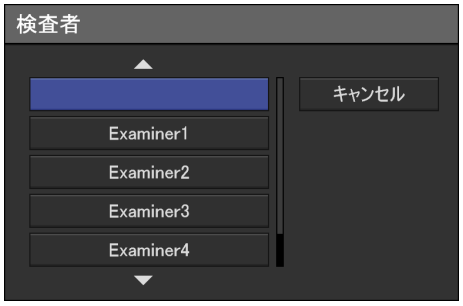
4 録画データの保存に関する設定をする。

▲、▼ボタンを押して項目を選び、ENTER ボタンを押すと、項目に応じた設定画面が表示されます。



検査者

表示される「検査者」画面で、検査者を選び、ENTER ボタンを押します。
この項目は省略することもできます。



メモ

検査者は、「システム管理者設定」メニューの［検査者リスト編集］で登録できます。

◆ 設定方法は、「検査者リスト編集」（78 ページ）をご覧ください。

検査

表示される「検査」画面で、該当する検査を選び、ENTER ボタンを押します。

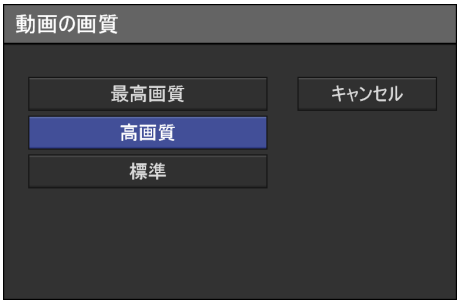
メモ

あらかじめ検査を登録しておく必要があります。

◆ 設定方法は、「検査を登録する」（84 ページ）をご覧ください。

動画の画質

表示される「動画の画質」画面で、動画の画質を選び、ENTER ボタンを押します。



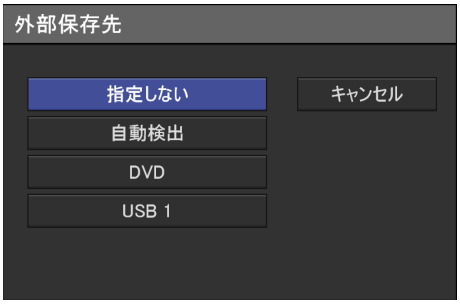
メモ

初期値は、「ユーザー設定」メニューの［画質］タブで設定できます。

◆ 設定方法は、「画質の設定をする」（25 ページ）をご覧ください。

外部保存先

本機の内蔵ハードディスクに録画すると同時に、外部メディアにも記録する場合に、録画データの保存先を設定します。
表示される「外部保存先」画面で、録画データの保存先を選び、ENTER ボタンを押します。
同時記録を行わない場合は、［指定しない］を選択してください。
また、挿入されているメディアを自動で認識させる場合は、［自動検出］を選択してください。



メモ

- 本機にメディアが認識されているときは、録画可能時間が表示されます。
- サーバーは自動検出の対象外です。
- 自動検出時に複数のメディアが挿入されている場合は、USB1 → DVD の優先順で記録されます。
- 自動検出が設定されている場合は、記録中に記録メディアの種類を途中で変更することはできません。

保存形式

表示される「保存形式」画面で、保存形式を選び、ENTER ボタンを押します。

ご注意

AVCHD 形式でサーバーに録画データを保存する場合、複数のレコーダーで保存先を同一サーバー上の同じ共有名に設定しないでください。同時に保存操作を行うと、録画データが破損する可能性があります。

メモ

HVO-550MD では、DVD に外部保存する場合、同じ保存形式でのみ追記が可能です。途中で保存形式を変更して追記することはできません。例えば、最初に AVCHD 形式で DVD に保存したら、その後 MP4 に変更して追記することはできません。

5 続けて録画テストをする場合は、「録画テストをする」（42 ページ）に進む。

設定を終了する場合は、↑、↓、←、→ ボタンを押して［準備完了］を選び、ENTER ボタンを押します。

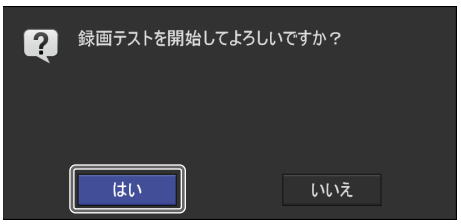
録画テストをする

正常に録画が行われるか確認できます。
録画テストを実行すると、5 秒間録画され、その後自動的に再生されます。

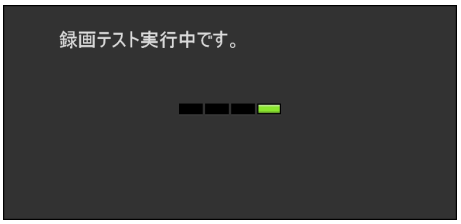
1 「録画準備」画面で、↑、↓、←、→ ボタンを押して［録画テスト］を選び、ENTER ボタンを押す。

次のメッセージが表示されます。

2 ←、→ ボタンを押して［はい］を選び、ENTER ボタンを押す。

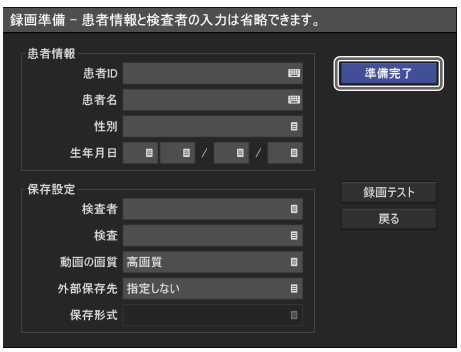


録画が開始され、テスト中は以下の画面が表示されます。



5 秒間録画された後、自動的に再生されます。
テストが終了すると、「録画準備」画面に戻ります。

3 ↑、↓、←、→ ボタンを押して［準備完了］を選び、ENTER ボタンを押す。



「メニュー」画面に戻ります。

検索する

本機の内蔵ハードディスクに保存されている録画データを検索できます。

条件を指定して検索する

患者 ID や録画日時などの条件を指定して、録画データを検索できます。

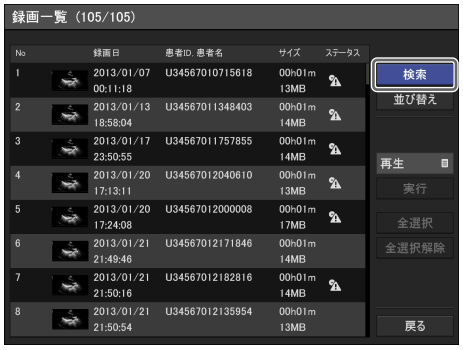
1 MENU ボタンを押す。

「メニュー」画面が表示されます。

2 ↑、↓ ボタンを押して［録画一覧］を選び、ENTER ボタンを押す。

「録画一覧」画面が表示されます。

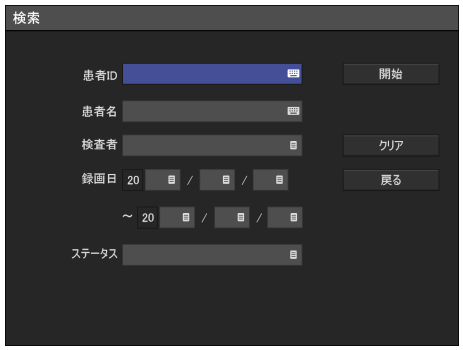
3 ↑、↓、←、→ ボタンを押して［検索］を選び、ENTER ボタンを押す。



「検索」画面が表示されます。

4 検索条件を指定する。

↑、↓、←、→ ボタンを押して項目を選び、ENTER ボタンを押すと、項目に応じた入力画面が表示されます。



患者 ID

ソフトキーボードを使って、患者 ID を入力します。

◆ ソフトキーボードの使いかたについては、「ソフトキーボードの使いかた」（28 ページ）をご覧ください。

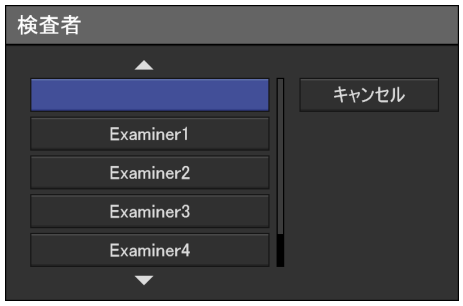
患者名

ソフトキーボードを使って、患者の名前を入力します。

◆ ソフトキーボードの使いかたについては、「ソフトキーボードの使いかた」（28 ページ）をご覧ください。

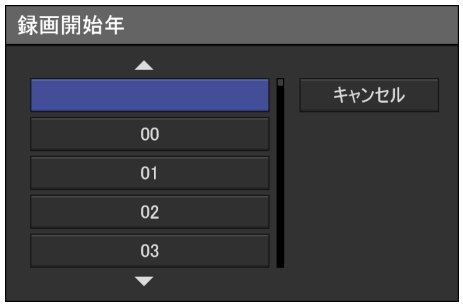
検査者

表示される「検査者」画面で、検査者を選び、ENTER ボタンを押します。



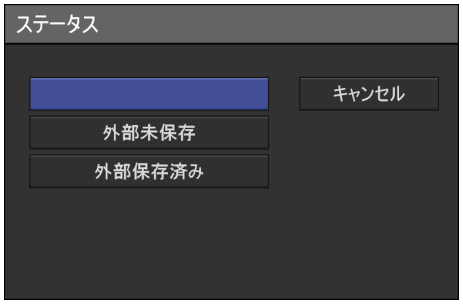
録画日

表示される各画面で、録画を開始した年（西暦の下 2 桁）、月、日や終了した年（西暦の下 2 桁）、月、日を選び、ENTER ボタンを押します。



ステータス

表示される「ステータス」画面で、外部メディアへの保存状況を選び、ENTER ボタンを押します。

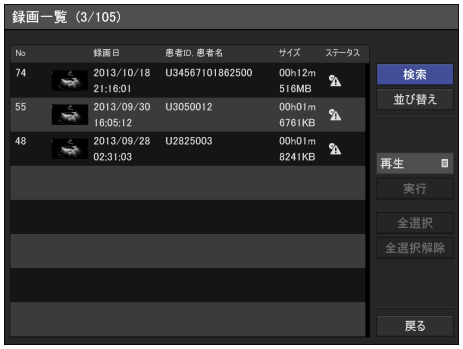


メモ

［クリア］を選んで ENTER ボタンを押すと、入力した選択条件がクリアされ、各項目が空欄に戻ります。

5 検索条件を指定したら、↑、↓、←、→ ボタンを押して［開始］を選び、ENTER ボタンを押す。

指定した条件で録画データが検索され、検索結果が表示されます。



録画データのステータスについて

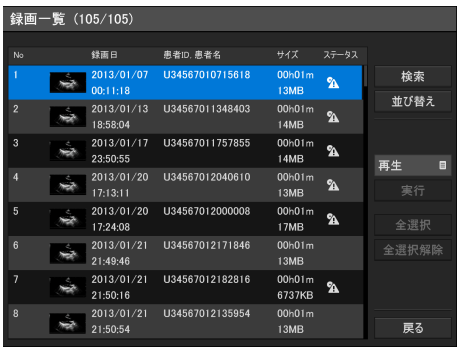
録画データのステータスによって、以下のアイコンが表示されます。

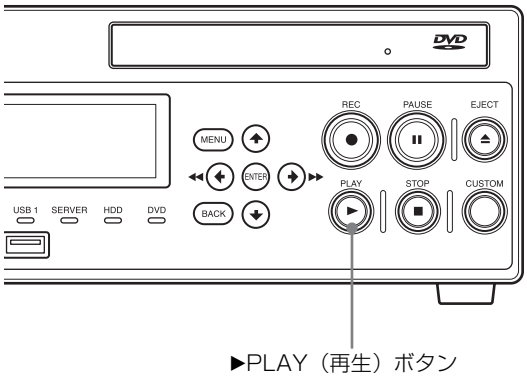
ステータス	説明	アイコン
外部未保存	録画データが外部メディアに保存されていない状態です。保存が完了すると、表示が消えます。	
保護	録画データが保護されていて、削除が不可の状態です。保護が解除されると、表示が消えます。	

検索結果の一覧から再生する

1 ［操作］ボックスで、［再生］を選んでおく。

2 「録画一覧」画面（検索結果の一覧）で、↑、↓ ボタンを押して再生したい対象の録画データを選び、本機前面の ▶PLAY（再生）ボタンまたは ENTER ボタンを押す。



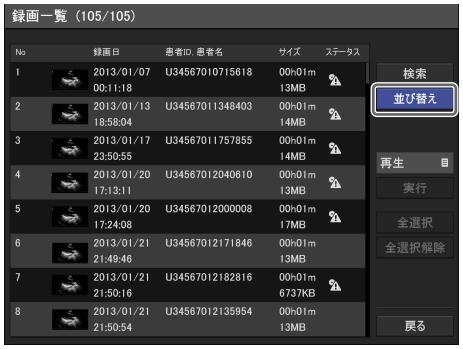


▶PLAY（再生）ボタン

録画データの一覧を並べ替える

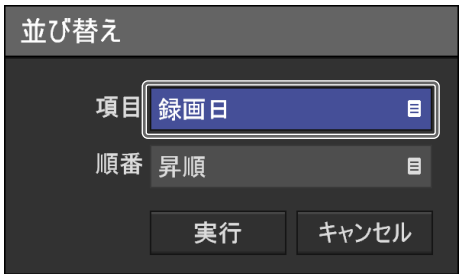
録画データの一覧を、録画日、患者 ID、患者名、ステータス、サイズで並べ替えができます。

1 「録画一覧」画面で、↑、↓、←、→ ボタンを押して［並び替え］を選び、ENTER ボタンを押す。



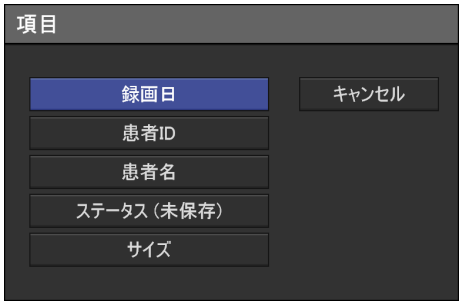
「並び替え」画面が表示されます。

2 ↑、↓ ボタンを押して［項目］ボックスを選び、ENTER ボタンを押す。



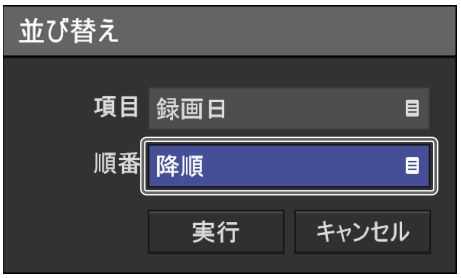
「項目」画面が表示されます。

3 ↑、↓ ボタンを押して項目を選び、ENTER ボタンを押す。



「並び替え」画面に戻ります。

4 ↑、↓ ボタンを押して［順番］ボックスを選び、ENTER ボタンを押す。



「順番」画面が表示されます。

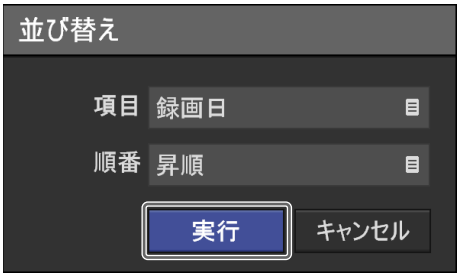
5 ↑、↓ ボタンを押して［降順］または［昇順］を選び、ENTER ボタンを押す。

項目に応じて、降順／昇順は以下のようになります。

項目	降順	昇順
録画日時	新しい順	古い順
患者 ID	カナ → アルファベット → 数字	数字 → アルファベット → カナ
患者名	カナ → アルファベット → 数字	数字 → アルファベット → カナ
ステータス	外部未保存 → 外部保存済み	外部保存済み → 外部未保存
サイズ	大きい順	小さい順

「並び替え」画面に戻ります。

6 ↑、↓、←、→ ボタンを押して［実行］を選び、ENTER ボタンを押す。



指定した順番で録画データが並べ替えられます。

録画データを操作する

本機の内蔵ハードディスクに保存されている録画データに対して、以下の操作ができます。

- 外部メディアにコピーする （46 ページ）
- 患者情報を変更する （48 ページ）
- 録画データを保護する （49 ページ）
- 録画データを削除する （50 ページ）

外部メディアにコピーする

本機の内蔵ハードディスクに保存されている録画データを DVD ディスクや USB メモリー、サーバーにコピーできます。
録画データのコピーは、「録画一覧」画面から行えます。

メモ

DVD ディスクへの保存は、HVO-550MD のみ可能です。

「録画一覧」画面から録画データを選んでコピーする

「録画一覧」画面で録画データを選んで外部メディアにコピーする手順について説明します。

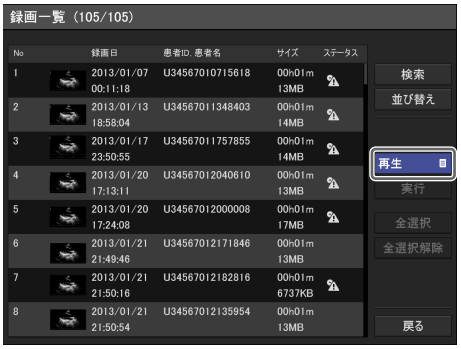
メモ

- 終了処理が完了する前に電源が落ちた場合、書き込みの保証はできません。
- 外部メディアに記録を行う場合、1 つの録画データに対してメディアの交換は 3 回までです。メディアの交換回数の限度に達すると、「コピー」画面に「交換メディア数の上限超え」というメッセージが表示されます。

1 DVD ディスクや USB メモリーに録画データをコピーするときは、本機にメディアを挿入する。

2 「録画一覧」画面を表示させ、↑、↓、←、→ ボタンを押して操作のボックスを選び、ENTER ボタンを押す。

◆「録画一覧」画面の表示のしかたについては、「検索する」（43 ページ）をご覧ください。



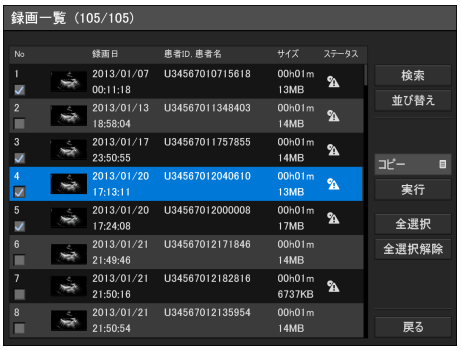
次の画面が表示されます。

3 ↑、↓ ボタンを押して［コピー］を選び、ENTER ボタンを押す。

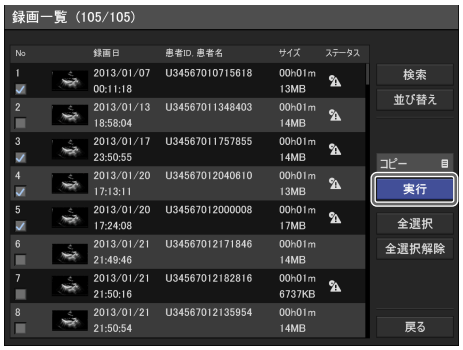
「録画一覧」画面に戻ります。

4 コピーしたい録画データにチェックマークを付ける。

↑、↓ ボタンを押して録画データを選び、ENTER ボタンを押すと、オン／オフが切り替わります。



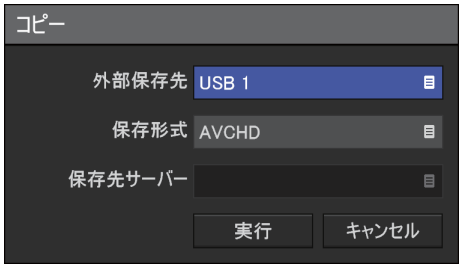
5 ↑、↓、←、→ ボタンを押して［実行］を選び、ENTER ボタンを押す。



「コピー」画面が表示されます。

6 録画データの保存に関する設定をする。

↑、↓ ボタンを押して項目を選び、ENTER ボタンを押すと、項目に応じた設定画面が表示されます。



外部保存先

保存先のメディアを選び、ENTER ボタンを押します。

保存形式

外部メディアに保存する際の保存形式を選び、ENTER ボタンを押します。

ご注意

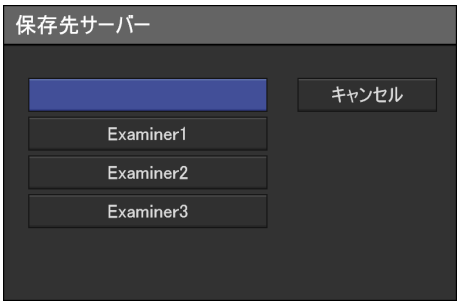
AVCHD 形式でサーバーに録画データを保存する場合、複数のレコーダーで保存先を同一サーバー上の同じ共有名に設定しないでください。同時に保存操作を行うと、録画データが破損する可能性があります。

メモ

HVO-550MD では、DVD に外部保存する場合、同じ保存形式でのみ追記が可能です。途中で保存形式を変更して追記することはできません。例えば、最初に AVCHD 形式で DVD に保存したら、その後 MP4 に変更して追記することはできません。

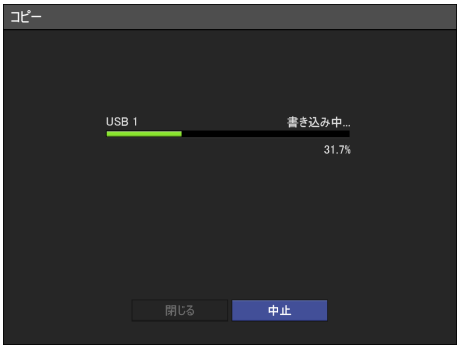
保存先サーバー

外部保存先に［SERVER］を選択した場合は、保存先サーバー（システム管理者設定で設定されているサーバー、または検査者ごとに設定されているサーバー）を選び、ENTER ボタンを押します。



7 ↑、↓ ボタンを押して［実行］を選び、ENTER ボタンを押す。

録画データのコピーが開始されます。



メモ

コピーを中止したいときは、［中止］を選んで ENTER ボタンを押します。

8 ［閉じる］を選び、ENTER ボタンを押す。

「録画一覧」画面に戻ります。

AVCHD メニューについて

AVCHD 形式で外部メディアへのコピーを行った場合、外部メディアを再生する機器で録画データを確認するためのメニューが自動的に作成され、外部メディアに転送されます。メニューには、コピーされたタイトルが一覧表示されます。

AVCHD ファイルの修復

［システム管理者設定］の［ユーザー初期値設定］で［AVCHD の修復］を「使用する」に設定している場合に、AVCHD の録画データが壊れていたり、コピーできないファイルだったときは、コピー開始時にファイルの修復を行います。修復は、対象のファイルをバックアップフォルダーに退避して、追記を継続します。修復中は、修復していることを知らせるメッセージが表示されるので、修復が完了するまでしばらくお待ちください。

メモ

AVCHD の修復は、USB メディアおよびサーバーへのコピーの場合にのみ行われます。また、同じファイルの修復は 20 回まで行うことができます。

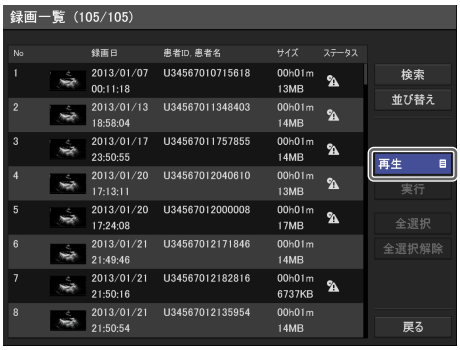
患者情報を変更する

未設定の患者 ID や患者名などの情報を変更できます。

ご注意

［システム管理者設定］の［機能設定］にある［一般 1］タブで、［患者情報変更］を［しない］に設定している場合、患者情報の変更ができるのは、未入力の項目だけです。ユーザーが自身で設定した患者情報は変更できません。

1 「録画一覧」画面を表示させ、↑、↓、←、→ ボタンを押して［操作］ボックスを選び、ENTER ボタンを押す。



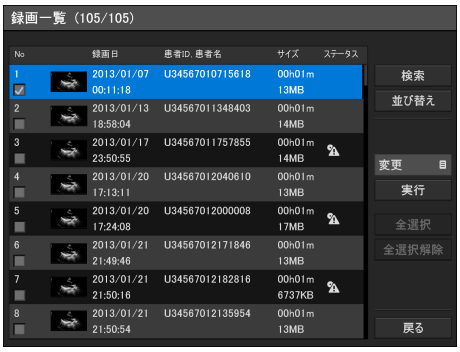
「操作」画面が表示されます。

2 ↑、↓ ボタンを押して［変更］を選び、ENTER ボタンを押す。

「録画一覧」画面に戻ります。

3 患者情報を変更したい録画データにチェックマークを付ける。

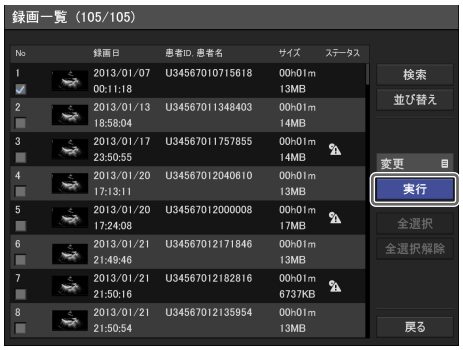
↑、↓ ボタンを押して録画データを選び、ENTER ボタンを押すと、オン／オフが切り替わります。



メモ

患者情報の変更は 1 回に 1 つの録画データのみ行えます。複数の録画データを選択した場合は、患者情報の変更はできません。

4 ↑、↓、←、→ ボタンを押して［実行］を選び、ENTER ボタンを押す。



「変更」画面が表示されます。

5 必要に応じて、各項目を変更する。

↑、↓、←、→ ボタンを押して項目を選び、ENTER ボタンを押すと、項目に応じた画面が表示されます。

◆ 各項目については、「患者情報や録画データの保存に関する設定をする」（40 ページ）をご覧ください。

6 ↑、↓、←、→ ボタンを押して［実行］を選び、ENTER ボタンを押す。

患者情報が変更され、「画像一覧」画面に戻ります。

録画データを保護する

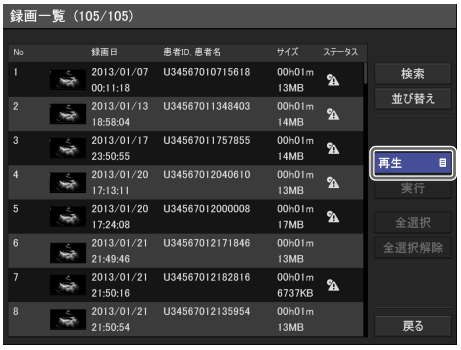
誤って録画データを削除しないように保護できます。
録画データの保護／解除は、「録画一覧」画面から行えます。

「録画一覧」画面から録画データを選んで保護する

「録画一覧」画面で録画データを選んで保護する手順について説明します。

1 「録画一覧」画面を表示させ、↑、↓、←、→ ボタンを押して操作のボックスを選び、ENTER ボタンを押す。

◆「録画一覧」画面の表示のしかたについては、「検索する」（43 ページ）をご覧ください。



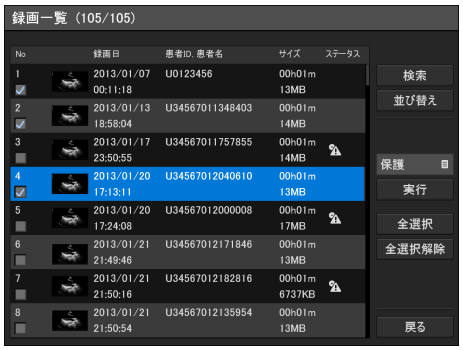
次の画面が表示されます。

2 ↑、↓ ボタンを押して［保護］を選び、ENTER ボタンを押す。

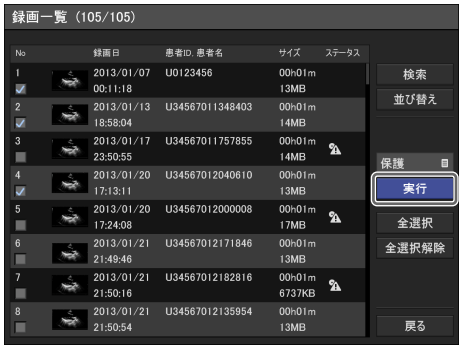
「録画一覧」画面に戻ります。

3 保護したい録画データにチェックマークを付ける。

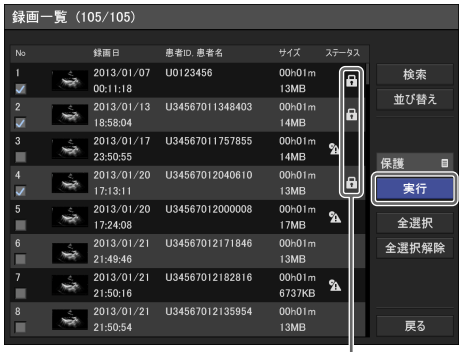
↑、↓ ボタンを押して録画データを選び、ENTER ボタンを押すと、オン／オフが切り替わります。



4 ↑、↓、←、→ ボタンを押して［実行］を選び、ENTER ボタンを押す。



録画データが保護され、 が表示されます。



保護されている録画データには が表示されます。

保護を解除するには

上記の手順 2 で［保護解除］を選び、ENTER ボタンを押します。以降は、保護するときと同様の手順で解除します。

録画データを削除する

本機の内蔵ハードディスクに保存されている録画データを検査単位で削除できます。
録画データの削除は、「録画一覧」画面から行えます。

ご注意

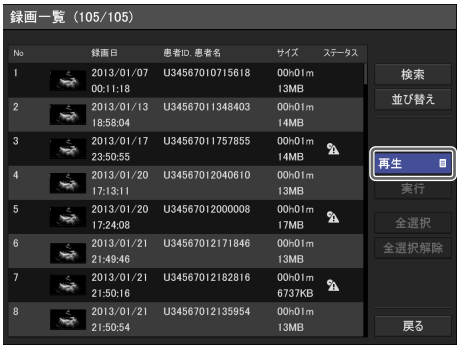
削除した録画データは元に戻せませんので、充分に注意して操作してください。

「録画一覧」画面から録画データを選んで削除する

「録画一覧」画面で録画データを選んで削除する手順について説明します。

1 「録画一覧」画面を表示させ、↑、↓、←、→ ボタンを押して操作のボックスを選び、ENTER ボタンを押す。

◆「録画一覧」画面の表示のしかたについては、「検索する」（43 ページ）をご覧ください。



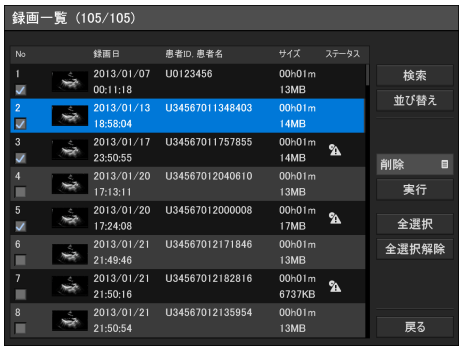
次の画面が表示されます。

2 ↑、↓ ボタンを押して［削除］を選び、ENTER ボタンを押す。

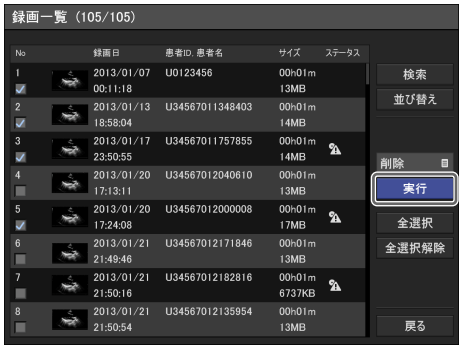
「録画一覧」画面に戻ります。

3 削除したい録画データにチェックマークを付ける。

↑、↓ボタンを押して録画データを選び、ENTER ボタンを押すと、オン／オフが切り替わります。

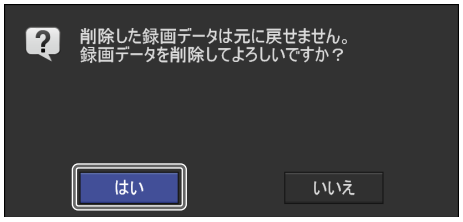


4 ↑、↓、←、→ボタンを押して［実行］を選び、ENTER ボタンを押す。



確認メッセージが表示されます。

5 ←、→ボタンを押して［はい］を選び、ENTER ボタンを押す。



録画データが削除されると、完了のメッセージが表示されます。
ENTER ボタンを押すと、「録画一覧」画面に戻ります。

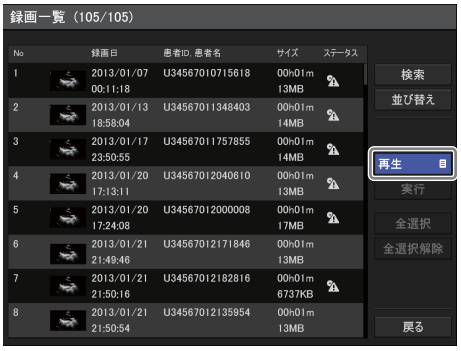
ファイナライズを実行する（HVO-550MD のみ）

ファイナライズを行わなかった DVD のディスクを、後から手動でファイナライズすることができます。ファイナライズの実行は、「録画一覧」画面から行えます。

ここでは、「録画一覧」画面からファイナライズする手順について説明します。

1 「録画一覧」画面を表示させ、↑、↓、←、→ボタンを押して［操作］ボックスを選び、ENTER ボタンを押す。

◆「録画一覧」画面の表示のしかたについては、「検索する」（43 ページ）をご覧ください。



次の画面が表示されます。

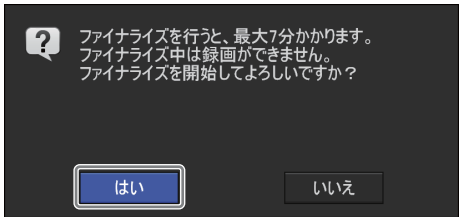
2 ↑、↓ボタンを押して［ファイナライズ］を選び、ENTER ボタンを押す。

「録画一覧」画面に戻ります。

3 ↑、↓、←、→ボタンを押して［実行］を選び、ENTER ボタンを押す。

確認メッセージが表示されます。

4 ←、→ボタンを押して［はい］を選び、ENTER ボタンを押す。



ファイナライズが開始されます。
ファイナライズが終了すると、完了メッセージが表示されます。

5 ENTER ボタンを押す。

「録画一覧」画面に戻ります。

メモ

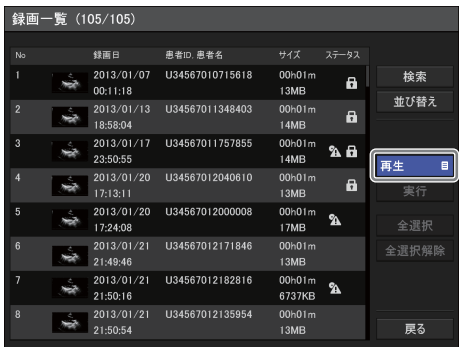
ファイナライズは中止できません。また、ファイナライズを行ったディスクに追記することはできません。

録画データの情報を見る

本機の内蔵ハードディスクに保存されている録画データの情報を見ることができます。

1 「録画一覧」画面を表示させ、↑、↓、←、→ ボタンを押して［操作］ボックスを選び、ENTER ボタンを押す。

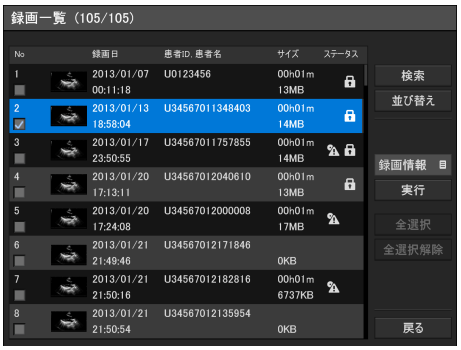
◆「録画一覧」画面の表示のしかたについては、「検索する」（43 ページ）をご覧ください。



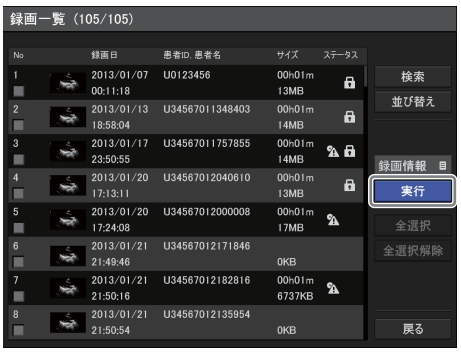
2 ↑、↓ ボタンを押して［録画情報］を選び、ENTER ボタンを押す。

3 録画情報を見たい録画データにチェックマークを付ける。

↑、↓ ボタンを押して録画データを選び、ENTER ボタンを押すと、オン／オフが切り替わります。



4 ↑、↓、←、→ ボタンを押して［実行］を選び、ENTER ボタンを押す。



メモ

録画情報は、1 回の操作で 1 つの録画データのみ確認できます。複数の録画データを選択した場合は、録画情報の確認はできません。

録画情報
患者ID U34567011348403
患者名
性別 不明
生年月日
検査者
検査
録画日 2013/01/13 18:58:04
ステータス 外部保存済み
サイズ 14MB, 00h01m
タイトル 2013/01/13 18:58:03
戻る

第5章 システム管理者設定

概要

「システム管理者設定」では、本機の各種初期設定を行います。

「システム管理者設定」は、システム管理者が行います。

- 言語の設定 （55 ページ）
  画面の表示言語と日付の表示フォーマットを設定します。
- 日付・時刻の設定 （56 ページ）
  現在の日付と時刻を設定します。
- 機能設定 （58 ページ）
  録画に関する初期設定を行います。
- 周辺機器設定 （65 ページ）
  外部接続機器に関する初期設定を行います。
- パスワード設定 （70 ページ）
  ［システム管理者設定］のパスワードの登録や編集を行います。
- ネットワーク設定 （72 ページ）
  ネットワークやサーバーに関する初期設定を行います。
- ユーザー初期値設定 （76 ページ）
  録画時の画質や保存先のメディアに関する初期値の設定を行います。
- 検査者リスト編集 （78 ページ）
  検査者の登録や編集を行います。
- 検査リスト編集 （82 ページ）
  検査の登録や編集を行います。
- 自動削除設定 （86 ページ）
  自動削除に関する設定を行います。

「システム管理者設定」メニューを表示する

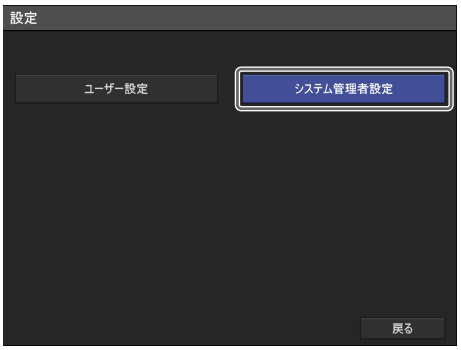
1 MENU ボタンを押す。

「メニュー」画面が表示されます。

2 ↑、↓ ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

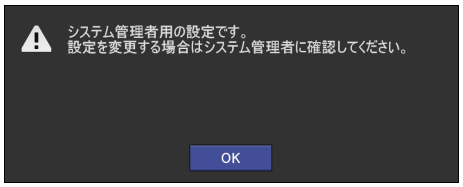
「設定」画面が表示されます。

3 ←、→ ボタンを押して［システム管理者設定］を選び、ENTER ボタンを押す。



確認メッセージが表示されます。

4 ENTER ボタンを押す。



「システム管理者設定」画面が表示されます。

5 ↑、↓、←、→ ボタンを押して設定したい項目を選び、ENTER ボタンを押す。

選択した項目に応じた設定画面が表示されます。
また、画面左下に機体のシリアル番号と現在のソフトウェアバージョンが表示されます。

サービスメニューについて

サービスメニューは、サービス担当者が使用する機能です。一般のユーザーは使用できません。

言語の設定

画面の表示言語と日付の表示形式を設定します。

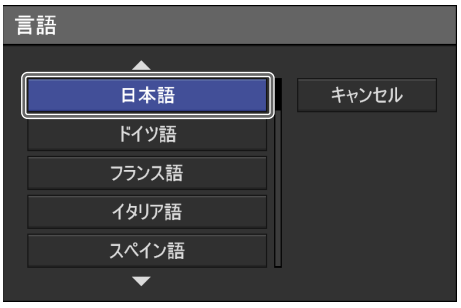
1 「システム管理者設定」画面で、↑、↓、←、→ ボタンを押して［言語の設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

「言語の設定」画面が表示されます。

2 ↑、↓ ボタンを押して［言語］ボックスを選び、ENTER ボタンを押す。

「言語」画面が表示されます。

3 ↑、↓ ボタンを押して表示言語を選び、ENTER ボタンを押す。

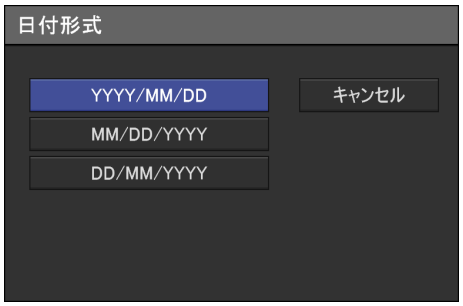


「言語の設定」画面に戻ります。

4 ↑、↓ ボタンを押して［日付形式］ボックスを選び、ENTER ボタンを押す。

「日付形式」画面が表示されます。

5 ↑、↓ ボタンを押して日付の表示形式を選び、ENTER ボタンを押す。



YYYY/MM/DD
年（西暦）/ 月 / 日の順に表示されます。

MM/DD/YYYY
月 / 日 / 年（西暦）の順に表示されます。

DD/MM/YYYY
日 / 月 / 年（西暦）の順に表示されます。

「言語の設定」画面に戻ります。

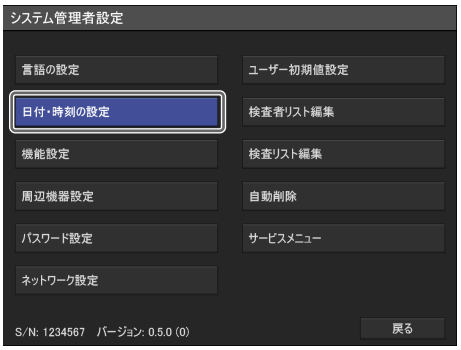
6 設定が終了したら、↑、↓、←、→ ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

設定が保存され、「システム管理者設定」画面に戻ります。

日付・時刻の設定

現在の日付と時刻を設定します。

1 「システム管理者設定」画面で、↑、↓、←、→ ボタンを押して［日付・時刻の設定］を選び、ENTER ボタンを押す。



「日付・時刻の設定」画面が表示されます。

2 日付を設定する。

① ↑、↓、←、→ ボタンを押して年（西暦の下 2 桁）のボックスを選び、ENTER ボタンを押す。

「年（下 2 桁）」画面が表示されます。

② ↑、↓ ボタンを押して西暦の下 2 桁を選び、ENTER ボタンを押す。

③同様にして、月、日を設定する。

3 同様にして、時刻を設定する。

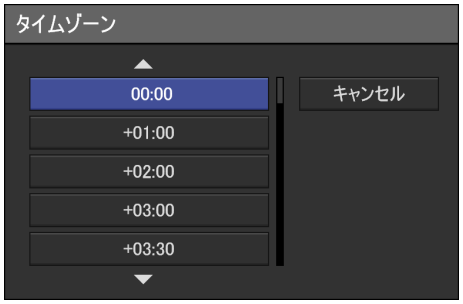
4 タイムゾーンと夏時間を設定する。

▲、▼ボタンを押して項目を選び、ENTER ボタンを押すと、項目に応じた設定画面が表示されます。

タイムゾーン

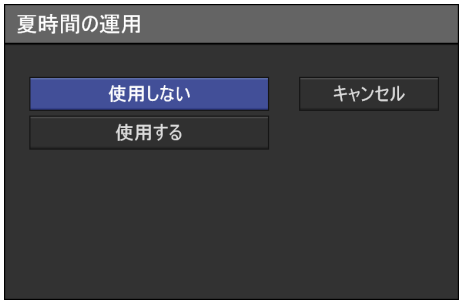
表示される「タイムゾーン」画面で、タイムゾーンを選び、ENTER ボタンを押します。

◆ 選択肢には、GMT（グリニッジ標準時）に対する時差のみ表示されます。タイムゾーンについては、「タイムゾーン一覧」（57 ページ）をご覧ください。



夏時間の運用

表示される「夏時間の運用」画面で、夏時間を運用するかどうかを選び、ENTER ボタンを押します。



5 設定が終了したら、▲、▼ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

設定が保存され、「システム管理者設定」画面に戻ります。

タイムゾーン一覧

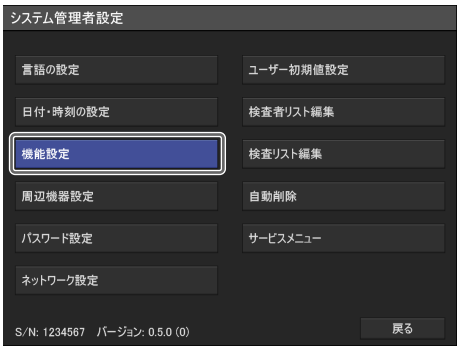
タイムゾーン		DST
GMT-12:00	国際日付変更線　西側	
GMT-11:00	ミッドウェイ島	
GMT-10:00	ハワイ	
GMT-09:00	アラスカ	○
GMT-08:00	ティフアナ、バハカリフォルニア	○
GMT-08:00	太平洋標準時（米国およびカナダ）	○
GMT-07:00	アリゾナ	
GMT-07:00	チワワ、ラパス、オールド・マサトラン	○
GMT-07:00	チワワ、ラパス、ニュー・マサトラン	○
GMT-07:00	山地標準時（米国およびカナダ）	○
GMT-06:00	グアダラハラ、メキシコシティ、オールド･モンテレー	○
GMT-06:00	グアダラハラ、メキシコシティ、ニュー･モンテレー	○
GMT-06:00	サスカチュワン	
GMT-06:00	中央アメリカ	
GMT-06:00	中部標準時（米国およびカナダ）	○
GMT-05:00	インディアナ東部	
GMT-05:00	ボゴタ、リマ、キト、リオブランコ	
GMT-05:00	東部標準時（米国およびカナダ）	○
GMT-04:30	カラカス	
GMT-04:00	サンティアゴ	○
GMT-04:00	マナウス	○
GMT-04:00	ラパス	
GMT-04:00	大西洋標準時（カナダ）	○
GMT-03:30	ニューファンドランド・ラブラドール	○
GMT-03:00	グリーンランド	○
GMT-03:00	ジョージタウン	
GMT-03:00	ブエノスアイレス	○
GMT-03:00	ブラジリア	○
GMT-03:00	モンテビデオ	○
GMT-02:00	中央大西洋	○
GMT-01:00	アゾレス諸島	○
GMT-01:00	カーボベルデ諸島	
GMT	カサブランカ	
GMT	グリニッジ標準時：ダブリン、エジンバラ、リスボン、ロンドン	○
GMT	モンロビア、レイキャビーク	
GMT+01:00	アムステルダム、ベルリン、ベルン、ローマ、ストックホルム、ウィーン	○
GMT+01:00	サラエボ、スコピエ、ワルシャワ、ザグレブ	○
GMT+01:00	ブリュッセル、コペンハーゲン、マドリード、パリ	○
GMT+01:00	ベオグラード、ブラチスラバ、ブタペスト、リュブリャナ、プラハ	○
GMT+01:00	西中央アメリカ	
GMT+02:00	アテネ、ブクレシュチ、イスタンブール	○
GMT+02:00	アンマン	○
GMT+02:00	ウィントフック	○

タイムゾーン		DST
GMT+02:00	エルサレム	○
GMT+02:00	カイロ	○
GMT+02:00	ハラーレ、プレトリア	
GMT+02:00	ベイルート	○
GMT+02:00	ヘルシンキ、キエフ、リガ、スコピエ、ソフィア、タリン、ビリニュス	○
GMT+02:00	ミンクス	○
GMT+03:00	クウェート、リヤド	
GMT+03:00	トビリシ	
GMT+03:00	ナイロビ	
GMT+03:00	バグダッド	
GMT+03:00	モスクワ、サンクト・ペテルスブルグ	○
GMT+03:30	テヘラン	○
GMT+04:00	アブダビ、マスカット	
GMT+04:00	エレバン	○
GMT+04:00	コーカサス標準時間	
GMT+04:00	バク	○
GMT+04:00	ポートルイス	○
GMT+04:30	カブール	
GMT+05:00	イスラマバード、カラチ	○
GMT+05:00	エカテリンブルグ	
GMT+05:00	タシケント	
GMT+05:30	スリ・ジャヤワルダナプラ	
GMT+05:30	チェンマイ、コルカタ、ムンバイ、ニューデリー	
GMT+05:45	カトマンズ	
GMT+06:00	アスタナ、ダッカ	
GMT+06:00	アルマティ、ノボシビルスク	○
GMT+06:30	ヤンゴン	
GMT+07:00	クラスノヤルスク	○
GMT+07:00	バンコク、ハノイ、ジャカルタ	
GMT+08:00	イルクーツク、ウランバートル	○
GMT+08:00	クアラルンプール、シンガポール	
GMT+08:00	パース	○
GMT+08:00	台北	
GMT+08:00	北京、重慶、香港、ウルムチ	
GMT+09:00	ソウル	
GMT+09:00	ヤクーツク	○
GMT+09:00	大阪、札幌、東京	
GMT+09:30	アデレード	○
GMT+09:30	ダーウィン	
GMT+10:00	ウラジオストク	○
GMT+10:00	キャンベラ、メルボルン、シドニー	○
GMT+10:00	グアム、ポートモレスビー	
GMT+10:00	ブリスベン	
GMT+10:00	ホバート	○
GMT+11:00	マガダン、ソロモン諸島、ニューカレドニア	
GMT+12:00	オークランド、ウェリントン	○
GMT+12:00	フィジー、カムチャツカ、マーシャル諸島	
GMT+13:00	ヌクアロファ、サモア	

機能設定

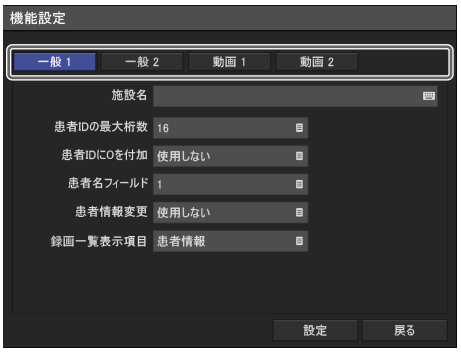
録画や外部接続機器に関する初期設定を行います。

1 「システム管理者設定」画面で、↑、↓、←、→ボタンを押して［機能設定］を選び、ENTER ボタンを押す。



「機能設定」画面が表示されます。

2 ←、→ボタンを押して各タブを選び、必要な設定を行う。



各タブでの設定については、以下をご覧ください。

◆ 一般 1 （59 ページ）

◆ 一般 2 （60 ページ）

◆ 動画 1 （63 ページ）

◆ 動画 2 （64 ページ）

3 設定が終了したら、↑、↓、←、→ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

設定が保存され、「システム管理者設定」画面に戻ります。

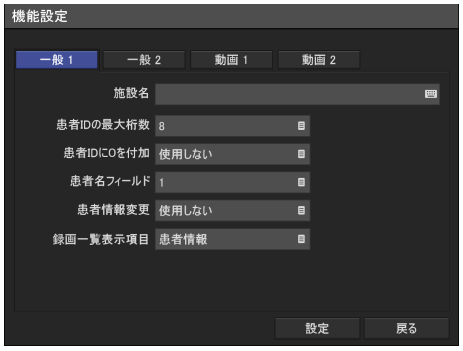
一般 1

システムに関する初期設定を行います。

1 ←、→ ボタンを押して［一般 1］タブを選ぶ。

2 各項目を設定する。

↑、↓ ボタンを押して項目を選び、ENTER ボタンを押すと、項目に応じた設定画面が表示されます。



施設名

ソフトキーボードを使って、施設の名前を 32 文字以内で入力します。

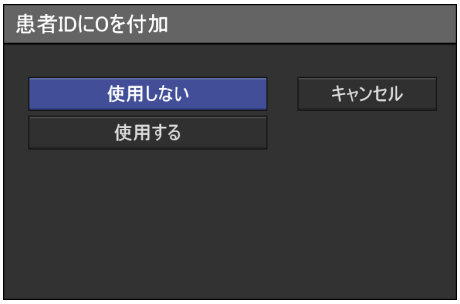
◆ ソフトキーボードの使いかたについては、「ソフトキーボードの使いかた」（28 ページ）をご覧ください。

患者 ID の最大桁数

表示される「患者 ID の最大桁数」画面で、患者 ID の桁数を選び、ENTER ボタンを押します。
初期値は 8 桁です。4 桁から 16 桁まで設定できます。

患者 ID に 0 を付加

表示される「患者 ID に 0 を付加」画面で、患者 ID の桁数が満たない場合に 0 を付加して桁を補うかどうかを選び、ENTER ボタンを押します。
初期値は［使用する］です。



患者名フィールド

表示される「患者名フィールド」画面で、患者名フィールドの表示分割数を選び、ENTER ボタンを押します。
2 または 3 を選択すると、患者名フィールドが、First/Middle/Last Name に分割されます。
初期値は［1］です。

患者情報変更

表示される「患者情報変更」画面で、いつでも患者情報の変更をできるようにするかどうかを選び、ENTER ボタンを押します。
初期値は［使用しない］です。

録画一覧表示項目

表示される「録画一覧表示項目」画面で、「録画一覧」画面でタイトルを表示するか、患者情報を表示するかを選び、ENTER ボタンを押します。
初期値は［タイトル名］です。患者情報を選択している場合は、患者 ID と患者名が表示されます。

3 続けてほかのタブを設定するときは、↑、↓、←、→ ボタンを押してタブを移動する。

「機能設定」を終了するときは、↑、↓、←、→ ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押して設定を保存します。

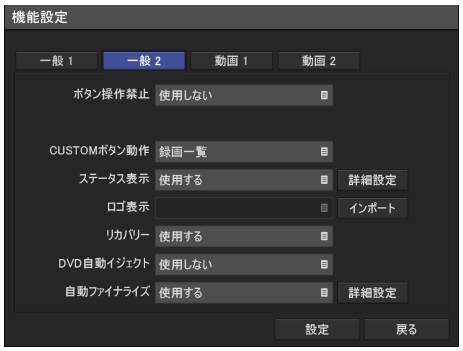
一般 2

システムに関する初期設定を行います。

1 ←、→ ボタンを押して［一般 2］タブを選ぶ。

2 各項目を設定する。

↑、↓ ボタンを押して項目を選び、ENTER ボタンを押すと、各項目に応じた設定画面が表示されます。

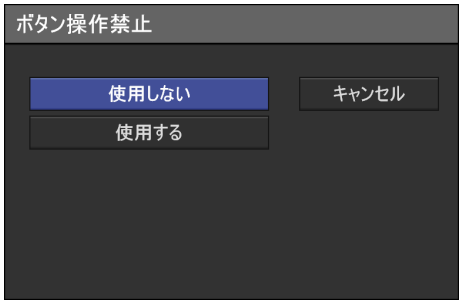


ボタン操作禁止

表示される「ボタン操作禁止」画面で、フロントパネルのボタンによる本機の操作を禁止するかどうかを選び、ENTER ボタンを押します。
初期値は［使用しない］です。

メモ

MENU、↑、↓、←、→、BACK、ENTER、電源ボタンは、ボタン操作禁止の対象外です。



CUSTOM ボタン動作

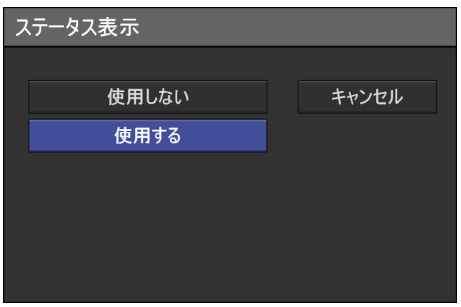
表示される「CUSTOM ボタン動作」画面で、フロントパネルの CUSTOM ボタンに割り当てる機能を選び、ENTER ボタンを押します。
初期値は［録画一覧］です。

また、割り当て可能な機能は、以下のとおりです。

割り当て可能な機能	説明
使用しない	機能の割り当てを行いません。
フリーズオン	再生時に、任意の映像で一時停止します。
入力信号選択	機能入力信号を切り替えます。押すたびに、HDMI → DVI-D → VIDEO → S VIDEO と入力信号が切り替わります。
録画準備	録画準備画面を開きます。
録画一覧	録画一覧画面を開きます。
ステータス表示 ON/OFF	ステータスの表示をオン／オフします。
チャプター設定	チャプターを設定します。
録画テスト	録画テストを行います。
ファイナライズ（HVO-550MD のみ）	ファイナライズを行います。

ステータス表示

各ステータスを表示するかどうかを設定します。

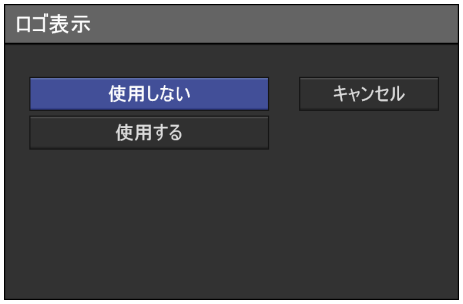


［使用する］に設定すると、［詳細設定］ボタンが表示されます。

◆ 設定方法は、「ステータス表示の詳細設定を行う」（61 ページ）をご覧ください。

ロゴ表示

表示される「ロゴ表示」画面で、「メニュー」画面に任意のロゴを表示するかどうかを選び、ENTER ボタンを押します。
初期値は［使用しない］です。

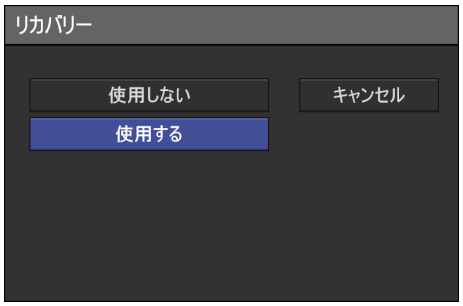


ロゴ表示を［使用する］に設定したい場合は、「ロゴのインポート」を行ってください。

◆ インポート方法は、「ロゴをインポートする」（62 ページ）をご覧ください。

リカバリー

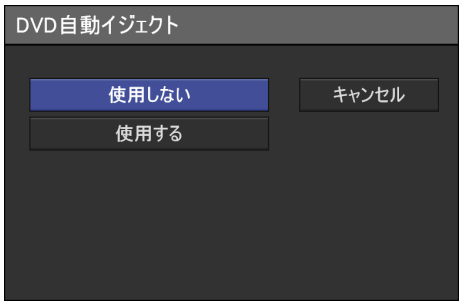
表示される「リカバリー」画面で、リカバリー時に、そのとき行っていた動作状態に復帰するかどうかを選び、ENTER ボタンを押します。
初期値は［使用する］です。



状態復帰を［使用しない］に設定している場合は、録画データの復旧のみを行います。

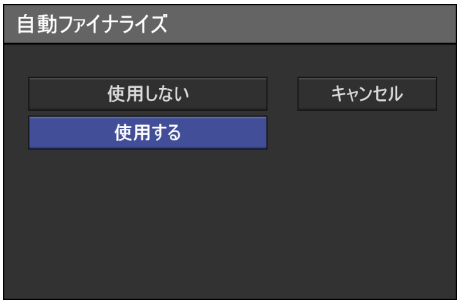
DVD 自動イジェクト（HVO-550MD のみ）

表示される「DVD 自動イジェクト」画面で、DVD がフルになった場合に、自動的にディスクをイジェクトするかどうかを選び、ENTER ボタンを押します。
初期値は［使用しない］です。



自動ファイナライズ（HVO-550MD のみ）

表示される「自動ファイナライズ」画面で、DVD ディスクのファイナライズを行うかどうかを選び、ENTER ボタンを押します。



［使用する］を選択すると、［詳細設定］ボタンが表示されます。

◆ 設定方法は、「ファイナライズの詳細設定を行う（HVO-550MD のみ）」（63 ページ）をご覧ください。

3 続けてほかのタブを設定するときは、↑、↓、←、→ ボタンを押してタブを移動する。

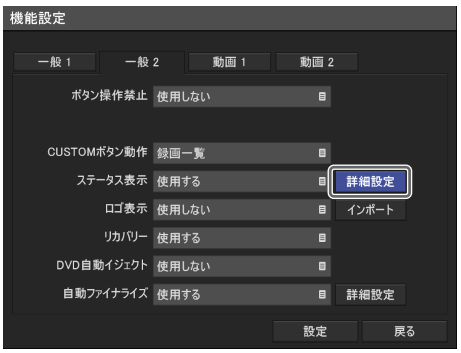
「機能設定」を終了するときは、↑、↓、←、→ ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押して設定を保存します。

ステータス表示の詳細設定を行う

各ステータスをそれぞれ表示するかどうかを設定します。

1 ←、→ ボタンを押して［詳細設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

［ステータス表示］を［使用する］に設定すると、［詳細設定］が表示されます。



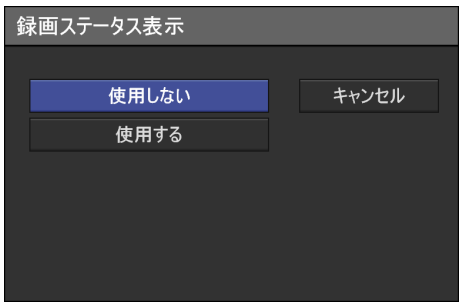
「詳細設定」画面が表示されます。

2 各項目を設定する。

↑、↓ ボタンを押して項目を選び、ENTER ボタンを押すと、各項目に応じた設定画面が表示されます。

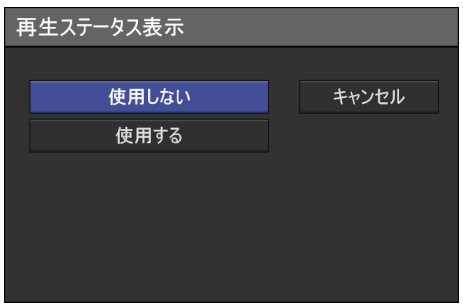
録画ステータス表示

表示される「録画ステータス表示」画面で、録画ステータスを表示するかどうかを選び、ENTER ボタンを押します。
［使用する］に設定すると、出力される録画画面上に、録画の状態やメディアの書き込み状態などが表示されます。メディアの状態は、緑色のときは書き込み中、オレンジ色のときはエラーを示します。
初期値は［使用しない］です。



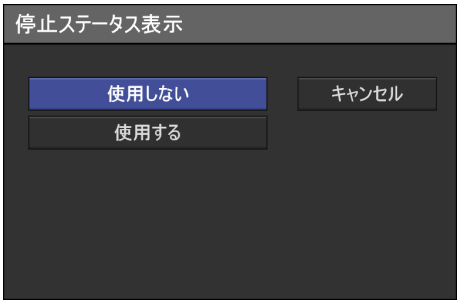
再生ステータス表示

表示される「再生ステータス表示」画面で、再生ステータスを表示するかどうかを選び、ENTER ボタンを押します。
［使用する］に設定すると、ビデオ出力される再生画像の上に患者情報などが文字で表示されます。
初期値は［使用しない］です。



停止ステータス表示

表示される「停止ステータス表示」画面で、停止ステータスを表示するかどうかを選び、ENTER ボタンを押します。
［使用する］に設定すると、録画や再生が停止中に、患者情報やプリレックの使用状態などが表示されます。
初期値は［使用しない］です。



メモ

入出力タイミングを［スルー］に設定している場合は、録画ステータス表示や停止ステータス表示を［使用する］に設定してもステータスは表示されません。

ロゴをインポートする

表示するロゴファイルをインポートします。

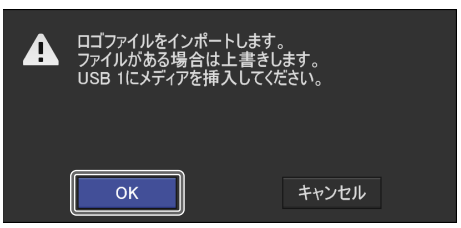
◆ ロゴファイルの準備については、「ロゴファイルを用意する」（62 ページ）をご覧ください。

1 USB メモリーにロゴファイルをコピーし、本機の USB 1 端子に挿入する。

2 ←、→ ボタンを押して［インポート］を選び、ENTER ボタンを押す。

以下のメッセージが表示されます。

3 ［OK］を選び、ENTER ボタンを押す。



ロゴファイルの読み込みが成功すると、完了のメッセージが表示されます。

ロゴファイルを用意する

ロゴを表示する場合は、あらかじめ本機で読み込み可能なロゴファイルを用意し、USB メモリーにコピーします。

1 ロゴファイルを用意する。

以下の条件に適合するロゴファイルを用意します。
ファイルフォーマット：24 ビット ビットマップ
ファイル名：MenuLogo.bmp
サイズ：43（高さ）× 400（幅）ピクセル
背景：RGB（102、102、102）のグレー

2 USB メモリーにロゴファイルをコピーする。

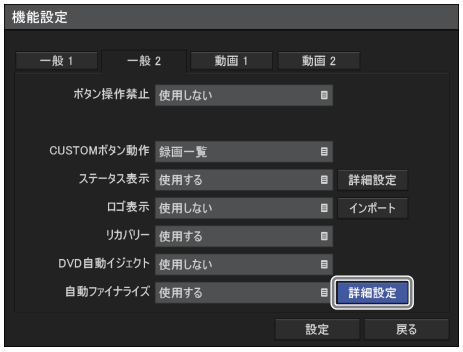
USB メモリーの最上位ディレクトリーに以下の名前のフォルダーを作成し、ロゴファイルをコピーします。
フォルダー名：DisplayLogo

ファイナライズの詳細設定を行う（HVO-550MD のみ）

自動的にファイナライズを行う場合に設定します。

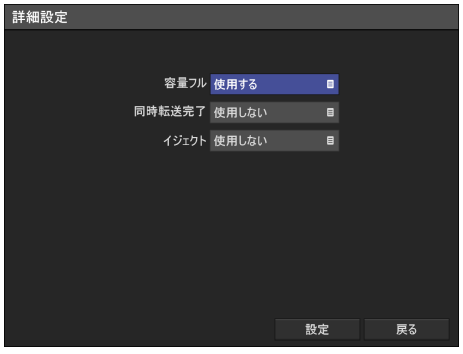
1 ←、→ ボタンを押して［詳細設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

［自動ファイナライズ］を［使用する］に設定すると、［詳細設定］が表示されます。



2 各項目を設定する。

↑、↓ ボタンを押して各項目を選び、ENTER ボタンを押すと、各項目に応じた設定画面が表示されます。



容量フル

表示される「容量フル」画面で、DVD ディスクの容量がいっぱいになった場合に、自動的にファイナライズを行うかどうかを選び、ENTER ボタンを押します。
初期値は［使用する］です。

同時転送完了

表示される「同時転送完了」画面で、DVD ディスクへの同時保存が完了したときに、自動的にファイナライズを行うかどうかを選び、ENTER ボタンを押します。
初期値は［使用しない］です。

イジェクト

表示される「イジェクト」画面で、DVD ディスクをイジェクトする際に、自動的にファイナライズを行うかどうかを選び、ENTER ボタンを押します。
初期値は［使用しない］です。

メモ

ファイナライズには、最大 7 分程度の時間がかかります。

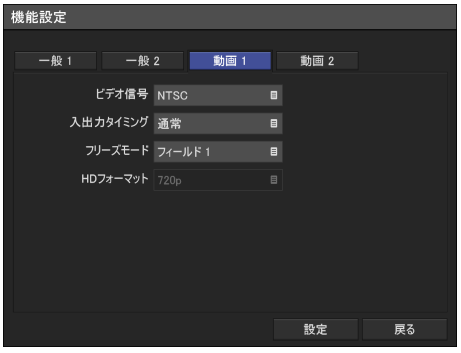
動画 1

記録に関する設定を行います。

1 ←、→ ボタンを押して［動画 1］タブを選ぶ。

2 各項目を設定する。

↑、↓ ボタンを押して項目を選び、ENTER ボタンを押すと、項目に応じた設定画面が表示されます。

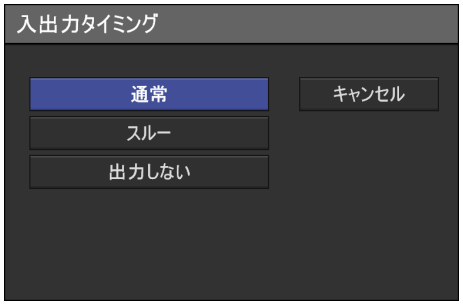


ビデオ信号

表示される「ビデオ信号」画面で、［NTSC］または［PAL］を選び、ENTER ボタンを押します。
初期値は［NTSC］です。

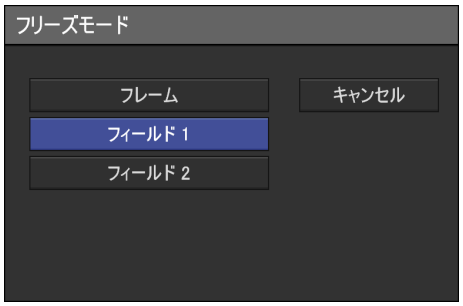
入出力タイミング

表示される「入出力タイミング」画面で、入出力のタイミングを選び、ENTER ボタンを押します。
通常は信号処理を行うので［通常］を選択します。［通常］を選択した場合は、遅延して信号が出力されます。
信号処理を行わず、入出力のタイミングを同時にするときは［スルー］を選択します。
信号を出力しない場合は［出力しない］を選択します。
初期値は［通常］です。



フリーズモード

表示される「フリーズモード」画面で、最初のフリーズオンのときに表示される画像を選び、ENTER ボタンを押します。
初期値は［フレーム］です。



HD フォーマット

記録時の HD フォーマットが表示されます。
フォーマットは［720p］です。

3 続けてほかのタブを設定するときは、↑、↓、←、→ ボタンを押してタブを移動する。

「機能設定」を終了するときは、↑、↓、←、→ ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押して設定を保存します。

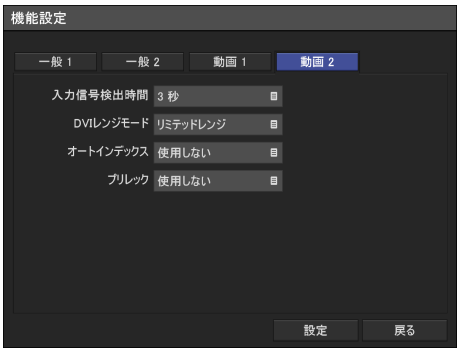
動画 2

記録に関する設定を行います。

1 ←、→ ボタンを押して［動画 2］タブを選ぶ。

2 各項目を設定する。

↑、↓ ボタンを押して項目を選び、ENTER ボタンを押すと、項目に応じた設定画面が表示されます。



入力信号検出時間

入力信号の検出時間を、0 秒～ 3 秒の間で設定します。
初期値は［3 秒］です。

メモ

2 秒以下を選択している場合、画像が乱れることがあります。

DVI レンジモード

DVI 入力時のレンジモードを、リミテッドレンジ／フルレンジから選択します。
リミテッドレンジの階調レベルは 16 ～ 235、フルレンジの階調レベルは 0 ～ 255 です。
初期値は［フルレンジ］です。

オートインデックス

録画している際、自動的にインデックスを付加するかどうかを設定します。
初期値は［使用しない］です。
［使用する］に設定すると、5 分ごとにインデックスを付加します。

プリレック

プリレックを行うかどうかを設定します。
初期値は［使用しない］です。

3 続けてほかのタブを設定するときは、↑、↓、←、→ボタンを押してタブを移動する。

「機能設定」を終了するときは、↑、↓、←、→ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押して設定を保存します。

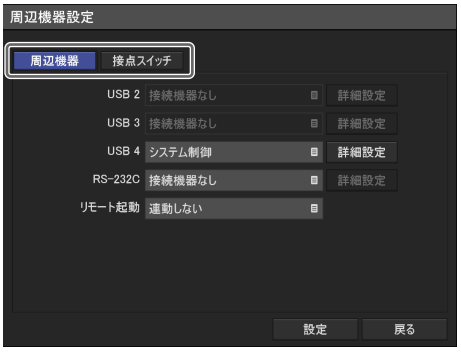
周辺機器設定

外部接続機器に関する設定を行います。

1 「システム管理者設定」画面で、↑、↓、←、→ボタンを押して［周辺機器設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

「周辺機器設定」画面が表示されます。

2 ←、→ボタンを押して各タブを選び、必要な設定を行う。



各タブでの設定については、以下をご覧ください。

◆ 周辺機器 （66 ページ）

◆ 接点スイッチ （67 ページ）

3 設定が終了したら、↑、↓、←、→ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

設定が保存され、「システム管理者設定」画面に戻ります。

周辺機器

本機に接続されている機器の設定を行います。

◆ HVO-500MD および HVO-550MD に接続可能な周辺機器については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

1 ←、→ ボタンを押して［周辺機器］タブを選ぶ。

2 各項目を設定する。

↑、↓ ボタンを押して項目を選び、ENTER ボタンを押すと、項目に応じた設定画面が表示されます。

USB 2、USB 3

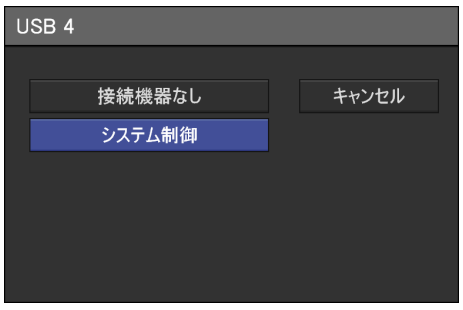
設定が必要な機器はないため、［接続機器なし］が表示されます。

メモ

ハードキーボードは、接続するだけで使用できます。設定の必要はありません。

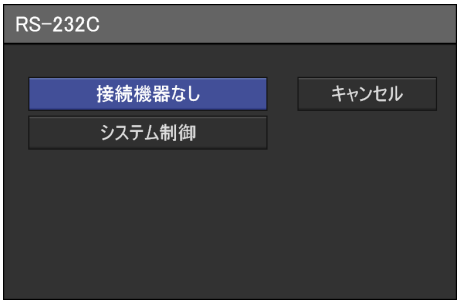
USB 4

表示される「USB 4」画面で、本機後面の USB 4 端子に機器を接続するかどうかを選び、ENTER ボタンを押します。
初期値は［接続機器なし］です。
［システム制御］を選択すると、［詳細設定］ボタンが表示されます。



RS-232C

表示される「RS-232C」画面で、本機後面の RS-232C 端子に機器を接続するかどうかを選び、ENTER ボタンを押します。
初期値は［接続機器なし］です。
［システム制御］を選択すると、［詳細設定］ボタンが表示されます。



リモート起動

表示される「リモート起動」画面で、USB 4 端子または RS-232C 端子経由でリモートシステムの電源オン／オフ動作に連動させるかどうかを選び、ENTER ボタンを押します。
初期値は［連動しない］です。

［USB 4］や［RS-232C］を選択している場合、その端子経由でリモートシステムの電源動作に連動します。

3 続けてほかのタブを設定するときは、↑、↓、←、→ ボタンを押してタブを移動する。

「周辺機器設定」を終了するときは、↑、↓、←、→ ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押して設定を保存します。

システム制御設定を行う

［システム制御］を選択したときに、通信速度とプロトコルの STOP コマンドの動作の設定を行います。

1 ←、→ ボタンを押して［詳細設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

［システム制御］を選択すると、［詳細設定］が表示されます。

「システム制御設定」画面が表示されます。

2 通信速度を選択する。

① ↑、↓ボタンを押して［通信速度］ボックスを選び、ENTER ボタンを押す。

「通信速度」画面が表示されます。

② 任意の通信速度を選び、ENTER ボタンを押す。
初期値は「9600 bps」です。

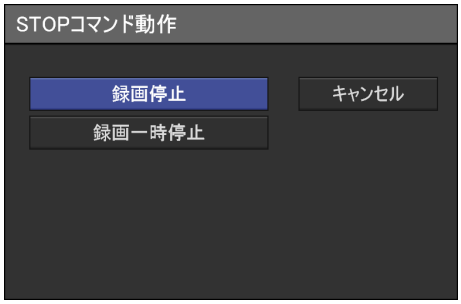
メモ

通信速度を設定できるのは、RS-232C のシステム制御のみです。USB 4 の通信速度は、115200 bps 固定となります

3 STOP コマンド動作を設定する。

① ↑、↓ボタンを押して［STOP コマンド動作］ボックスを選び、ENTER ボタンを押す。
「STOP コマンド動作」画面が表示されます。

② 任意の動作を選び、ENTER ボタンを押す。
初期値は［録画停止］です。



4 設定が終了したら、↑、↓、←、→ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

設定が保存され、［周辺機器］タブに戻ります。

接点スイッチ

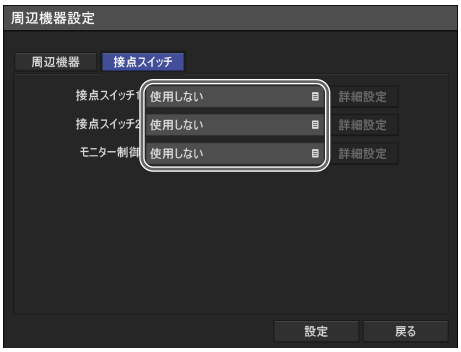
本機後面の接点スイッチ端子に接点スイッチデバイスを接続して本機の制御を行ったり、モニターのタリーランプ制御機能や映像入力の切り替え機能を使用する場合に設定します。

1 ←、→ボタンを押して［接点スイッチ］タブを選ぶ。

2 ［接点スイッチ 1］、［接点スイッチ 2］を設定する。

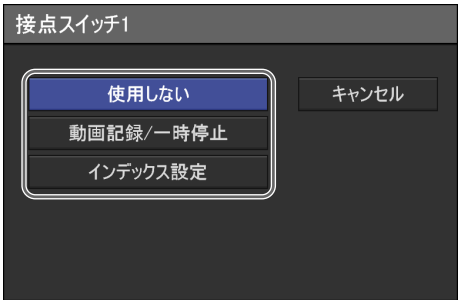
接点スイッチごとに、接点スイッチデバイスで何を制御するかを設定します。
［接点スイッチ 1］、［接点スイッチ 2］とも設定方法は同じです。
初期値は［使用しない］です。

① ↑、↓ ボタンを押して設定する接点スイッチのボックスを選び、ENTER ボタンを押す。



選択した接点スイッチの設定画面が表示されます。

② ↑、↓ ボタンを押して制御内容を選び、ENTER ボタンを押す。



使用しない

接点スイッチデバイスを使用しません。

動画記録 / 一時停止

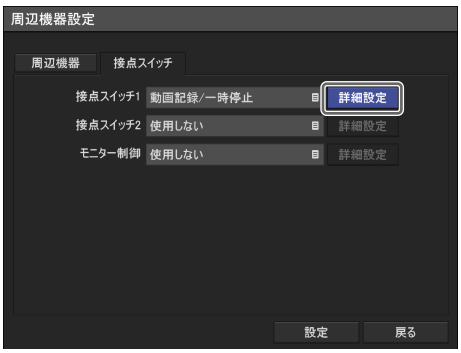
動画記録時の一時停止／再開を制御します。

インデックス設定

録画中にインデックスを付加します。

［接点スイッチ］タブに戻ります。

③ ←、→ ボタンを押して［詳細設定］を選び、ENTER ボタンを押す。



「詳細設定」画面が表示されます。

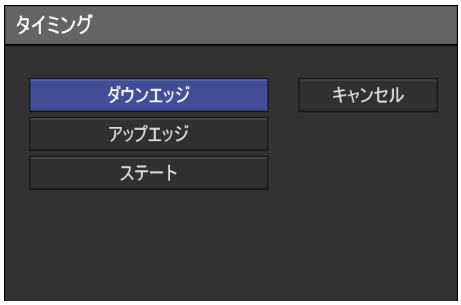
④ ↑、↓ ボタンを押して［タイミング］ボックスを選び、ENTER ボタンを押す。

「タイミング」画面が表示されます。

⑤ ↑、↓ ボタンを押して動作のタイミングを選び、ENTER ボタンを押す。
初期値は［ダウンエッジ］です。

メモ

録画開始直後は、「動画記録 / 一時停止制御」の一時停止が効きません。5 秒程度経過してから制御してください。



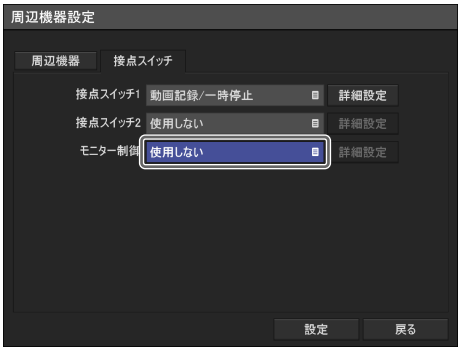
「詳細設定」画面に戻ります。

⑥ ↑、↓ ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

［接点スイッチ］タブに戻ります。

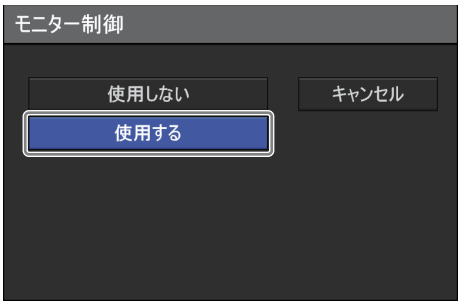
3 モニターのタリーランプ制御機能や映像入力の切り替え機能を使用する場合は、［モニター制御］を設定する。
初期値は［使用しない］です。

① ▲、▼ボタンを押して［モニター制御］のボックスを選び、ENTER ボタンを押す。



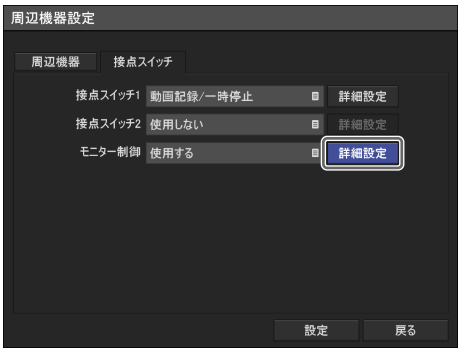
「モニター制御」画面が表示されます。

②▲、▼ボタンを押して［使用する］を選び、ENTER ボタンを押す。



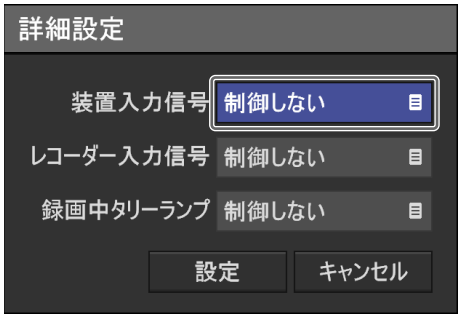
［接点スイッチ］タブに戻ります。

③◀、▶ボタンを押して［詳細設定］を選び、ENTER ボタンを押す。



「詳細設定」画面が表示されます。

④▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選び、ENTER ボタンを押す。
初期値は［制御しない］です。



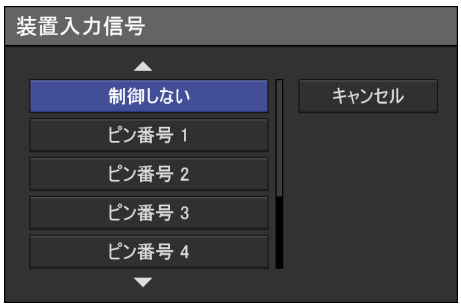
装置入力信号
超音波診断装置などからの映像をモニターに出力する場合に設定します。

レコーダー入力信号
本機からの映像をモニターに出力する場合に設定します。

録画中タリーランプ
録画中のステータスをモニターのタリーランプに表示する場合に設定します。

ピンを割り当てるための設定画面が表示されます。

⑤▲、▼ボタンを押してピン番号を選び、ENTER ボタンを押す。
モニター端子の 8 ピンのうち、どのピンにカメラ入力信号（超音波診断装置などからの映像入力）、レコーダー入力信号（本機からの映像入力）、録画中タリーランプ（タリーランプのオン／オフ）の制御を割り当てるかを、それぞれ設定します。

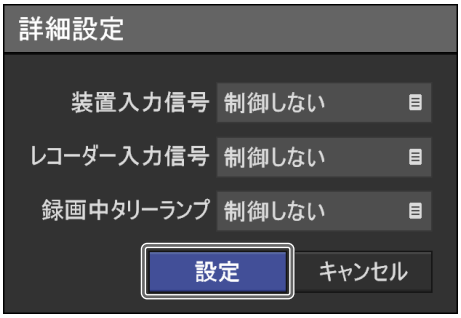


メモ

- 5 番は GND のため、使用できません。
- 接点スイッチ1と2で同じピン番号は設定できません。
- ピンの割り当てはモニターによって異なります。モニターの取扱説明書をご確認ください。

「詳細設定」画面に戻ります。

⑥ 設定が終了したら、↑、↓ ボタンを［設定］を選び、ENTER ボタンを押す。



［接点スイッチ］タブに戻ります。

4 続けてほかのタブを設定するときは、↑、↓、←、→ ボタンを押してタブを移動する。

「機能設定」を終了するときは、↑、↓、←、→ ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押して設定を保存します。

パスワード設定

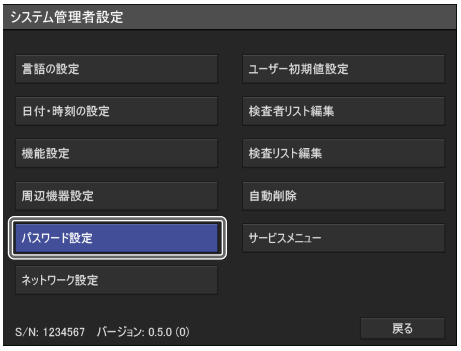
［システム管理者設定］を自由に変更できないように、パスワードを設定できます。
パスワードロックを有効にすると、「設定」画面で［システム管理者設定］を選択したときに、パスワードの入力を促す画面が表示されます。

ご注意

パスワードを紛失しないように、必ず控えておいてください。パスワードを紛失すると、［システム管理者設定］にアクセスできなくなります。また、パスワードは厳重に管理してください。

パスワードロックを有効にする

1 「システム管理設定」画面で、↑、↓、←、→ を押して［パスワード設定］を選び、ENTER ボタンを押す。



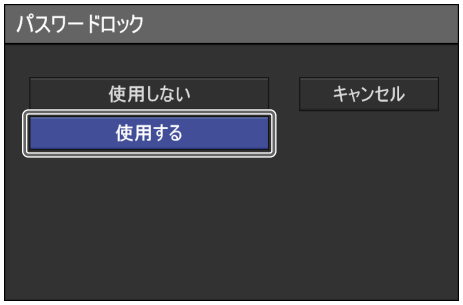
「パスワード設定」画面が表示されます。

2 ↑、↓ ボタンを押して［パスワードロック］を選び、ENTER ボタンを押す。

「パスワードロック」画面が表示されます。

3 ↑、↓ ボタンを押して［使用する］を選び、ENTER ボタンを押す。

初期値は［使用しない］です。



4 ↑、↓ ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

設定が保存されます。

メモ

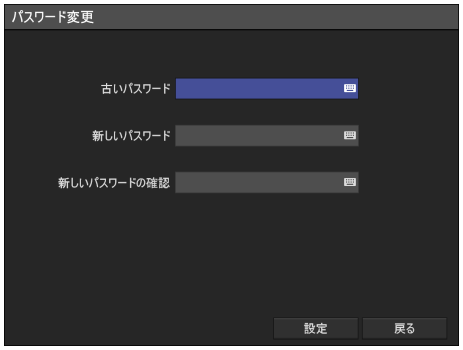
工場出荷時は、パスワードが未設定です。初めてパスワードを設定する場合は、「パスワード変更」画面で古いパスワードを入力せずに、新しいパスワードを設定してください。

パスワードを変更する

1 「パスワード設定」画面で、↑、↓、←、→ ボタンを押して［変更］ボタンを選び、ENTER を押す。

「パスワード変更」画面が表示されます。

2 各項目を設定する。



古いパスワード

ソフトキーボードを使って、古いパスワードを入力します。

◆ ソフトキーボードの使いかたについては、「ソフトキーボードの使いかた」（28 ページ）をご覧ください。

メモ

工場出荷時は、パスワードが未設定です。初めてパスワードを設定する場合は、「パスワード変更」画面で古いパスワードを入力せずに、新しいパスワードを設定してください。

新しいパスワード

ソフトキーボードを使って、新たに設定したいパスワードを 255 文字以内で入力します。
ソフトキーボードで入力できる文字であれば、パスワードに使用できます。

◆ ソフトキーボードの使いかたについては、「ソフトキーボードの使いかた」（28 ページ）をご覧ください。

新しいパスワードの確認

ソフトキーボードを使って、新しいパスワードと同じパスワードをもう一度入力します。

◆ ソフトキーボードの使いかたについては、「ソフトキーボードの使いかた」（28 ページ）をご覧ください。

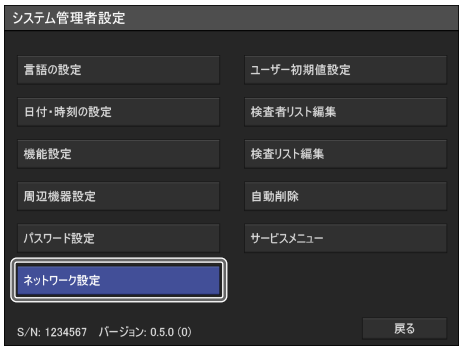
3 ↑、↓ ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

新しいパスワードが保存されます。

ネットワーク設定

ネットワークに関する初期設定を行います。また、ネットワークを［使用する］に設定している場合、画面上部にはMac アドレスが表示されます。

1 「システム管理者設定」画面で、↑、↓、←、→ ボタンを押して［ネットワーク設定］を選び、ENTER ボタンを押す。



「ネットワーク設定」画面が表示されます。

2 ←、→ ボタンを押して各タブを選び、必要な設定を行う。

各タブでの設定については、以下をご覧ください。

◆ ネットワーク （72 ページ）

◆ 保存先サーバー （74 ページ）

◆ NTP （74 ページ）

3 設定が終了したら、↑、↓、←、→ ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

設定が保存され、「システム管理者設定」画面に戻ります。

ネットワーク

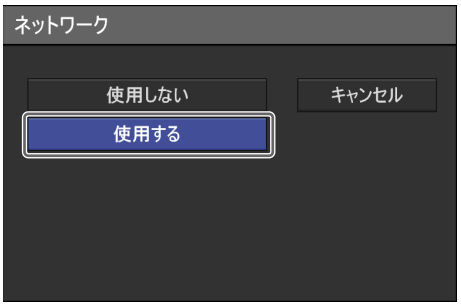
ネットワークを使用する場合に設定します。

1 ←、→ ボタンを押して［ネットワーク］タブを選ぶ。

2 ↑、↓ ボタンを押して［ネットワーク］ボックスを選び、ENTER ボタンを押す。

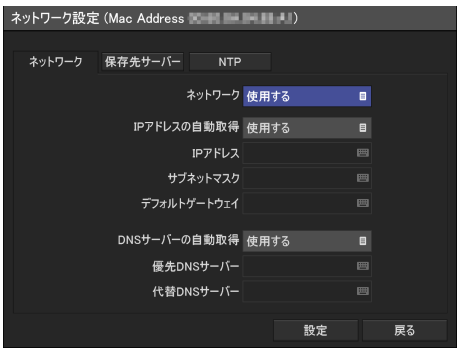
「ネットワーク」画面が表示されます。

3 ↑、↓ ボタンを押して［使用する］を選び、ENTER ボタンを押す。



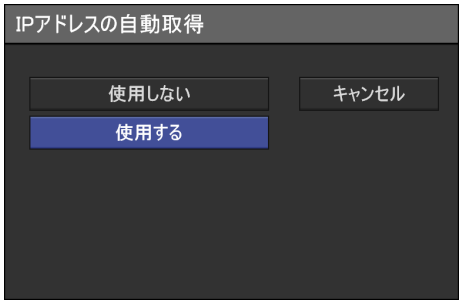
4 各項目を設定する。

↑、↓ ボタンを押して項目を選び、ENTER ボタンを押すと、項目に応じた設定画面が表示されます。



IP アドレスの自動取得

表示される「IP アドレスの自動取得」画面で、DHCP を利用してアドレス設定を自動取得する場合は［使用する］を、固定の IP アドレスを割り当てる場合は［使用しない］を選択し、ENTER ボタンを押します。
［使用する］を選択したときは、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが読み取り専用で表示されます。
［使用しない］を選択したときは、［IP アドレス］、［サブネットマスク］、［デフォルトゲートウェイ］、［優先 DNS サーバー］、［代替 DNS サーバー］を設定してください。



IP アドレス

ソフトキーボードを使って、IP アドレスを入力します。

◆ ソフトキーボードの使いかたについては、「ソフトキーボードの使いかた」（28 ページ）をご覧ください。

サブネットマスク

ソフトキーボードを使って、サブネットマスクを入力します。

◆ ソフトキーボードの使いかたについては、「ソフトキーボードの使いかた」（28 ページ）をご覧ください。

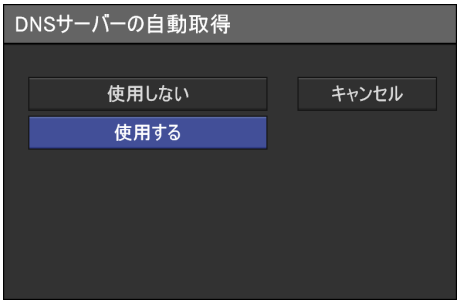
デフォルトゲートウェイ

ソフトキーボードを使って、デフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力します。
ローカルネットワークのみで使用する場合やほかのネットワークへの接続が必要ない場合は、入力しないでください。

◆ ソフトキーボードの使いかたについては、「ソフトキーボードの使いかた」（28 ページ）をご覧ください。

DNS サーバーの自動取得

表示される「DNS サーバーの自動取得」画面で、DNS サーバーの IP アドレスを自動取得する場合は［使用する］を、IP アドレスを指定する場合は［使用しない］を選択し、ENTER ボタンを押します。
［使用しない］を選択したときは、［優先 DNS サーバー］、［代替 DNS サーバー］を設定してください。



優先 DNS サーバー

ソフトキーボードを使って、優先 DNS サーバーの IP アドレスを入力します。
優先 DNS サーバーがない場合や必要としない場合は、入力しないでください。

◆ ソフトキーボードの使いかたについては、「ソフトキーボードの使いかた」（28 ページ）をご覧ください。

代替 DNS サーバー

ソフトキーボードを使って、代替 DNS サーバーの IP アドレスを入力します。
代替 DNS サーバーがない場合や必要としない場合は、入力しないでください。

◆ ソフトキーボードの使いかたについては、「ソフトキーボードの使いかた」（28 ページ）をご覧ください。

5 続けてほかのタブを設定するときは、↑、↓、←、→ ボタンを押してタブを移動する。

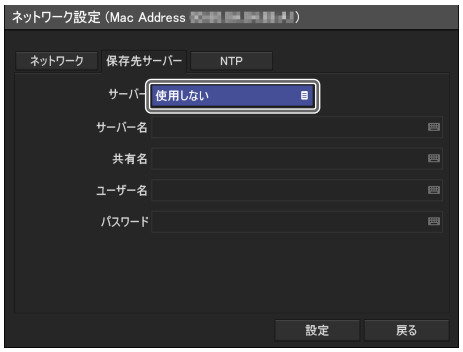
「ネットワーク設定」を終了するときは、↑、↓、←、→ ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押して設定を保存します。

保存先サーバー

録画データの保存先にサーバーを指定する場合に設定します。

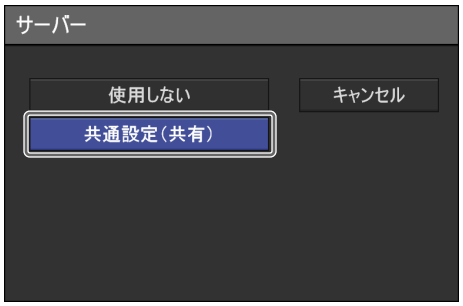
1 ←、→ ボタンを押して［保存先サーバー］タブを選ぶ。

2 ↑、↓ ボタンを押して［サーバー］ボックスを選び、ENTER ボタンを押す。



「サーバー」画面が表示されます。

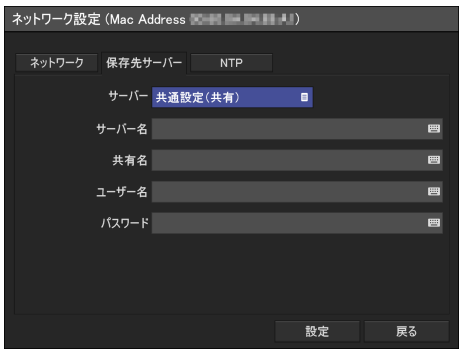
3 ↑、↓ ボタンを押して［共有設定（共有）］を選び、ENTER ボタンを押す。



共有設定（共有）の設定項目が表示されます。

4 各項目を設定する。

↑、↓ ボタンを押して項目を選び、ENTER ボタンを押すと、項目に応じた設定画面が表示されます。



サーバー名

ソフトキーボードを使って、サーバー名を入力します。

◆ ソフトキーボードの使いかたについては、「ソフトキーボードの使いかた」（28 ページ）をご覧ください。

共有名

ソフトキーボードを使って、共有名を入力します。
使用可能な文字は、半角英数字、記号（" = / \ [ ] : | < > + ; , ? * を除く）です。

◆ ソフトキーボードの使いかたについては、「ソフトキーボードの使いかた」（28 ページ）をご覧ください。

ご注意

AVCHD 形式でサーバーに録画データを保存する場合、複数のレコーダーで保存先を同一サーバー上の同じ共有名に設定しないでください。同時に保存操作を行うと、録画データが破損する可能性があります。

ユーザー名

ソフトキーボードを使って、ユーザー名を入力します。

◆ ソフトキーボードの使いかたについては、「ソフトキーボードの使いかた」（28 ページ）をご覧ください。

パスワード

ソフトキーボードを使って、パスワードを入力します。

◆ ソフトキーボードの使いかたについては、「ソフトキーボードの使いかた」（28 ページ）をご覧ください。

5 続けてほかのタブを設定するときは、↑、↓、←、→ ボタンを押してタブを移動する。

「ネットワーク設定」を終了するときは、↑、↓、←、→ ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押して設定を保存します。

NTP

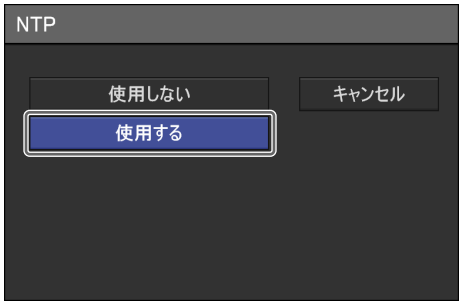
現在の時刻を NTP サーバーから取得する場合に設定します。

1 ←、→ ボタンを押して［NTP］タブを選ぶ。

2 ↑、↓ ボタンを押して［NTP］ボックスを選び、ENTER ボタンを押す。

「NTP」画面が表示されます。

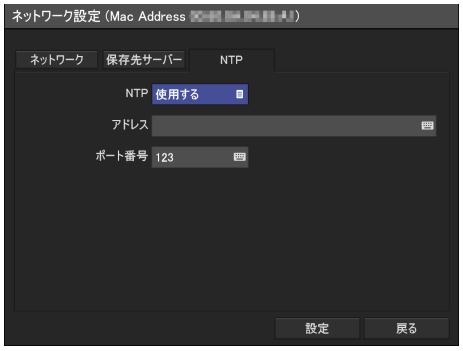
3 ↑、↓ ボタンを押して［使用する］を選び、ENTER ボタンを押す。



NTP サーバーの設定項目が表示されます。

4 各項目を設定する。

↑、↓ ボタンを押して項目を選び、ENTER ボタンを押すと、項目に応じた設定画面が表示されます。



アドレス

ソフトキーボードを使って、NTP サーバーのアドレスを入力します。

◆ ソフトキーボードの使いかたについては、「ソフトキーボードの使いかた」（28 ページ）をご覧ください。

ポート番号

ソフトキーボードを使って、ポート番号を入力します。初期値は［123］です。

◆ ソフトキーボードの使いかたについては、「ソフトキーボードの使いかた」（28 ページ）をご覧ください。

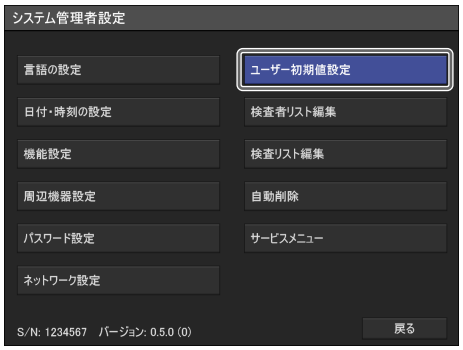
5 続けてほかのタブを設定するときは、↑、↓、←、→ ボタンを押してタブを移動する。

「ネットワーク設定」を終了するときは、↑、↓、←、→ ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押して設定を保存します。

ユーザー初期値設定

録画時の画質や保存先のメディアに関する初期値設定を行います。
ここで設定した内容が録画の際の初期値に使用されます。

1 「システム管理者設定」画面で、↑、↓、←、→ ボタンを押して［ユーザー初期値設定］を選び、ENTER ボタンを押す。



「ユーザー初期値設定」画面が表示されます。

2 ←、→ ボタンを押して各タブを選び、必要な設定を行う。

各タブでの設定については、以下をご覧ください。

◆ 画質 （76 ページ）

◆ 保存 （77 ページ）

3 設定が終了したら、↑、↓、←、→ ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

設定が保存され、「システム管理者設定」画面に戻ります。

画質

動画の画質を設定します。
ここで設定した内容が、「ユーザー設定」画面の［画質］タブに初期値として表示されます。

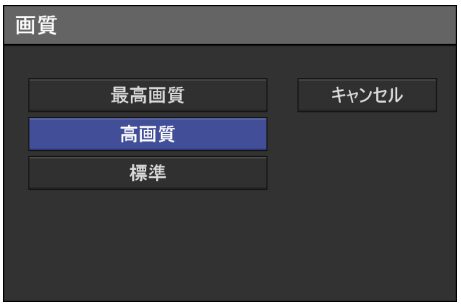
1 ←、→ ボタンを押して［画質］タブを選ぶ。

2 動画の画質を設定する。

↑、↓ ボタンを押して項目を選び、ENTER ボタンを押すと、項目に応じた設定画面が表示されます。

画質

表示される「画質」画面で、動画の画質を選び、ENTER ボタンを押します。



メモ

［録画時間］には、次の情報が表示されます。

- HVO-500MD の場合：USB メディア（500 GB）に録画できる目安
- HVO-550MD の場合：DVD-R1 層（4.7 GB）に録画できる目安

3 設定が終了したら、↑、↓、←、→ ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

「システム管理者設定」画面に戻ります。

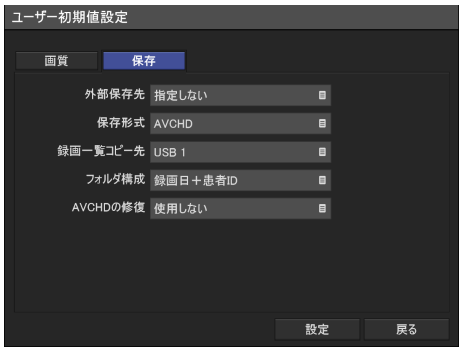
保存

録画データを保存する外部メディアに関する設定を行います。

1 ←、→ボタンを押して［保存］タブを選ぶ。

2 各項目を設定する。

↑、↓ボタンを押して項目を選び、ENTER ボタンを押すと、項目に応じた設定画面が表示されます。



外部保存先

表示される「外部保存先」画面で、同時保存先の外部メディアを選び、ENTER ボタンを押します。
初期値は［指定しない］です。

保存形式

表示される「保存形式」画面で、保存形式を選び、ENTER ボタンを押します。

ご注意

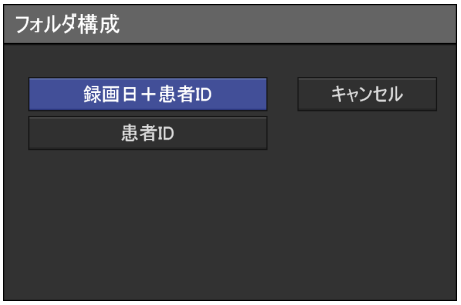
AVCHD 形式でサーバーに録画データを保存する場合、複数のレコーダーで保存先を同一サーバー上の同じ共有名に設定しないでください。同時に保存操作を行うと、録画データが破損する可能性があります。

録画一覧コピー先

表示される「録画一覧コピー先」画面で、録画一覧をコピーする外部メディアを選び、ENTER ボタンを押します。
初期値は［USB 1］です。

フォルダ構成

表示される「フォルダ構成」画面で、外部メディアに書き出すファイルの構成を選び、ENTER ボタンを押します。
初期値は［録画日＋患者 ID］です。

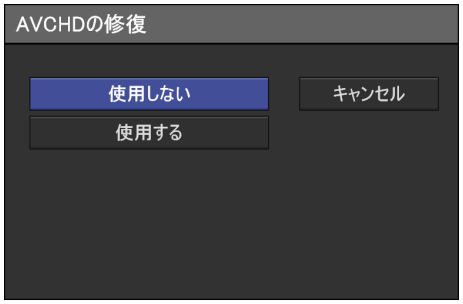


メモ

同じ患者 ID で録画データが追加された場合、患者 ID フォルダーの下に新たに録画日時のフォルダーが作成され、そこに録画データが格納されます。

AVCHD の修復

表示される「AVCHD の修復」画面で、AVCHD のファイルが壊れている場合などに修復するかどうかを選び、ENTER ボタンを押します。
初期値は［使用する］です。



3 設定が終了したら、↑、↓、←、→ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

「メニュー」画面に戻ります。

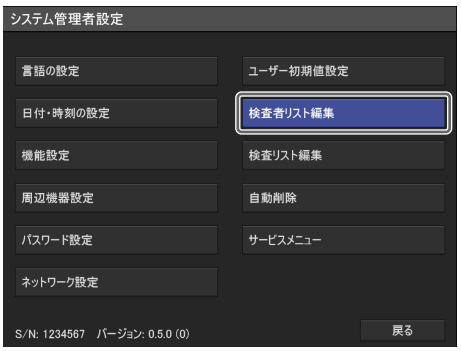
検査者リスト編集

検査者の登録や編集を行います。
ここで登録した検査者の情報が、各画面での検査者の一覧や初期値に使用されます。検査者は 100 人まで登録できます。

検査者を登録する

検査者の名前や、検査者ごとの初期値を登録します。

1 「システム管理者設定」画面で、↑、↓、←、→ボタンを押して［検査者リスト編集］を選び、ENTER ボタンを押す。

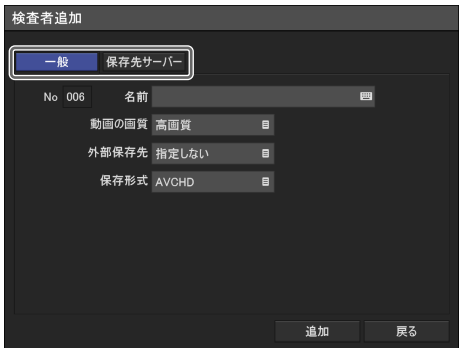


「検査者リスト編集」画面が表示されます。

2 ←、→ボタンを押して［追加］を選び、ENTER ボタンを押す。

「検査者追加」画面が表示されます。

3 ←、→ ボタンを押して各タブを選び、必要な設定を行う。



各タブの設定については、以下をご覧ください。

◆ 一般 （79 ページ）

◆ 保存先サーバー （80 ページ）

4 設定が完了したら、↑、↓、←、→ ボタンを押して［追加］を選び、ENTER ボタンを押す。

検査者が追加されます。

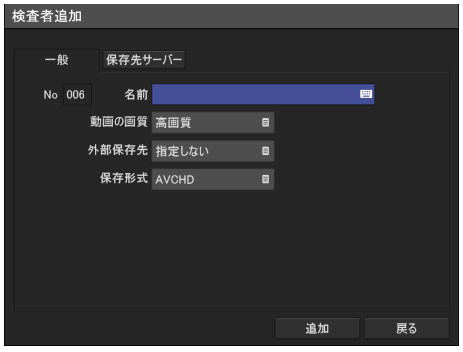
一般

検査者の名前や保存先など、一般的な設定を行います。

1 ←、→ ボタンを押して［一般］タブを選ぶ。

2 各項目を設定する。

↑、↓ ボタンを押して項目を選び、ENTER ボタンを押すと、項目に応じた設定画面が表示されます。
No. は自動的に連番が振られますので変更できません。



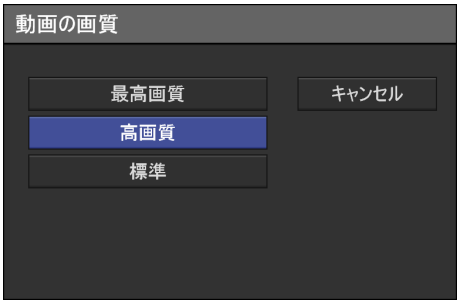
名前

ソフトキーボードを使って、検査者の名前を 20 文字以内で入力します。

◆ ソフトキーボードの使いかたについては、「ソフトキーボードの使いかた」（28 ページ）をご覧ください。

動画の画質

表示される「動画の画質」画面で、動画の画質を選び、ENTER ボタンを押します。
初期値は、［システム管理者設定］の［ユーザー初期値設定］で設定されている値です。



外部保存先

表示される「外部保存先」画面で、保存先の外部メディアを選び、ENTER ボタンを押します。

保存形式

表示される「保存形式」画面で、保存形式を選び、ENTER ボタンを押します。

ご注意

AVCHD 形式でサーバーに録画データを保存する場合、複数のレコーダーで保存先を同一サーバー上の同じ共有名に設定しないでください。同時に保存操作を行うと、録画データが破損する可能性があります。

3 設定が終了したら、↑、↓、←、→ ボタンを押して［追加］を選び、ENTER ボタンを押す。

「検査者リスト編集」画面に戻ります。

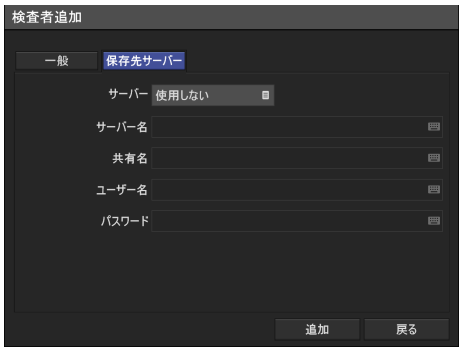
保存先サーバー

サーバーに関する設定を行います。

1 ←、→ ボタンを押して［保存先サーバー］タブを選ぶ。

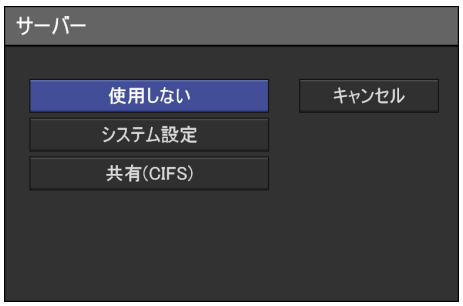
2 各項目を設定する。

↑、↓ ボタンを押して項目を選び、ENTER ボタンを押すと、項目に応じた設定画面が表示されます。

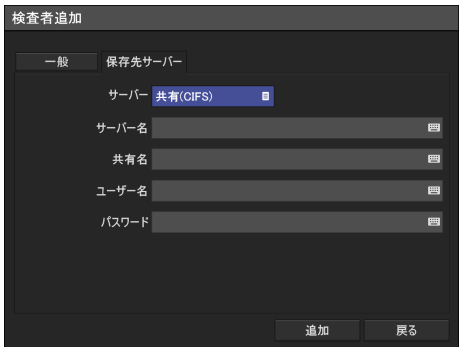


サーバー

録画データの保存先にサーバーを指定する場合に設定します。
表示される「サーバー」画面で、サーバーの種類を選択し、ENTER ボタンを押します。



［共有（CIFS)］を選択したときは、サーバーの設定項目が表示されます。以下の項目を設定してください。



サーバー名

ソフトキーボードを使って、サーバー名を入力します。

◆ ソフトキーボードの使いかたについては、「ソフトキーボードの使いかた」(28 ページ）をご覧ください。

共有名

ソフトキーボードを使って、共有名を入力します。
使用可能な文字は、半角英数字、記号（" = / \ [ ] : | < > + ; , ? * を除く）です。

◆ ソフトキーボードの使いかたについては、「ソフトキーボードの使いかた」(28 ページ）をご覧ください。

ご注意

AVCHD 形式でサーバーに録画データを保存する場合、複数のレコーダーで保存先を同一サーバー上の同じ共有名に設定しないでください。同時に保存操作を行うと、録画データが破損する可能性があります。

ユーザー名

ソフトキーボードを使って、ユーザー名を入力します。

◆ ソフトキーボードの使いかたについては、「ソフトキーボードの使いかた」(28 ページ）をご覧ください。

パスワード

ソフトキーボードを使って、パスワードを入力します。

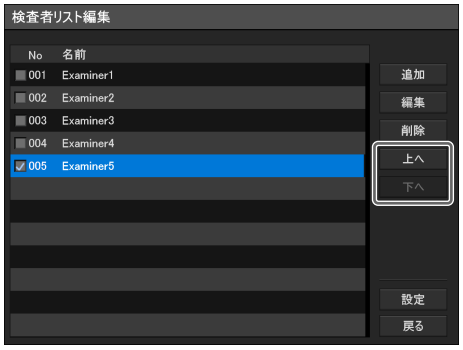
◆ ソフトキーボードの使いかたについては、「ソフトキーボードの使いかた」(28 ページ）をご覧ください。

3 設定が終了したら、↑、↓、←、→ ボタンを押して［追加］を選び、ENTER ボタンを押す。

「検査者リスト編集」画面に戻ります。

リストの並び順を変更する

1 ↑、↓、←、→ ボタンを押して並び順を変更したい検査者を選んでから、［上へ］または［下へ］を選び、ENTER ボタンを押す。



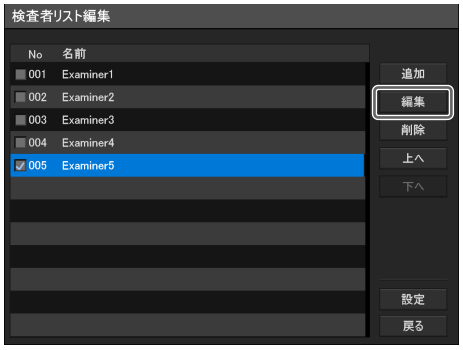
検査者の位置が 1 つずつ移動します。

2 ↓ ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

設定が保存され、「システム管理者設定」画面に戻ります。

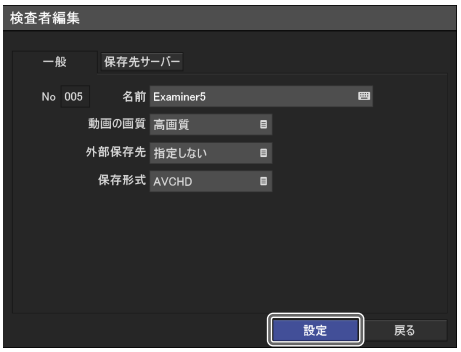
設定内容を変更する

1 ↑、↓、←、→ ボタンを押して設定内容を変更したい検査者を選んでから、［編集］を選び、ENTER ボタンを押す。



「検査者編集」画面が表示されます。

2 各項目を変更したら、［設定］を選び、ENTER ボタンを押す。



設定が保存されます。

各項目については、以下をご覧ください。

◆ 一般 （79 ページ）

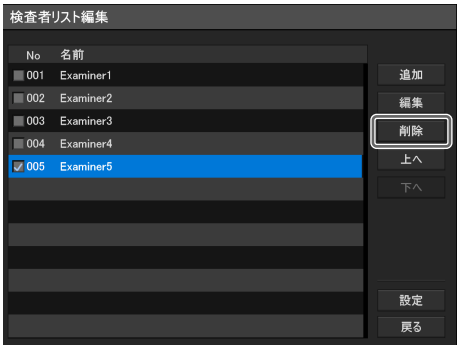
◆ 保存先サーバー （80 ページ）

ご注意

検査者名を変更した場合は、古い検査者のデータを検査者名で検索できなくなります。

検査者を削除する

1 ↑、↓ ボタンを押して削除したい検査者を選んでから、［削除］を選び、ENTER ボタンを押す。



確認メッセージが表示されます。

2 ←、→ ボタンを押して［はい］を選び、ENTER ボタンを押す。

検査者が削除されます。

3 ↓ ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

設定が保存され、「システム管理者設定」画面に戻ります。

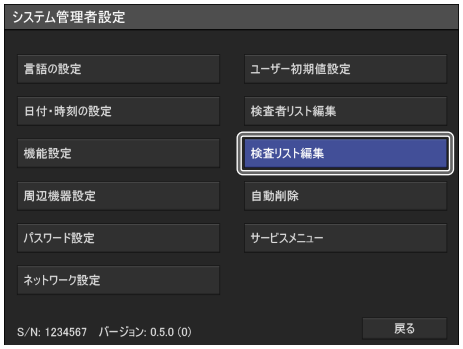
検査リスト編集

検査のカテゴリーの登録や編集を行います。ここで登録した検査の情報が、各画面の検査の一覧に使用されます。

カテゴリーを登録する

検査のカテゴリーを登録します。

1 「システム管理者設定」画面で、↑、↓、←、→ボタンを押して［検査リスト編集］を選び、ENTER ボタンを押す。



「検査リスト編集」画面が表示されます。

2 ←、→ボタンを押してカテゴリーの［編集］を選び、ENTER ボタンを押す。

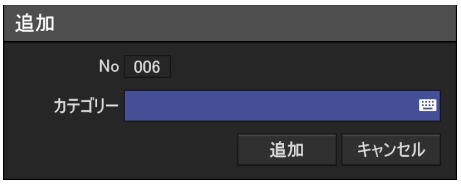
「検査カテゴリーリスト編集」画面が表示されます。

3 ←、→ボタンを押して［追加］を選び、ENTER ボタンを押す。

「追加」画面が表示されます。

4 カテゴリー名を設定する。

No. は自動的に連番が振られますので変更できません。



カテゴリー

ソフトキーボードを使って、カテゴリーの名前を 20 文字以内で入力します。

◆ ソフトキーボードの使いかたについては、「ソフトキーボードの使いかた」(28 ページ) をご覧ください。

5 設定が完了したら↑、↓、←、→ボタンを押して［追加］を選び、ENTER ボタンを押す。

カテゴリーが追加されます。

リストの並び順を変更する

1 ↑、↓ボタンを押して並び順を変更したいカテゴリーを選んでから［上へ］または［下へ］を選び、ENTER ボタンを押す。

カテゴリーの位置が 1 つずつ移動します。

2 ↓ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

設定が保存され、「検査リスト編集」画面に戻ります。

カテゴリー名を変更する

1 ↑、↓、←、→ボタンを押して名前を変更したいカテゴリーを選んでから［編集］を選び、ENTER ボタンを押す。

「編集」画面が表示されます。

2 カテゴリー名を変更して、［設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

設定が保存されます。

カテゴリーを削除する

1 ↑、↓ボタンを押して削除したいカテゴリーを選んでから［削除］を選び、ENTER ボタンを押す。

確認メッセージが表示されます。

2 ←、→ボタンを押して［はい］を選び、ENTER ボタンを押す。

カテゴリーが削除されます。

3 ↓ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

設定が保存され、「検査リスト編集」画面に戻ります。

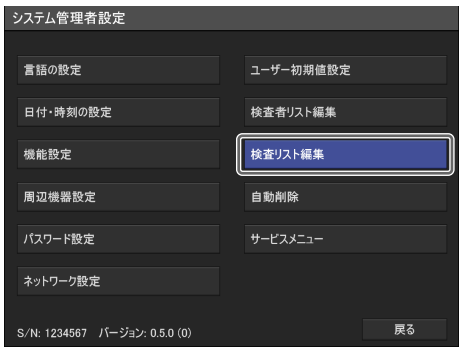
ご注意

カテゴリーを削除した場合は、そのカテゴリーに登録されている検査もすべて削除されます。

検査を登録する

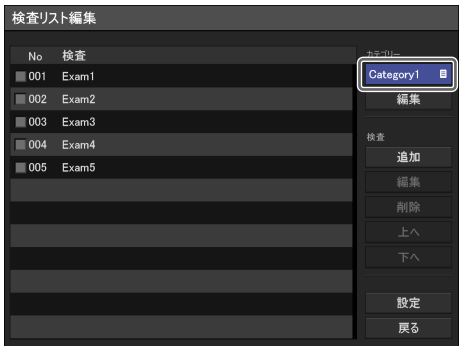
検査を登録します。

1 「システム管理者設定」画面で、↑、↓、←、→ ボタンを押して［検査リスト編集］を選び、ENTER ボタンを押す。



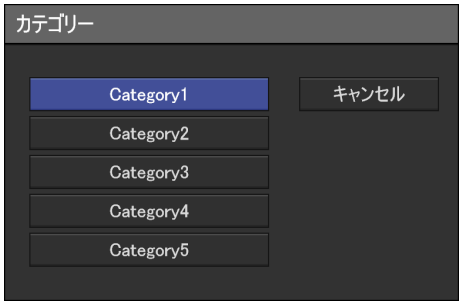
「検査リスト編集」画面が表示されます。

2 ←、→ ボタンを押して［カテゴリー］ボックスを選び、ENTER ボタンを押す。

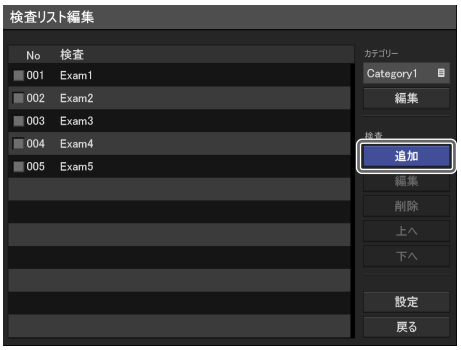


「カテゴリー」画面が表示されます。

3 表示される「カテゴリー」画面から対象のカテゴリーを選択し、ENTER ボタンを押す。



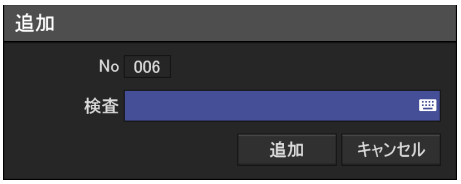
4 ↑、↓、←、→ ボタンを押して検査の［追加］を選び、ENTER ボタンを押す。



「追加」画面が表示されます。

5 検査名を設定する。

No. は自動的に連番が振られますので変更できません。



検査

ソフトキーボードを使って、検査の名前を 20 文字以内で入力します。

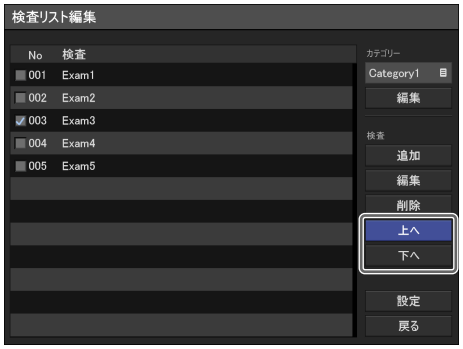
◆ ソフトキーボードの使いかたについては、「ソフトキーボードの使いかた」(28 ページ) をご覧ください。

6 設定が完了したら、↑、↓、←、→ をボタンを押して［追加］を選び、ENTER ボタンを押す。

検査が追加されます。

リストの並び順を変更する

1 ↑、↓ボタンを押して並び順を変更したい検査を選んでから［上へ］または［下へ］を選び、ENTER ボタンを押す。



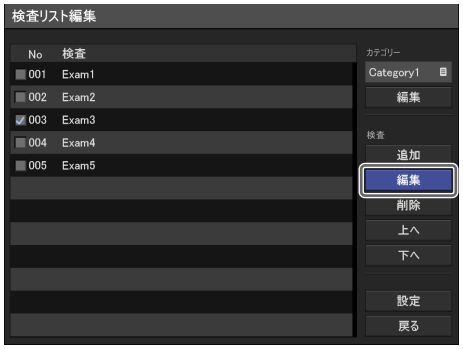
検査の位置が 1 つずつ移動します。

2 ↓ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

設定が保存され、「システム管理者設定」画面に戻ります。

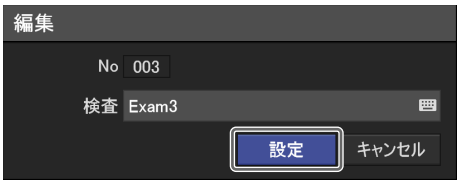
検査名を変更する

1 ↑、↓ボタンを押して名前を変更したい検査を選んでから［編集］を選び、ENTER ボタンを押す。



「編集」画面が表示されます。

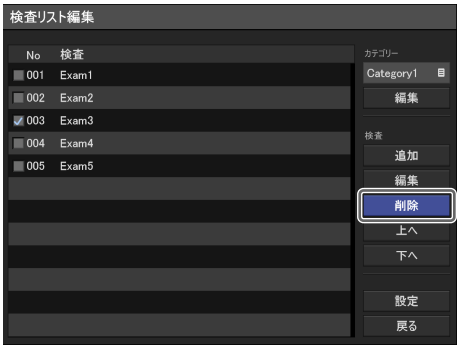
2 検査名を変更して［設定］を選び、ENTER ボタンを押す。



設定が保存されます。

検査を削除する

1 「検査リスト編集」画面で、↑、↓ボタンを押して削除したい検査を選んでから［削除］を選び、ENTER ボタンを押す。



検査が削除されます。

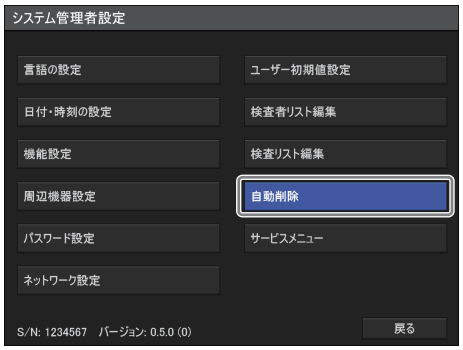
2 ↓ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

設定が保存され、「システム管理者設定」画面に戻ります。

自動削除設定

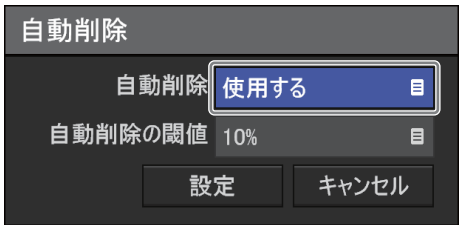
自動削除機能のオン／オフや、自動削除のしきい値を設定します。

1 「システム管理者」画面で、↑、↓、←、→ ボタンを押して［自動削除］を選び、ENTER ボタンを押す。



「自動削除」画面が表示されます。

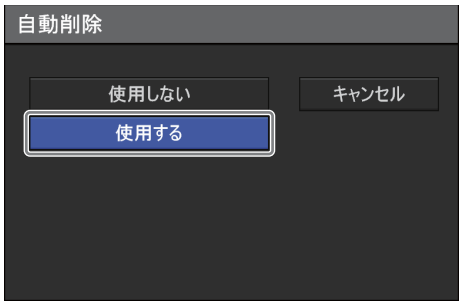
2 ↑、↓ ボタンを押して［自動削除］を選び、ENTER ボタンを押す。



「自動削除」画面が表示されます。

3 ↑、↓ ボタンを押して自動削除機能を使用するかどうかを選び、ENTER ボタンを押す。

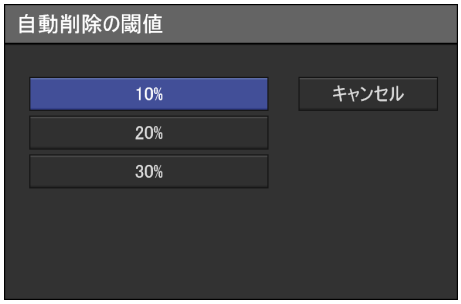
初期値は［使用する］です。



4 自動削除のしきい値を設定する。

① ↑、↓ ボタンを押して［自動削除の閾値］を選び、ENTER ボタンを押す。
「自動削除の閾値」画面が表示されます。

② ↑、↓ ボタンを押して自動削除の閾値を選び、ENTER ボタンを押す。
初期値は［10%］です。



5 ↑、↓ ボタンを押して［設定］を選び、ENTER ボタンを押す。

設定が保存されます。

第6章 その他

エラーメッセージ一覧

フロントパネルディスプレイ		意味	対処方法
1行目	2行目		
INITIALIZE ERR.	0000	起動エラー	本機を起動し直してください。それでも解決しない場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。 また、本機が稼働中に不用意に電源を遮断するなど、正しい方法で電源を切らなかった場合、内蔵 HDD がダメージを受けて、次の起動後にこのエラーが出ることがあります。この場合、15 分程度で正常に起動することもありますが、内蔵 HDD はダメージを受けた状態なので、内蔵 HDD の交換をおすすめします。ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。
SYSTEM ERR.	0001	アプリケーション通信エラー	本機を起動し直してください。それでも解決しない場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。
SYSTEM ERR.	0100 番台	システムファン・温度異常	本機を起動し直してください。それでも解決しない場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。
SYSTEM ERR.	0200 番台	内蔵 HDD 異常	本機を起動し直してください。それでも解決しない場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。
SYSTEM ERR.	0300 番台	データベース異常	本機を起動し直してください。それでも解決しない場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。
SYSTEM ERR.	0400 番台	リカバリー失敗	本機を起動し直してください。それでも解決しない場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。
SYSTEM ERR.	0500 番台	ファイルのデータ異常	本機を起動し直してください。それでも解決しない場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。
SYSTEM ERR.	0600 番台	キャプチャーボード異常	本機を起動し直してください。それでも解決しない場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。
SYSTEM ERR.	0700 番台	光学ドライブ異常	本機を起動し直してください。それでも解決しない場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。
SYSTEM ERR.	0800 番台	オーディオデバイス異常	本機を起動し直してください。それでも解決しない場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。
SYSTEM ERR.	0900 番台	フロントパネル異常	本機を起動し直してください。それでも解決しない場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。
SYSTEM ERR.	1000 番台	アプリケーション異常	本機を起動し直してください。それでも解決しない場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。
MAX REC DATA	患者 ID	録画データ数の上限超え	録画データ数が上限に達しました。不要な録画データを削除してください。
MAX CHAPTER	患者 ID	チャプター数の上限超え	チャプター数が上限に達しました。録画を終了してください。
NO REC DATA		録画データなし	簡易再生する録画データが存在しません。
HDD LACK		内蔵 HDD 容量不足	内蔵 HDD の容量が不足しています。不要な録画データを削除してください。

フロントパネルディスプレイ		意味	対処方法
1行目	2行目		
HDD FULL		内蔵 HDD 残容量なし	内蔵 HDD がいっぱいになりました。不要な録画データを削除してください。
KEY INHIBIT		フロントパネルディスプレイのキー禁止	フロントパネルディスプレイのキー操作が禁止されています。
WARN. FAN		システム／ CPU ファン回転数警告	ファンの回転数が異常です。ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。
WARN. TEMP.		システム／ CPU 温度警告	機器内部の温度が異常です。設置環境を確認してください。
WARN. HDD		内蔵 HDD の警告または異常	内蔵 HDD が異常です。ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。
ERR.BATTERY		バッテリー切れ	バッテリーが切れました。ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。

故障かな？と思ったら

まず初めに、下記の項目をもう1度チェックしてみてください。それでも解決しないときは、ソニーのサービス担当者、営業担当者にご相談ください。

症状	原因・処置
⏻（オン／スタンバイ）スイッチを押しても、電源が入らない。	• 電源コードがはずれています。 →電源コンセントから抜けていないか、AC アダプターおよび DC 電源コードの接続を確認してください。
本機の操作ボタンが働かない。記録、再生ができないなど、正常に動作しない。	• 静電気などの影響で正常に動作しなくなる場合があります。 → 前面パネルの⏻（オン／スタンバイ）スイッチを切ってから、AC アダプターと DC 電源コードを抜き、しばらく置いてから、再び、AC アダプターと DC 電源コードを接続し、電源を入れてください。
⏏ディスクトレイ開ボタンを押してもディスクトレイが開かない。	記録や編集をしたとき、ディスクトレイが開くのに数秒かかることがあります。これは、本機がディスク情報を追加しているためで故障ではありません。
電源は入るが、画像が出ない。乱れる。	• 本機後面の入出力端子の接続が抜けています。 →正しく接続してください。（19 ページ） • 本機後面の入出力端子の接続が間違っています。 →正しく接続してください。（19 ページ） • 使用しているケーブルが断線しています。 →ケーブルを確認してください。
音が出ない。雑音が入る。	• 本機後面の入出力端子の接続が抜けています。 →正しく接続してください。（19 ページ） • 本機後面の入出力端子の接続が間違っています。 →正しく接続してください。（19 ページ） • 使用しているケーブルが断線しています。 →ケーブルを確認してください。 • 順方向・逆方向の早送り再生中です。 →▶PLAY（再生）ボタンを押してください。（18 ページ）
記録できない。	• 書き込み禁止になっているメディアを使用しています。 →記録してよいメディアに交換してください。 • メディアの空き容量がなくなりました。 →メディアを交換してください。 • 本機で使用できない DVD を使用している。 →本機に対応している DVD を使用してください。（29 ページ）
再生中一瞬（約 1 秒間）静止画になり、音声が途切れる。	本機は、タイトルとタイトルの間で再生が止まり、約 1 秒後に再生が開始されます。故障ではありません。
ディスク内のデータが破損した。	ソニーのサービス担当者、営業担当者にお問い合わせください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも調子の悪いときはサービスへ

ソニーのサービス担当者、営業担当者にご連絡ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。
お買い上げ店にご相談なさるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：HVO-500MD または HVO-550MD
- 購入年月日

ライセンスについて

libjpeg

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

LibTIFF

Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler
Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.
Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

zlib

(C) 1995-2004 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

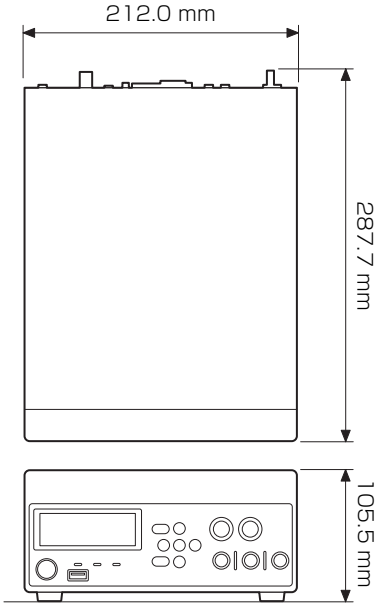
Jean-loup Gailly　　Mark Adler
jloup@gzip.org　　madler@alumni.caltech.edu

仕様

HVO-500MD/HVO-550MD

一般

電源	DC +12 V ～ +24 V（AC アダプター—AC-80MD から供給）
入力電流	HVO-500MD：3.2 A ～ 1.6 A HVO-550MD：3.5 A ～ 1.8 A
動作環境	温度：5 ℃～ 40 ℃ 湿度：20% ～ 80%（最大湿球温度 30 ℃）（ただし結露がないこと） 気圧：700 hPa ～ 1,060 hPa
輸送保存環境時	温度：－20 ℃～ +60 ℃ 湿度：20% ～ 90%（最大湿球温度 30 ℃）（ただし結露がないこと） 気圧：700 hPa ～ 1,060 hPa
質量	HVO-500MD：約 2.9 kg HVO-550MD：約 3.2 kg
外形寸法	212.0 × 287.7 × 105.5 ㎜（幅、奥行き、高さ、突起部を含む）



記憶装置

内蔵ハードディスクドライブ
500 GB
DVD ドライブ（1）（HVO-550MD のみ）
対応メディア：DVD-R（1 層）

入力端子

HDMI（Type A）（1）

DVI-D（DVI 19 ピン）（1）
TMDS（シングルリンク）
S VIDEO（4 ピンミニ DIN 端子）（1）
Y: 1.0 Vp-p（75 Ω）同期負
C（BURST）: 0.286 Vp-p（75 Ω）
（NTSC）
C（BURST）: 0.3 Vp-p（75 Ω）（PAL）
VIDEO（BNC）（1）
コンポジット
1.0 Vp-p（75 Ω）
同期負
AUDIO（ステレオミニジャック）（1）
1.4 Vrms（Full bit)、入力インピーダンス
10 kΩ 以上、不平衡
DC IN（DIN3 ピン）
AC アダプター

出力端子

HDMI（Type A）（1）
DVI-D（DVI 19 ピン）（1）
TMDS（シングルリンク）
S VIDEO（4 ピンミニ DIN 端子）（1）
Y: 1.0 Vp-p（75 Ω）同期負
C（BURST）: 0.286 Vp-p（75 Ω）
（NTSC）
C（BURST）: 0.3 Vp-p（75 Ω）（PAL）
VIDEO（BNC）（1）
コンポジット
1.0 Vp-p（75 Ω）
同期負
AUDIO（ステレオミニジャック）（1）
1.4 Vrms（Full bit)、負荷インピーダンス
10 kΩ、不平衡

その他インターフェース

USB（Type A）（3）
USB 2.0
USB（Type B）（1）
USB 2.0
ネットワーク（RJ-45）（1）
1000 Base-T/100 Base-TX
REMOTE　RS-232C（D-sub 9 ピン）（1）
REMOTE 接点スイッチ（ステレオミニジャック）（2）
REMOTE MONITOR（RJ-45）（1）
DC IN（3 ピン）（1）
等電位端子

付属品

ご使用になる前に（1）
CD-ROM（取扱説明書、プロトコルマニュアル）（1）
保証書（1）
AC アダプター AC-80MD（1）
AC-80MD 取扱説明書（1）
セールス会社窓口のしおり（1）

別売りアクセサリー

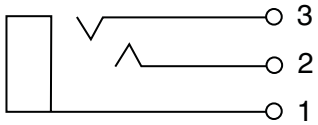
フットスイッチ　FS-24

注意

FS-24 は防滴保護等級 IPx3 対応のため、液体にさらされる場所（手術室など）ではご使用になれません。安全のため、液体にさらされる場所（手術室など）でご使用の場合は、IPx6 以上に対応した製品をご使用ください。

REMOTE 接点スイッチ端子

端子仕様（ステレオミニジャック）



1 GND
2 TRIGER SIGNAL（TTL）
100 msec 以上状態が変化すると、REMOTE 接点スイッチの設定に従った動作が開始されます。
3 BUSY STATUS（TTL）
REMOTE 接点スイッチの設定に従って、HIGH レベルになります。

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

安全に関する仕様

水の浸入に対する保護等級：
0 級 （特に保護がされていない）
可燃性麻酔剤の点火の危険に対する保護：
空気、酸素または亜酸化窒素と混合した可燃性麻酔ガスが存在する環境での使用には適していません。
作動モード：
連続

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機内、記録メディア、外部のストレージ等に記録されたデータの損失、修復、複製の責任は負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

索引

あ
安全のために 2

い
一般 79
一般 1 59
一般 2 60

え
エラーメッセージ 87

お
オン／スタンバイスイッチ 22

か
外部保存先 41
画質 76
画質の設定 25
カテゴリーを登録する 82
簡易再生機能 33, 37
患者情報 48
患者 ID 59

き
機能設定 58
切り出し 24

け
言語の設定 55
検索する 43
検査者を登録する 78
検査リスト編集 82
検査者リスト編集 78
検査を登録する 84

こ
コピーする 46

さ
再生する 37
削除する 50

し
システム管理者設定 54
自動削除機能 86
周辺機器 66
周辺機器設定 65
仕様 91
使用可能なディスク 29
使用上のご注意
　警告 6
　注意 7

せ
接点スイッチ 67

そ
ソフトキーボード 28

と
動画 1 63
動画 2 64
トラブルシューティング 89

に
入力切替 24
入力信号 24

ね
ネットワーク 72
ネットワーク設定 72

は
パスワード設定 70

ひ
日付・時刻の設定 56

ふ
ファイナライズ 51, 63
フリーズオン機能 18

ほ
保護する 49
保護を解除する 50
保存 26, 77
保存先サーバー 74, 80

も
モニター制御 69

ゆ
ユーザー初期値設定 76
ユーザー設定 23

り
リピート再生機能 38

ろ
録画一覧 43, 45
録画準備 40
録画する 35
録画データの保存先 36
録画テスト 42

A
AVCHD 形式 48

C
CUSTOM ボタン 60

D
DVD LED 19

H
HDD LED 18

N
NTP 74

S
SERVER LED 18

U
USB LED 18

お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.co.jp/